

SHARP®

電子辞書

形名 PW-GM510

取扱説明書

Papyrus

[パピルス]

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

この取扱説明書は、いつでも見ることができる場所に必ず保存してください。

必ずお読みください

1[↑]_↓

基本編

文字入力と修正

22[↑]_↓

辞書を引く

26[↑]_↓

項目の選択と画面送り

29[↑]_↓

画面表示を変える

31[↑]_↓

音声を聞く

37[↑]_↓

便利な使いかた

40[↑]_↓

各種設定

62[↑]_↓

コンテンツ説明編

70[↑]_↓

困ったときは

160[↑]_↓

付録

166[↑]_↓

ご使用前のおことわり

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品および付属品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

記憶内容保存のお願い


この製品は、使用誤りや静電気・電氣的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは、お客様が記憶させた内容などが変化・消失する場合があります。


重要な内容は必ず紙などに控えておいてください。

- この取扱説明書の内容は、2009年12月現在のものです。


安全にお使いいただくために


この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 **警告** 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 **注意** 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。


図記号の意味

 記号は、気をつける必要があることを表しています。

 記号は、しなければならないことを表しています。


本体の取り扱いについて

注意


- 電池は誤った使いかたをすると、破裂や発火の原因となることがあります。また、液もれして機器を腐食させたり、手や衣服などを汚す原因となることがあります。以下のことをお守りください。
 - プラス“+”とマイナス“-”の向きを表示どおり正しく入れる。
 - 種類の違うものや新しいものと古いものを混ぜて使用しない。
 - 使えなくなった電池を機器の中に放置しない。
 - もれた液が目に入ったときはきれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断を受ける。障害をおこす恐れがあります。
 - もれた液が体や衣服についたときは、すぐに水でよく洗い流す。
 - 水や火の中に入れたり、分解したり、端子をショートさせたりしない。
 - 長期間使用しないときは、液もれ防止のため電池を取り外す。

イヤホンの取り扱いについて

警告


- 事故を防ぐために、次のことをお守りください。
- 自動車やバイク、自転車などを運転中は、イヤホンを絶対に使わないでください。
- 歩行中は周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げ過ぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。

注意

- イヤホンで聞くときは、音量の設定に十分気をつけてください。思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因になることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

市販の充電電池の取り扱いについて

注意

- 市販の充電電池をご使用になる場合は、次のことをお守りください。
発熱、発火、破裂、感電の原因になることがあります。
- 充電電池は三洋電機株式会社製の単4形eneloop®(エネループ)またはパナソニック株式会社製の単4形 充電式EVOLTA(エボルタ)をご使用ください。
これ以外の充電電池は使用しないでください。
- 充電は必ず各充電電池の専用の充電器をお使いください。
- 充電電池をご使用の際は、充電電池やその充電器の取扱説明書、注意書きなどを十分お読みいただき、条件を守ってご使用ください。

付属品を確認する

下記の付属品がそろっているか確認してください。

- | | |
|--|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> イヤホン | <input type="checkbox"/> クイックガイド |
| <input type="checkbox"/> アルカリ乾電池 単4形2本 | <input type="checkbox"/> 「数学公式集」例題集 |
| <input type="checkbox"/> 取扱説明書（本書）* | |

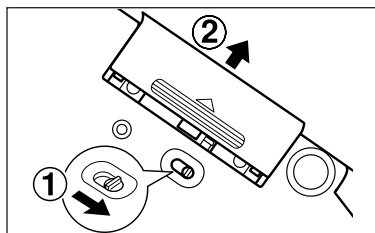
※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。

This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

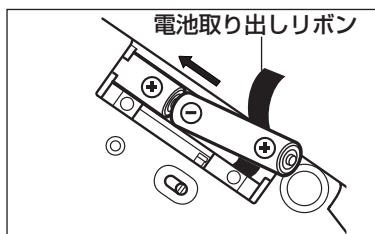
必ずお読みください

初めてお使いになるときは

- 1** 本体裏面の電池ぶたスイッチを“解除”側にします。



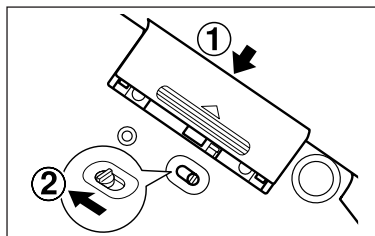
- 2** 電池ぶたを矢印の方向に水平に引いて外します。



- 3** 向きをまちがえないように同梱の乾電池を入れます。

- リボンの上から電池を入れます。リボンの先端が電池の下に隠れないようにしてください。

- 4** 電池ぶたをもとどおり水平に差しこんで取り付けます。

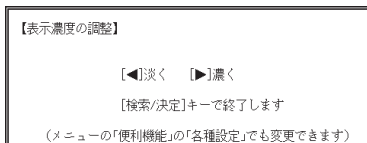


- 5** 電池ぶたスイッチを“ロック”側にします。

6 本体を開き **入/切** を押して電源を入れます。

表示濃度の調整画面が表示されます。

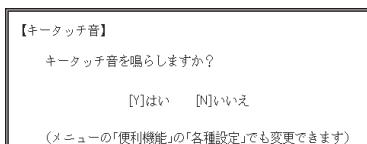
- 違う画面が表示された場合は、165ページを参照して、リセットスイッチを押し、初期化の確認画面が表示されたら **N** キーを押してください。
- 電源が入らないときは次の操作をしてください。
 - 電池ぶたスイッチが“ロック”位置になっていることを確認して、もう一度 **入/切** を押してください。
 - それでも電源が入らないときは、手順1～6の方法で電池を入れ直してみてください。



7 **◀**、**▶** キーを押して、表示部の表示濃度を見やすい濃さに調整します。

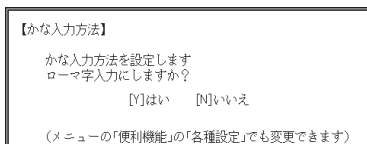
8 調整後 **検索/決定** を押します。

キータッチ音(キーを押したときに“ピッ”と鳴る音)の設定確認画面が表示されます。



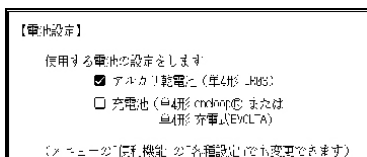
9 **Y** または **N** キーを押して、鳴らす/鳴らさないを選びます。

かな入力方法の設定画面が表示されます。



10 ローマ字入力に設定する場合は **Y** キーを、50音入力に設定する場合は **N** キーを押します。

使用する電池の設定画面が表示されます。



11 ▼、▲で、使用する電池（「アルカリ乾電池」または「充電電池」）を選んで**検索/決定**を押します。

メインメニュー画面（コンテンツ*等選択画面：☞20ページ）が表示されます。


※コンテンツ

コンテンツは文章などの内容や項目を指す言葉です。

収録されている辞書、書籍等を特定せずに示すとき「コンテンツ」と記載します。

参考 ●ここで設定した内容は、後で変更することができます。（☞62ページ「各種設定」）

電池が消耗した場合は

- 画面右上に“”（電池シンボル）が点灯したとき、または電源を入れたときに「電池を交換してください」とのメッセージが表示された場合は電池が消耗しています。速やかに電池を交換してください（☞168ページ）。

操作説明について

本書は、基本編で本製品の基本的な使いかた、活用する使いかたを説明しています。

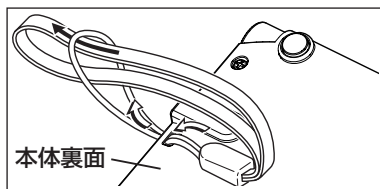
本書の基本編は必ずお読みください。

コンテンツ説明編では、各コンテンツでの検索について説明しています。

市販のストラップを取り付けるときは

市販のストラップを取り付けることができます。

図のように裏面の取り付け穴に通して取り付けます。

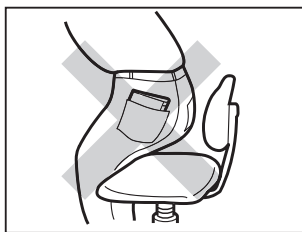


注意 ●ストラップを取り付けてストラップを持って振り回したり、強く引っ張るなど、ストラップに過重がかかる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。

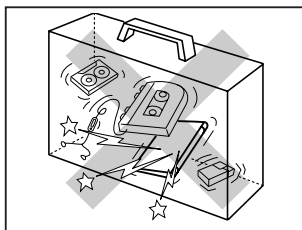
使用上のご注意とお手入れ

- 製品をズボンのポケットに入れたり、落としたり、強いショックを与えたりしないでください。

大きな力が加わり、液晶表示部が割れたり、本体が破損することがあります。特に満員電車の中などでは、強い衝撃や圧力がかかる恐れがありますので注意してください。

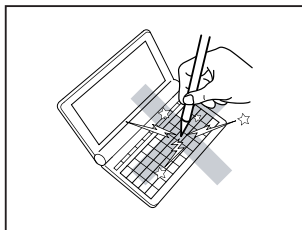


- ポケットやカバンに、硬いものや先のとがったものと一緒に入れないでください。傷がついたり、液晶表示部が割れたりすることがあります。

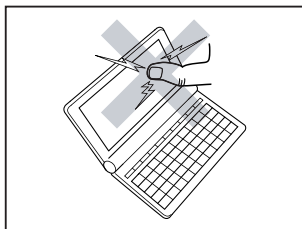


- キーを爪や硬いもの、先のとがったもので操作したり、必要以上に強く押さえないでください。

キーを傷めることがあります。

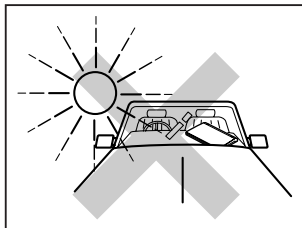


- 表示部を強く押さえないでください。割れることがあります。



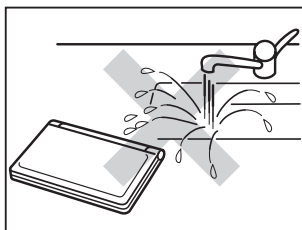
- 日の当たる自動車内・直射日光が当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。

高温により、変形や故障の原因になります。



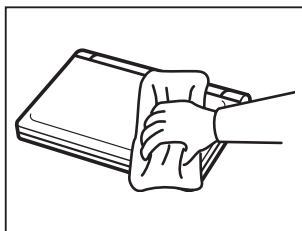
- 防水構造になっていませんので、水など液体がかかるところでの使用や保存は避けてください。

雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。



- お手入れは、乾いたやわらかい布で軽くふいてください。

シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やぬれた布は使用しないでください。変質したり色が変わったりすることがあります。



- キャッシュカードなど、磁気カードを近づけないでください。データが消える恐れがあります。

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

- この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。

著作権に関するご注意

本製品を利用して著作権の対象となっている著作物を利用することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権などを有しているか、あるいは複製などについて著作権者などから許諾を受けているなどの事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権などを侵害することとなり、著作権者などから損害賠償などを請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

おことわり

この製品に収録されている辞書などの各コンテンツの内容は、それぞれの書籍版コンテンツに基づいて、出版社より電子データとして作成、提供された著作物であり、著作権法により保護されております。したがって弊社において、その内容を改変／改良することはできません。

それぞれのコンテンツにおける、誤記・誤植・誤用につきましては、判明したものについて、出版社に連絡させていただいておりますが、修正の是非／時期については、出版社の意向によるため、改善しかねることがございますので、あらかじめご了承ください。

商標・登録商標

- enloop®は三洋電機株式会社の登録商標です。
- EVOLTAはパナソニック株式会社の登録商標です。
- 本書中の会社名、団体名、商品名は各社の登録商標または商標です。

この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよびLCロゴマークは、シャープ株式会社の登録商標です。

ただし記号など、一部LCフォントでないものもあります。






- ◆この製品では、JIS第1水準、第2水準の9ドットの文字に縦、横1ドットずつの空白領域を含めた「10×10ドットLCフォント」を採用しています。

本書でのキーなどの表記のしかた

- キーは  で囲んで表します。


ただし計算例の数字などは枠で囲まずに記載します。





例  : ,  と記載



- 2種類以上の機能が書かれているキーは、そのとき使用する機能のみを記載します。

例		 または  , 
---	---	---

- 緑色で書かれた機能は  を押して離れたあと(画面左上に  を表示)、それぞれのキーを押します。

例:   (削除)、  (?) と記載

画面例について

本書に記載されている画面例は、実際の製品で表示される画面と異なる場合があります。

記号について

注意 …… 故障の原因になる注意事項および注意していただきたいことを記載しています。

参考 …… 参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。

もくじ

安全にお使いいただくために	2
・本体の取り扱いについて	
・イヤホンの取り扱いについて	
・市販の充電地の取り扱いについて	
付属品を確認する	4
初めてお使いになるときは	4
使用上のご注意とお手入れ	7
本書でのキーなどの表記のしかた	10
もくじ	11

基本編

各部のなまえとはたらき	17
電源を入れる / 切る	18
画面表示について	19
・操作ガイドメッセージ (ヒント)	
使いたいコンテンツの選びかた	20
・メインメニュー画面で選ぶ	
・コンテンツ選択キーで選ぶ	
・すべてのコンテンツリスト (一覧) で選ぶ	

文字入力と修正 22

キーによる文字の入力と修正のしかた	22
・日本語の入力方法	
・英語の入力方法	
・入力した文字の修正のしかた	

辞書を引く 26

- ・文字を入力して調べる
- ・リストの項目を選んで調べる

項目の選択と画面送り 29

リスト表示画面などでの項目の選択と画面送り	29
詳細画面で次 (前) の見出し語を見る	30

画面表示を変える 31

文字サイズを変える	31
-----------------	----

詳細画面を簡条書きで見る（早見機能を使う）.....	31
候補の言葉の説明を一部見る（プレビュー表示）.....	32
文字を1行ごとに拡大して見る（ズーム機能）.....	33
画面上部に複数のタブが表示されたとき.....	34
画面に ◀ マークが表示されたとき.....	35
音声を聞く	37
▶ マークの音声を聞く.....	37
英単語をネイティブの発音で聞く.....	38
イヤホンで音声を聞くときは.....	39
便利な使いかた	40
読みやスペルの一部を省略して検索する.....	40
英単語のスペルチェックをする.....	41
複数のコンテンツを一括して調べる（一括検索）.....	42
詳細画面から別の語を調べる（W検索を使う）.....	43
詳細画面の見出し語を他の辞書で調べる.....	44
画面内の語を調べる（Sジャンプを使う）.....	45
一度調べた語を再度調べたいとき（しおりを使う）.....	47
繰り返し見たい語を登録する（単語帳・マーカーを使う）.....	49
・ 単語帳に語を登録する	・ 覚えたい語句にマーカーを引く
・ 各コンテンツの画面から、登録した語を見る	・ マーカー部分を使ってテストをする
・ コンテンツ一覧から、登録した語を見る	・ 単語帳を削除（登録を解除）する方法
例文を検索する（例文検索）	54
電卓/便利計算機能を使う	55
・ 消費税電卓で計算をする	・ 年号計算をする
・ 通貨換算をする	・ 年齢計算をする
・ 単位換算をする	
各種設定	62
電源を入れたときの画面（オープニング画面）を設定する.....	62
キータッチしたときの音の入/切を設定する.....	63
かなの入力方法を設定する.....	63

オートパワーオフの時間を設定する	64
表示の濃度を調整する	64
プレビュー表示を設定する	64
音量を調整する	65
電池の設定をする	65
電子辞書に名前・暗証番号を登録する	66
・暗証番号と名前を登録する	・登録している名前を変更する
・名前をオープニング画面に設定する	・登録している名前、暗証番号を削除する
・登録している暗証番号を変更する	

コンテンツ説明編

国語系	71
広辞苑 第六版	71
明鏡国語辞典	73
全訳古語辞典	73
漢字源 (JIS第1～第4水準版)	74
パーソナルカタカナ語辞典	75
故事ことわざ辞典&四字熟語辞典	75
古語林 古典文学/名歌名句事典	76
天声人語	76
英語系	77
ジーニアス英和&和英辞典	77
ベーシックジーニアス英和辞典	77
OXFORD現代英英辞典	78
音声付き英語発音解説	78
理科&社会	79
ブリタニカ国際大百科事典	79
新物理小事典	79
新化学小事典	80

生物事典.....	80
日本史事典.....	80
世界史事典.....	81
現代社会テーマ集・日本国憲法.....	81
都道府県小事典.....	81
学 習	82
百人一首.....	82
現代文名作選.....	82
古典名作冒頭選.....	83
物理公式集.....	83
辞書式配列化学反応式.....	84
数学公式集.....	84
7カ国会話	85
わがまま歩き旅行会話 英語.....	85
わがまま歩き旅行会話 イタリア語＋英語.....	85
わがまま歩き旅行会話 フランス語＋英語.....	86
わがまま歩き旅行会話 スペイン語＋英語.....	86
わがまま歩き旅行会話 ドイツ語＋英語.....	87
わがまま歩き旅行会話 韓国語＋英語.....	88
わがまま歩き旅行会話 中国語＋英語.....	88
トラベル英会話.....	89
コンテンツ (辞書) データについて	90
広辞苑 第六版.....	90
全訳古語辞典 第三版.....	96
漢字源 (JIS第1～第4水準版).....	114
パーソナルカタカナ語辞典.....	117
故事ことわざ辞典.....	119
四字熟語辞典.....	120

古語林 古典文学事典	121
古語林 名歌名句事典	122
ジーニアス英和辞典 第4版	124
ジーニアス和英辞典 第2版	133
ベーシックジーニアス英和辞典	136
OXFORD現代英英辞典 第7版	144
新物理小事典	150
新化学小事典	152
生物事典 四訂版	153
日本史事典 三訂版	155
世界史事典 三訂版	157
参 考	159

困ったときは

よくあるご質問	161
故障かな?と思ったら	164
異常が発生したときの処理	165

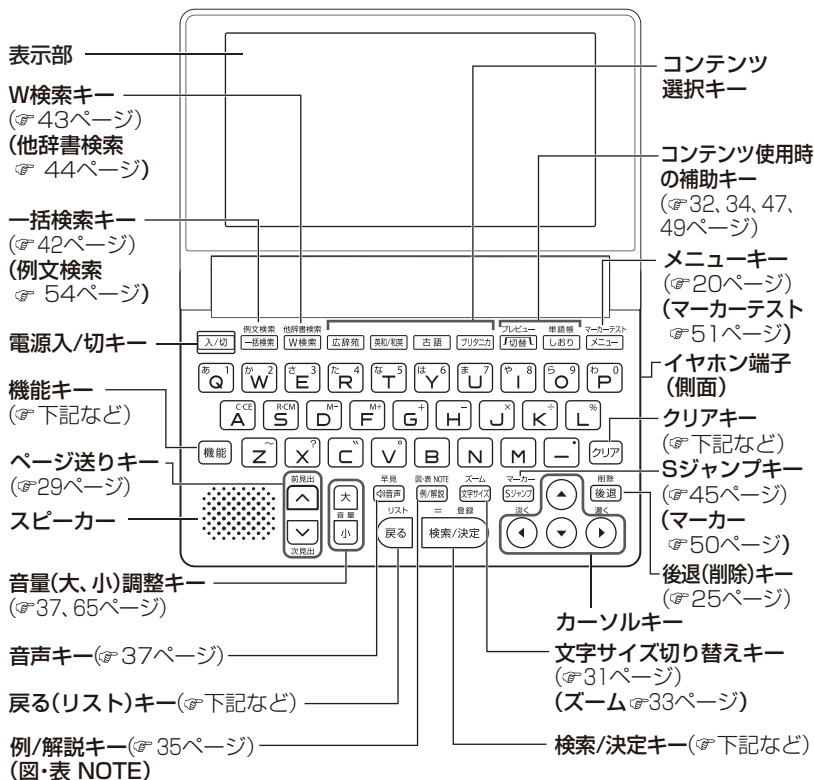
付 録

電池について	167
・ 使用できる電池	・ 電池の交換手順
・ 電池の交換時期	
ローマ字→かな変換表	169
機能別利用可／不可コンテンツ	172
仕 様	173
アフターサービスについて	178
「修理品引き取りサービス」のご案内	179
お客様ご相談窓口のご案内	180
索 引	181
保証書	184

基本編

文字入力と修正.....	22
辞書を引く	26
項目の選択と画面送り	29
画面表示を変える.....	31
音声を聞く	37
便利な使いかた.....	40
各種設定	62

各部のなまえとはたらき



機能 …………… 2種類以上の機能が書かれているキーの、緑色で書かれている機能を使うときに押します。

戻る …………… 前の画面に戻ります。

機能 **戻る** (リスト) … 表示していた見出し語などから始まるリスト(一覧表示) 画面が表示されます。

検索/決定 …………… メニュー選択や文字入力を確定するときに押します。

クリア …………… 各コンテンツの入力画面や最初の画面などに戻ります。

キーの動作は、コンテンツにより異なる場合があります。

- 参考** • 詳細画面などに複数のタブ(34ページ)があるとき、タブ(画面)を切り替えていた場合や、画面を送っていた場合でも、**[戻る]**を押すと前のリスト画面などに戻ります。

電源を入れる / 切る

下のキーを押すと電源が入り、押したキーに対応した画面が表示されます。

電源を入れるキー	表示される画面
[入/切]	電源が切れる前の画面が表示されます。(レジューム機能) オープニング画面設定をした場合は、オープニング画面を表示後、電池が切れる前の画面を表示します。(オープニング設定：☞62ページ)
[メニュー]	メインメニュー画面(コンテンツ等選択画面：☞20ページ)が表示されます。
[一括検索] [広辞苑] [英和/和英] [古語] [ブリタニカ]	それぞれのコンテンツや機能の最初の画面が表示されます。(ダイレクトオン機能)












電源を切るときは**[入/切]**を押します。








自動的に電源が切れたときは

前表に示すキーを押して電源を入れます。

この製品は電池の消耗を防ぐため、キー操作が一定時間ないと自動的に電源が切れます(オートパワーオフ機能)。この時間は最初5分間に設定されていますが、64ページの方法で変更することができます。

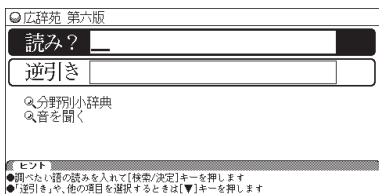
画面表示について

シンボル	意味
	電池が消耗すると画面の右上に表示されます。速やかに新しい電池と交換してください。(☞168ページ) 音声の再生、単語帳の削除、本製品の初期化などができなくなります。
	画面の右上に表示され、矢印の方向に、まだ表示されていないデータがあることを示します。  、  ：1行ずつ画面を送ります。  、  ：1画面ずつ画面を送ります。
	ズームウィンドウ(☞33ページ)内などで表示されていないデータがあります。  、  ：内容を左右に送ります。
	このシンボルは画面の左上に表示されます。  が押されたことを示し、キーボード上の緑色で書かれた機能を選択できます。 (状況により選択できない機能があります。)

マーク	意味
    	関連する例文や解説、コラム(NOTE)、図、表が収録されていることを示します(☞35ページ)。
	音声データが収録されていることを示します(☞37ページ)。
	ジャンプして参照することを示します(☞45ページ)。

操作ガイドメッセージ (ヒント)

画面下や画面上部に操作ガイドメッセージが表示されることがあります。操作ガイドメッセージには、状況に応じた簡単な使いかたが記載されています。このガイドに従って操作してください。



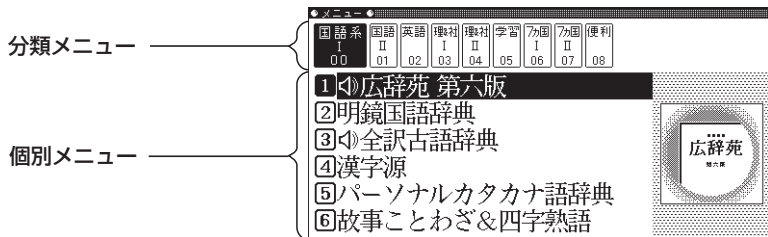
操作ガイド
メッセージ (例)

使いたいコンテンツの選びかた

メインメニュー画面で選ぶ

1 **メニュー** を押します。

メインメニュー画面が表示されます。



メインメニュー画面 (コンテンツ等選択画面)

2 選びたい分類メニューの項目を次のいずれかの方法で選びます。

- **▶**、**◀** で選ぶ
- 分類番号 (00～08) を **0**～**8** キーで選ぶ

選んだ分類メニューの個別メニューが表示されます。

3 個別メニューの使いたいコンテンツを次のいずれかの方法で選びます。

- **▼**、**▲** でコンテンツ名を選び **検索/決定** を押す
- コンテンツ名の前の番号を **1**～**6** キーで選ぶ

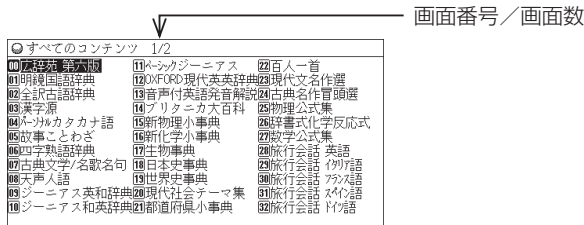
選んだコンテンツなどの画面が表示されます。

以降、上記と同様の操作は、次のように説明します。

例： **メニュー** を押し、「学習」から「百人一首」を選びます。

すべてのコンテンツリスト (一覧) で選ぶ

メニュー を押し、「便利機能」から「すべてのコンテンツを見る」を選ぶと、すべてのコンテンツリスト (一覧) が表示されます。



選択したいコンテンツに、**▼**、**▲**、**▶**、**◀** でカーソル (反転表示) を移して **検索/決定** を押すか、コンテンツ名の前の番号を **0**～**9** キーで入力して選ぶこともできます。

コンテンツ選択キーで選ぶ

コンテンツ選択キーは、直接コンテンツを表示します。(☞ 17、18ページ)

文字入力と修正

キーによる文字の入力と修正のしかた

日本語の入力方法

キーによる日本語の入力方式は、「ローマ字かな入力」と「50音かな入力」の2種類があります。

入力方式を切り替えるときは63ページを参照してください。

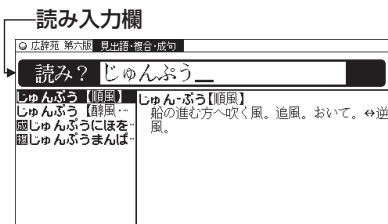
キーで文字を入力する練習をしましょう。

- 入れまちがえたときは25ページを参照して直してください。

1 読み入力欄に「じゅんぷう」と入れます。

ローマ字かな入力の場合：

J U N (N)
P U U



50音かな入力の場合：

さ さ □ や や や や や わ わ わ わ わ
じ ゆ ん
は は は □ あ あ あ ▶ ※
ぶ う

- □ は [C] キー、□ は [V] キーです。

※ 50音かな入力では、最後の文字を入れた後、▶ を押して文字を確定させます。

ローマ字かな入力方式での入力について

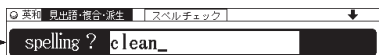
ローマ字のスペルでひらがなを入力する方法は、「ローマ字→かな変換表」(☞169ページ)を参照してください。

英語の入力方法

英字などの入力のしかたを練習しましょう。入れまちがえたときは次ページを参照して直してください。

- 1** スペル入力欄に「clean」と入れます。

スペル入力欄→



C L E A N と押します。

スペル入力時の参考

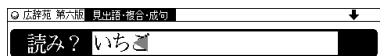
- 見出し語にスペース、「-」、「'」、「/」、「.」などがある場合、これらは省いて入力し、検索します。
(例) fast food → fastfood で検索する
weak-kneed → weakkneed で検索する
let's → lets で検索する
- 大文字と小文字は切り替えられません。検索は大文字と小文字を区別せずに行われます。
- 数字は英語のスペルで検索します。
- 「&」は「and」と入力します。

入力した文字の修正のしかた

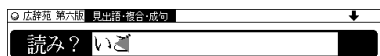
入力した文字の修正のしかたを練習しましょう。

余分な文字を削除する

1 ◀、▶で削除したい文字の後ろにカーソルを移します。



2 [後退]を押します。
カーソルの前(左)の文字が削除されます。



カーソル位置の文字を削除する

カーソル位置の文字は[機能][後退](削除)と押すと削除されます。

入力した文字をすべて削除する

[クリア]を押すと入力した文字がすべて削除されます。

文字を追加する

1 ◀、▶で文字を追加したい位置にカーソルを移します。

2 追加したい文字を入力します。
カーソルのある位置に、入力した文字が追加されます。

参考 • 50音かな入力では文字が確定するまでカーソル(◀または_)が表示されません。▶で確定させてください。

辞書を引く

辞書の引きかたは、大きく分けると2種類になります。

文字を入力して調べる

調べたい語の読みやスペルなどを入力して調べます。

リストの項目を選んで調べる

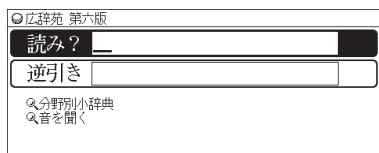
リストから項目を選んでいき目的の言葉などを調べます。

文字を入力して調べる

【例1】広辞苑で「すみれ」を調べる

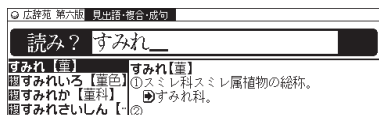
1 **メニュー** を押し、「国語系I」から「広辞苑 第六版」を選びます。

読み入力欄にカーソルが表示されます。



2 読み入力欄に「すみれ」と入れます。

入力した文字を先頭に持つ語が候補としてリスト表示されます(1字入力ごとに候補が絞り込まれます)。



3 **▼**、**▲** で目的の語を選び

検索/決定 を押します。

詳細画面が表示され、意味などが表示されます。

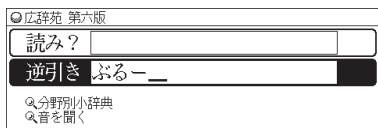
- 画面右上に“↓”“↑”が表示されているときは、**▼****▲**や**▼****▲**で画面を送って隠れている内容を確認します。
- **戻る** を押すと前の画面に戻ります。
- **機能** **戻る** (リスト) と押すと辞書順 (収録順) リスト表示になります。



【例2】広辞苑の逆引きで後ろに「ブルー」が付く語を調べる

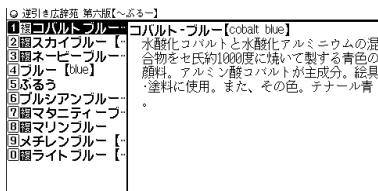
1 **メニュー** を押し、「国語系 I」から「広辞苑 第六版」を選びます。

2 **▼** で逆引き入力欄を選び、「ぶるー」と入れます。



3 **検索/決定** を押します。

「ブルー」を後ろに持つ語が候補としてリスト表示されます。



4 **▼**、**▲** で目的の語を選び **検索/決定** を押します。

詳細画面が表示され、意味などが表示されます。

新しい言葉を引くときは

クリア を押して入力画面に戻り、読みなどを入れます。

詳細画面では、文字を入れると入力画面に戻りますので、読みなどを入れます。

文字を入力中に候補がなくなると

文字を入れていくと候補が絞り込まれていく検索では、該当する候補がなくなると「《該当語なし》」を表示します。

戻る を押すと、入力画面に戻ります。

「《該当語なし》→並び順の近い語を表示」を選択すると、50音順またはアルファベット順で、入力した仮名（読み）またはスペルよりも後の語がリスト表示されます。

「《該当語なし》→スペルチェックへ」を選択すると、スペルチェック画面が表示されます（スペルチェック：④41ページ）。

【検索の種類】

検索には次の種類があり、コンテンツによって使い分けられています。

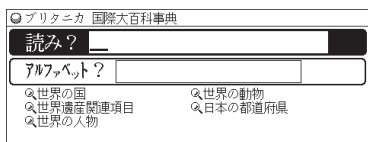
- 絞り込み検索** : 文字を1文字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。
- 頭出し検索** : 入れた文字が先頭に含まれる語を探し、その語から始まる収録順リストを表示します。該当する語がないときは、並び順で次の語から始まるリストを表示します。
- キーワード検索** : 入れた文字(単語)が含まれる文を探します。英和辞典の成句検索などで用いられます。
- 完全一致検索** : 入れた読みや見出し語、またはスペルが完全に一致する語を探します。一括検索(☞42ページ)で用いられます。

参考 • 検索する語によっては検索に時間がかかることがあります。

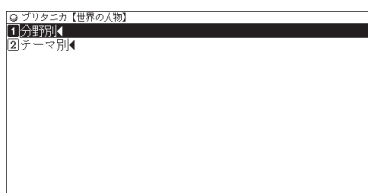
リストの項目を選んで調べる

【例】ブリタニカ国際大百科事典で調べる

1 **メニュー** を押し「理科&社会 I」から「ブリタニカ国際大百科事典」を選びます。

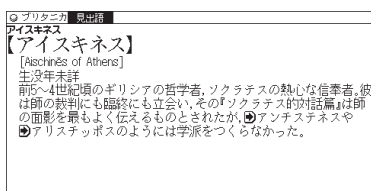


2 **▼**、**▲** で項目(例えば「世界の人物」)を選び**検索/決定** を押します。



リストが表示されます。
後ろに◀がある項目を選ぶと、もう一段リストが表示されます。

3 手順2と同様にリストの項目を選んでいき**目的の言葉**を表示させます。



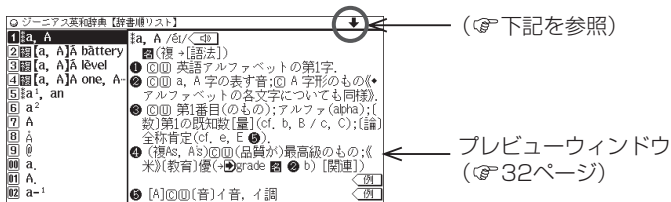
項目の選択と画面送り

リスト表示画面などでの項目の選択と画面送り

英和辞典や広辞苑などの辞書の最初の画面で何も入力せずに**検索/決定**を押すと、リスト（一覧表示）画面が表示されます。

ここでは例として、**英和/和英** **検索/決定** と押し、英和辞典のリスト画面を表示させています。

リスト画面（見出し語（辞書順）リスト）



各項目（各語）を選択する方法

▼、▲でカーソル（反転表示）を目的の項目へ移動させて**検索/決定**を押します。

画面を送って別の内容を見る方法

画面右上に“↓”や“↑”が表示されたときは画面外に隠れている内容があります。

(1) ▼、▲でカーソルを1行ずつ移動させていくと、最下(上)行以降は画面が1行分ずつ送られます。

(2) ▽、△で1画面分ずつ送られます。

- 上記キーを押したままにすると、連続して画面が送られます。

詳細画面で次(前)の見出し語を見る

前ページのリスト画面で、**▼**で「a', an」を選び**検索/決定**を押してください。

「a', an」(見出し語)の詳細画面が表示されます。

機能 **▽**(次見出)、**機能** **△**(前見出)と押すと、並び順で次または前の見出し語などが表示されます。

(前ページを参照)

詳細画面(1件表示画面)

The screenshot shows the detailed entry for 'a', 'an'. At the top, there are navigation icons: a left arrow, a right arrow, and a down arrow. The down arrow is highlighted with a red circle and a red arrow pointing to it from above. The entry text includes: 'a' / 《弱》a; 《強》eɪ, i/, an <D>. Below this is a definition: 【原義:ひとつ(one)の;原則として単数のD名詞に付く。元の形はanだが子音で始まる語の前でnが消失した】. There are also icons for '解説' (Explanation) and '例' (Example). The example text is: [a(n)+D単数名詞] ①【初出の人[物]を指す名詞、または特にこれと断定しないで偶然とある人[物]を指す名詞に付けて】ある、ひとつ[人、1匹、など]の(•日本語には訳さないことが多い) <西> ②【総称的に】どの、どれも、…というものは(すべて)《•anyの弱い意味: 同類の中からひとつを代表に選ぶ言い方で、SVC文型やSVO文型でSの定義や一般的事実を述べる際に用いる》

画面表示を変える

文字サイズを変える

リスト画面や詳細画面で **文字サイズ** を押すと表示される文字の大きさが切り替わります。(切り替えられるサイズの範囲は最大で9→12→16→24→48→9・・・ドット文字順に切り替わります。)

- すべての画面で上記のように切り替えできません。コンテンツや画面によっては、切り替えられるサイズの範囲が異なります。また切り替えができないときは次のようなメッセージが表示されます。
 - ・この画面では文字サイズを変更できません。
- 文字サイズは、次に切り替えるまで保持されます。(詳細画面／リスト画面など、それぞれで保持します。)

詳細画面を簡条書きで見る(早見機能を使う)

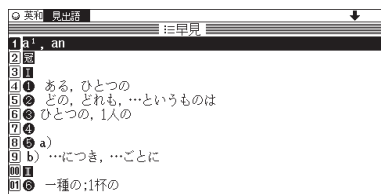
早見機能は、コンテンツの詳細画面の例文や補足説明などを省略し、意味などを簡条書きで表示させることができます。

【例】英和辞典の画面で早見機能を使ってみましょう。

1 **英和/和英** **検索/決定** と押し、**▼** で「a¹, an」を選び **検索/決定** を押します。

英和辞典の詳細画面になります。

2 **機能** **早見** (早見) を押します。
早見画面が表示されます。



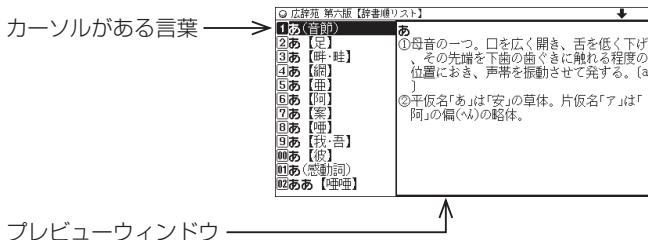
3 **▼**、**▲** で見たい語(意味)を選び **検索/決定** を押します。

選んだ語(意味)を先頭に表示した詳細画面が表示されます。

参考 • 早見機能が使えないコンテンツは172ページをご覧ください。

候補の言葉の説明を一部見る（プレビュー表示）

例えば **【広辞苑】** **【検索/決定】** と押すと広辞苑の辞書順リストが表示され、選択されている言葉の説明の一部が右側または下に表示されます。表示されないときは **【機能】** **【切替】**（プレビュー）と押してください。



- **【▼】**、**【▲】** でカーソルを別の語へ移すと、その語の説明などが表示されます。
- **【機能】** **【切替】**（プレビュー）と押すごとに、プレビュー表示の入（右表示）/切（なし）/入（下表示）が切り替わります。

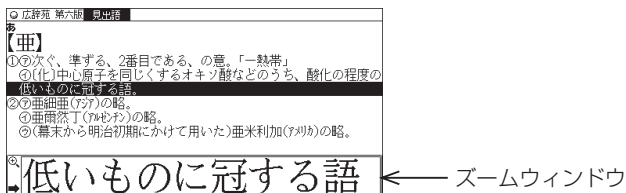
参考 ● リスト画面でも、プレビュー表示ができない場合があります。
（漢字源や、リストの項目を選んでいく形式のリスト画面など）

文字を1行ごとに拡大して見る(ズーム機能)

例えば広辞苑の詳細画面で **機能** **文字サイズ** (ズーム) と押してください。画面下に**ズームウィンドウ**が表示され、対象行の文字が最大の文字サイズで表示されます。

参考 • ズーム機能が使えないときは、「この画面ではズームはできません」が表示されます。

▼、▲で行を選び、▶、◀で左右に送って見たいところを表示させます。



- ズームウィンドウ内は“▶”、“◀”シンボルの表示に従って▶、◀で、1文字ずつ左右に送ることができます。また▼、▲で1行ずつ送ることができます。
- ウィンドウを閉じるときは **戻る** を押します。

画面上部に複数のタブが表示されたとき

タブは、現在の表示の種類(見出語など)を示します。

タブが複数表示されているときは関連する内容があることを示し、**切替**を押して切り替え、内容を見ることができます。

ここでは例として、**英和/和英** **検索/決定** **検索/決定** と押し、英和辞典の詳細画面を表示させています。

The diagram illustrates the process of switching between tabs in a dictionary interface. It shows three screenshots:

- Top Screenshot:** A search results page for the query "a, A / 61". The tabs at the top are "英和", "見出語", "英和・派生", and "成句". A "切替" button is shown below the tabs.
- Middle Screenshot:** A detailed entry page for the word "battery". The tabs at the top are "英和", "見出語", "英和・派生", and "成句". A "切替" button is shown below the tabs.
- Bottom Screenshot:** A search results page for the query "from A to Z". The tabs at the top are "英和", "見出語", "英和・派生", and "成句". A "切替" button is shown below the tabs.

Arrows indicate the sequence of clicks and the resulting page changes:

- An arrow points from the "切替" button in the top screenshot to the "英和" tab in the middle screenshot.
- An arrow points from the "切替" button in the middle screenshot to the "英和" tab in the bottom screenshot.
- An arrow points from the "切替" button in the bottom screenshot to the "英和" tab in the top screenshot.

画面に ◀ マークが表示されたとき

詳細画面などに◀例、◀解説、◀NOTE、◀図、◀表のマークが表示されたとき、表示されている内容に関連する例文や解説、コラム(NOTE)、図、表が収録されています。

このマークが表示されている画面で(例/解説)を押すとマークが反転表示になります。

マークが複数あるときは▲、▼、▶、◀で反転表示を調べたいマークに移し、(検索/決定)を押すと、収録されている内容が表示されます。

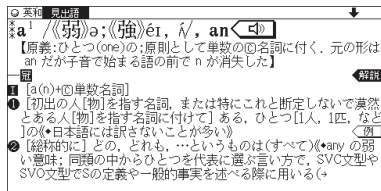
- 別の図や表を表示させるときは、(戻る)で図などを閉じ、マークを選び直して(検索/決定)を押します。
- 別の例や解説があるときは、▶や◀で順番に表示させることができます。

終了するときには(戻る)を2回押します。

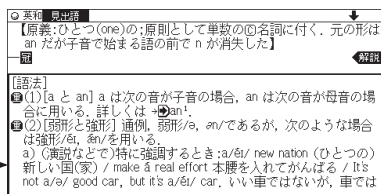
【例】英和辞典の画面で例や解説を見ましょう。

1 (英和/和英) (検索/決定) と押し、▼で「a¹, an」を選び(検索/決定)を押します。

2 (例/解説) を押します。
マークが反転表示されます。





3 ▼、▲、▶、◀でマークを選び、(検索/決定)を押します。



例/解説ウィンドウなど →

画面右上に“↓”や“↑”が表示されたときはウィンドウ内に表示されていない部分があります。▽、△や▼、▲で送って確認します。

4 別の例や解説があるときは  や  で表示させます。

5 終了するときは  を2回押します。

1回目でウィンドウが閉じ、2回目でマークの反転表示が解除されます。

音声を聞く

- ◆ **音量小**、**音量大** で適正な音量に調整してください。

🔊 マークの音声を聞く

メインメニュー画面で 🔊 マークが付いているコンテンツは、MP3形式の音声データが収録されていて、その箇所が 🔊 マーク（音声マーク）で示されます。

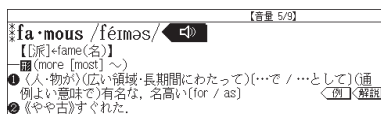
【音声再生方法】

1 例えばジーニアス英和辞典で「famous」の詳細画面を表示させます。

🔊 マークが再生対象の語や文の後ろ等に表示されます。

2 🔊 語 を押してマークを反転表示
(🔊) させ **検索/決定** を押します。

音声再生されます。



- 反転表示時 (🔊) は **検索/決定** を押すたびに、音声再生されます。
- 🔊 が複数あるときは手順2で反転させた後 (▼)、(▶) などで反転を目的のマークへ移して **検索/決定** を押します。
- 再生を中止するときや、マークを 🔊 に戻すときは **戻る** を押します。

- 参考**
- 🔊 語 を押すと音声再生が始まる場合もあります (例えば 82ページ)。
 - イヤホンで音声を聞くときは39ページを参照して接続してください。

音量を調整する

- マーク反転表示 (🔊) 時に **音量小**、**音量大** で調整します。
音量を上げすぎるとスピーカーやイヤホンからの音が割れたり、歪んだりすることがありますので、聞きやすい音になるように調整してください。

参考 ● スピーカーで聞くときは


MP3形式の音声データはコンテンツによって音の大きさが異なります。
スピーカーで聞いたとき、音量調整を大きくしても音が小さい/音が歪む場合は、付属のイヤホンで聞いていただくことをお勧めします。

MP3形式の音声データは各国のネイティブスピーカー (native speaker) の音声を収録しています。「百人一首」などでは日本語音声データを収録しています。「広辞苑 第六版」は日本民謡やクラシック音楽 (一部)、鳥の鳴き声を収録しています。


英単語をネイティブの発音で聞く

各辞書の詳細画面に表示されている英単語などをジーニアス英和辞典の音声データを利用して発音させることができます。

1 和英辞典などで詳細画面を表示させます。

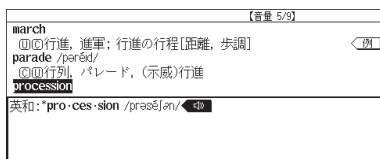
例えば(英和/和英)を押し、で読み入力欄を選び「こうしん」と入れ、こうしん【行進】を選んで(検索/決定)を押して詳細画面にします。

2 を押します。

先頭の英単語などにカーソルが表示されます。( マークがあるとマークが反転表示されます。)

3 発音させたい単語にカーソルを移し(検索/決定)を押します。

英和辞典が参照され、ウィンドウに表示されます。(右の例では音声も再生されます。)



● 音声データが収録された英単語などが1つだけ見つかったときは上の例のように、自動的に音声再生します。

● 英単語などが複数見つかったときは選択ウィンドウに表示される候補を選び(検索/決定)を押すと音声再生されます。



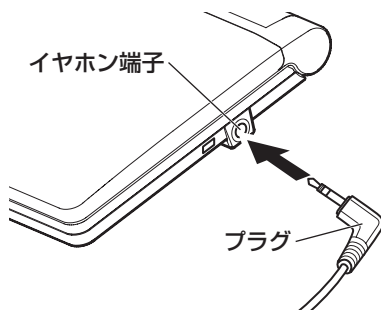
● 音声再生を途中で止めるときや、画面を戻るときは(戻る)を押します。

イヤホンで音声を聞くときは

付属のイヤホンで音声を聞くときは、イヤホンのプラグを本体右側面のイヤホン端子に接続してください。

◆ 65ページの方法で、音量を小さくしておいてください。

- プラグは奥まで完全に差し込んでください。
- プラグの抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを引っ張ると故障の原因になります。



参考 ● 内蔵スピーカーで音声などを聞くときはイヤホンのプラグをイヤホン端子から抜いておいてください。

便利な使いかた

言葉を探すいろいろな方法や便利な機能について説明します。

読みやスペルの一部を省略して検索する

読みや単語の一部を“?”(ワイルドカード)または“~”(ブランクワード)に置き換えて検索することで、はっきりしない語も探すことができます。

ワイルドカード: “?”は文字数がわかっているとき、不明な文字の代わりに入力します。(読み:最大12個、スペル:最大19個)
(例)「う????ざくら」「se????y」

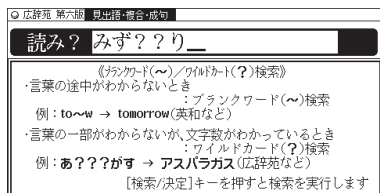
ブランクワード: “~”は文字数もわからないとき、複数の文字の代わりに1個だけ入力します。
(例)「う~ざくら」「se ~ y」「~ men」

- “?”は機能[X](?)、“~”は機能[Z](~)と押して入れます。
- “?”は先頭に使えません。“~”は最後に使えません。
- “?”と“~”を同時に使うことはできません。

また、172ページの「“?”、“~”が使えるコンテンツ」で示すコンテンツの入力画面および一括検索の入力画面で、次の場合に利用できます。

- 「読み」入力欄に入力する場合
ただし、広辞苑の逆引き、分野別小辞典では利用できません。
- 「スペル」入力欄に入力する場合
ただし、スペルチェックや成句検索の入力画面では利用できません。

1 例えば広辞苑の入力画面で「みず??り」と入れます。



2 **検索/決定**を押して検索します。
該当する語がリスト表示されます。

3 **▼**、**▲**で目的の語を選択し**検索/決定**を押します。
詳細画面が表示され、意味などが表示されます。

英単語のスペルチェックをする

探したい単語のスペルがはっきりわからないときなどには、スペルチェック機能で目的の単語を探すことができます。

スペルチェックは、英和辞典と英英辞典でできます。

1 例えば英和辞典の入力／選択画面で「英和スペルチェック」を選び **検索/決定** を押します。

スペルチェック機能の入力画面が表示されます。

2 単語のスペル(例：「skate」)を入れ **検索/決定** を押します。

検索が開始され、入力したスペルと一致した単語、または類似した単語がリスト表示されます。

3 目的の単語(またはそう思われるもの)を選び **検索/決定** を押します。

詳細画面に意味などが表示されます。

参考 ● スペルチェック機能について

- 入力したスペルと同じスペルの単語がある場合は、リスト内の「該当：」欄に表示され、類似した単語がある場合は「候補：」欄に表示されます。
- 候補は、該当語を含めて最大100件まで検索されます。
- **思った単語がなかなか出てこない**
 - 入力したスペルにより、検索に時間がかかることがあります。
 - 該当語や候補が1件もない場合は「見つかりません」と表示して入力画面に戻ります。スペル(入力したアルファベット)を変更して、再度検索を試みてください。
- **検索を中止する**
 - 検索中に **検索/決定** を押すと検索を中止することができます。このとき、中止されるまでの検索結果が表示されますので候補を選び **検索/決定** を押して、その意味などを表示することもできます。

注意 ● 本製品には、英和辞典、英英辞典、それぞれを用いたスペルチェックがあります。それぞれの辞典により収録語・語数が異なるため、同じスペルでチェックを行っても同じ結果が得られない場合があります。

複数のコンテンツを一括して調べる（一括検索）

複数のコンテンツ（辞書など）を対象にして言葉を調べることができます（一括検索できるコンテンツ：☞172ページ）。

入力中は1字ごとに候補を絞り込む**絞り込み検索**で探し、候補が多い場合などには、**完全一致検索**に切り替えて探すことができます。

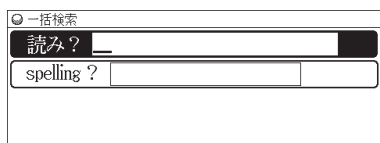
また、読みやスペルで検索するときには、“～”や“?”を使用することもできます（☞40ページ）。

【例】「かいけい」を一括検索しましょう。

この例ではプレビュー表示を「切」にして説明しています。

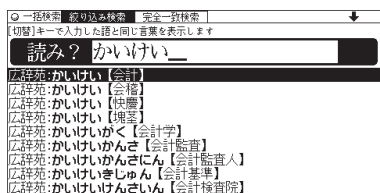
1 **一括検索**を押します。

一括検索の入力画面が表示されます。
入力する文字種に合わせて▼、
▲で入力欄を選びます。



2 読み入力欄に「かいけい」を入れます。

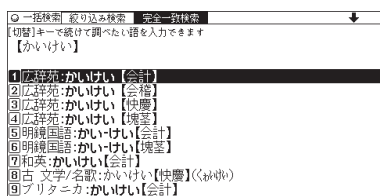
1字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。



3 完全一致検索で見るときは**切替**を押します。

入力した文字と一致する見出し語がリスト表示されます。

- 入力した文字を変更するときには**切替**を押して絞り込みの画面に戻って行きます。



4 ▼、▲で目的の語を選び**検索/決定**を押します。

辞書などの詳細画面が表示され、意味などが表示されます。

候補がないときは

文字入力で絞り込む候補がなくなると《該当語なし》と表示されますので、文字を修正・変更するか、**クリア**を押してから新たに入力してください。また、完全一致検索に切り替えようとしたとき、該当する語がない場合は「見つかりません」と一時表示をして、もとの画面に戻ります。

詳細画面から別の語を調べる (W検索を使う)

詳細画面に別のウィンドウを開いて、別の語を調べることができます。

1 例えば英和辞典で「apple」と入れ、**検索/決定**を押して「apple」の詳細画面を表示させます。

2 **W検索**を押します。

W検索ウィンドウが表示されます。

3 検索する言葉(例えば「ぶどう」)を入れます。

入力する文字種に合わせ、**▼**、**▲**で入力欄を選び、入力します。

4 **検索/決定**を押します。

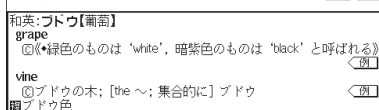
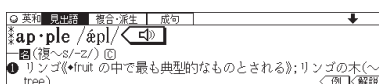
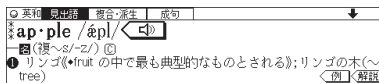
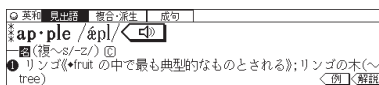
W検索ウィンドウに候補が表示されます。

W検索ウィンドウ→

5 **▼**、**▲**で表示させたい語を選び**検索/決定**を押します。

W検索ウィンドウに詳細画面が表示されます。

6 **検索/決定**を押すと、W検索ウィンドウに表示されているコンテンツの詳細画面が表示されます。



詳細画面の見出し語を他の辞書で調べる

詳細画面に表示されている見出し語を他の辞書で調べることができます（天声人語、音声付き英語発音解説、現代社会テーマ集・日本国憲法、百人一首、現代文名作選、古典名作冒頭選、数学公式集、トラベル英会話を除く）。

詳細画面が表示されているとき、**機能** **W検索**（他辞書検索）を押します。

検索が行われ、候補があればウィンドウが開いて候補のコンテンツなどが表示されます。（1語だけ一致するときは、ウィンドウに詳細画面が表示されます。）

▼、**▲**で候補を選んで**検索/決定**を押すと詳細画面が表示されます。

画面内の語を調べる(Sジャンプを使う)

辞書を引いた内容(詳細画面)の中にわからない言葉があるとその言葉をコンテンツ間を飛び越えて調べることができます(一部ジャンプできない場合もあります)。

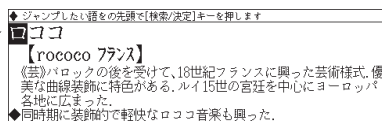
漢字、ひらがな、カタカナの語は、カーソルで範囲指定して調べます。

英単語やジャンプマーク(➡)が示す語は、**[Sジャンプ]**で順番に選択でき、調べることができます。

1 例えば**[メニュー]**を押し、「国語系Ⅰ」から「パーソナルカタカナ語辞典」を選んで「ロココ」と入れ**[検索/決定]**を押して詳細画面にします。

2 詳細画面で**[Sジャンプ]**を押します。

■カーソルが表示されます。



3 調べたい語を選びます。

英単語や“➡”マークが示す語を指定する場合

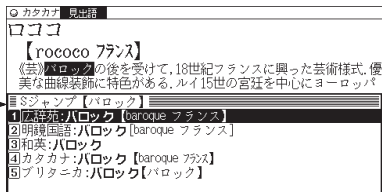
その語全体が選ばれますので**[Sジャンプ]**で選択し、**[検索/決定]**を押します。

漢字、ひらがな、カタカナの語(例えば「バロック」)を範囲指定する場合

●先頭文字「バ」にカーソル“■”を移して**[検索/決定]**を押し、続いて**[▶]**で最後尾の文字「ク」までカーソル“■”を移して(1文字の指定では最後尾へのカーソル移動は不要です)**[検索/決定]**を押します。

ジャンプウィンドウに候補が表示されます。

ジャンプウィンドウ →



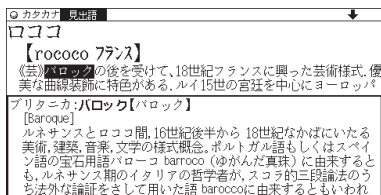
● 指定を解除するときは**[戻る]**や**[クリア]**を押します。

参考 ● 候補は、選択した語と一致する語、一致する語がないときは選択した語を先頭を含む語(英単語は一致する語のみ)が表示されます。なお**[▶]**が示す語や、1語だけ一致するときはウィンドウに詳細内容が表示されます。

4 ▼、▲で調べたいコンテンツを選び(検索/決定)を押します。

ジャンプウィンドウに詳細内容が表示されます。

画面右上に“↓”や“↑”が表示されているときは、▼、▲などでウィンドウ内を送ることができます。



5 (検索/決定)を押してジャンプします。

選択した語の詳細画面が表示されます。

コンテンツを指定してジャンプするには

- 手順3で調べたい語を選んで(検索/決定)の代わりに(広辞苑)や(英和/和英)、(古語)、(ブリタニカ)を押すとそのコンテンツ(ジャンプ対象コンテンツ)のみが検索対象になります。

ジャンプについて

- ジャンプした先の画面で(クリア)を押したときは、ジャンプを始める前に使用していたコンテンツの入力画面などに戻ります。
- ジャンプ先でジャンプをする、というようにジャンプを重ねた場合、(戻る)で最大10回までは戻ることができます。10回を超えてジャンプを重ねた場合、11回目の戻りでリスト画面などへ戻ります。

ジャンプマークのジャンプ

- 各コンテンツの詳細画面で“➡”マークの後に示される語は同じコンテンツ内でジャンプします。

➡マークで示す語や英単語の選択

- 画面内に“➡”マークで示す語や、英単語が表示されている場合は、(Sジャンプ)を押すたびに、表示されている“■”カーソルより後の、“➡”マークで示す語、および英単語へカーソルが移っていきます。表示されている最後の語までカーソルが移った後は、1行ずつ画面を送り、対象の語が出てくれば、その語にカーソルが移ります。行き過ぎたときは(▲)や(◀)でカーソルを戻してください。

範囲指定について

- “■”カーソルが表示されている場合、漢字、ひらがな、カタカナが連続しているときに範囲指定できます。
- 範囲指定をしているときは画面を送ることはできません。範囲指定したい語が、すべて表示されていることを確認してから操作をしてください。

一度調べた語を再度調べたいとき(しおりを使う)

一度調べた語を“しおり”として、各コンテンツで新しいものから100件まで自動的に記憶します。もう一度同じ語を調べたいときは、しおりのリスト(一覧)表示から調べることができます。しおりがあるコンテンツは、次ページの手順1~3で表示される各コンテンツです。

1 各コンテンツを選んでから **しおり** を押します。

しおりリスト画面が表示され、調べた語が、新しいものから順に表示されます。

2 **▼**、**▲** で目的の語を選び **検索/決定** を押します。

選択した語の詳細画面が表示されます。

- 参考**
- しおりの表示のされかたはコンテンツにより異なる場合があります。
 - しおりの記憶件数が100件を超えると、古いものが消されます。

しおりを1件ずつ削除する方法

1 各コンテンツの画面で **しおり** を押し、しおりリスト画面にします。

2 **▼**、**▲** (漢字源は **▶**、**◀**、**▼**、**▲**) で、削除したい語にカーソルを移し **後退** を押します。

削除の確認画面が表示されます。

3 **Y** キーを押します。

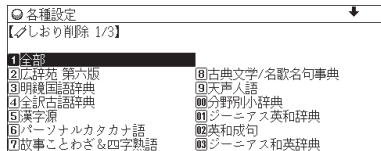
選択した語が削除されます。

しおりをまとめて削除する方法

1 **メニュー** を押し、「便利機能」から「各種設定」を選びます。

2 **▼**、**▲** で「単語帳・しおり・マーカー削除」を選び **検索/決定** を押します。

3 **▼**、**▲** で「しおり削除」を選び **検索/決定** を押します。



• 右の画面は **▼** **▲** で切り替えます。

4 **▼**、**▲**、**▶**、**◀** でしおりを削除するコンテンツ、または「全部」を選び **検索/決定** を押します。

削除の確認画面が表示されます。

5 **Y** キーを押します。

選択したコンテンツのしおり、またはすべてのしおりが削除されます。

繰り返し見たい語を登録する (単語帳・マーカーを使う)

繰り返し見たい語や覚えたい語などは、「単語帳」に登録しておきます。登録できるコンテンツは、次ページの「コンテンツ一覧から、登録した語を見る」の手順1、2で表示される各コンテンツです。

単語帳に語を登録する

1 登録したい語の詳細画面にします。

例えば英和辞典の画面で、「text」と入れて **検索/決定** を押します。

2 **機能** **検索/決定** (登録) を押します。

詳細画面の語が単語帳に登録されます。

- 例文検索 (☞54ページ) の検索後の画面では、上記操作で例文の前に“→”が表示された例文選択画面になりますので、**▼**、**▲**で登録したい例文を選択して **検索/決定** を押します。

参考 ● 単語帳の詳細画面からは登録できません。

- 単語帳は各コンテンツで最大500件まで登録できます。

なお、単語帳以外の詳細画面でマーカーを引いた場合、その語も単語帳に登録されます (☞次ページ)。

各コンテンツの画面から、登録した語を見る

1 見たいコンテンツの画面 (例えば英和辞典の入力/選択画面、詳細画面など) にします。

2 **機能** **しおり** (単語帳) を押します。

単語帳リスト画面が表示されます。

3 **▼**、**▲**で目的の語を選び

検索/決定 を押します。

選んだ語の詳細画面が表示されます。

- データは各コンテンツと同様の順番、または登録順に並びますが、成句などは見出し語よりも後に並びます。

英和	全単語	ネットワーク
1	absolute	ab·so·lute /əb'səʊlɪt, ーニ、《英+》-lɒt, ーニ、əpsə-, 《英略式》-səʊlɪ/<略>
2	conscience	【原義…から(ab)完全に自由にされた(solute), [派] + absolutely(副)】
3	echo	一語(比較なし)
4	header	● [限定] 完全な、決定的な、疑う余地のない、絶対的(complete)、まったくの、純粹の(pure)(※感情表現として名詞を強調するときは、《略式》となる) ＜英＞
5	nail	● [通例限定]《正式》無制限の、無条件の、絶対的(な)(relative);専制[圧制]の、独断的(な) ＜英＞
6	natural	
7	skew	
8	text	
9	warble	
10	yearn	
11	複合・派生: [ne-成句]: [nail]	

コンテンツ一覧から、登録した語を見る

登録した単語帳のデータをコンテンツ一覧から見るができます。

- 1 **メニュー** を押し「便利機能」から「すべての単語帳を見る」を選びます。
分類一覧が表示されます。

○ 単語帳	
1 日本語系	1/1
2 英語系	
3 理科・社会	
4 学習	
5 外国会話	
6 例文	

参考 • **メニュー** **機能** **しおり** (単語帳) と押しても、上記画面が表示されます。

- 2 **▼**、**▲** で目的の分類を選び **検索/決定** を押します。
選んだ分類のコンテンツ一覧が表示されます。

○ 単語帳(英語系)	
1 ジーニアス英和辞典	4件 1/1
2 ジーニアス和英辞典	0件
3 ベーシックジーニアス英和辞典	0件
4 OXFORD 現代英英辞典	5件

- 3 **▼**、**▲** で目的のコンテンツを選び **検索/決定** を押します。

選んだコンテンツの単語帳リスト画面が表示されます。

- 4 **▼**、**▲** で目的の語を選び **検索/決定** を押します。

選んだ語の詳細画面が表示されます。

覚たい語句にマーカーを引く

覚たい語句にマーカーを引いて登録(単語帳に登録されます。)し、その部分を集中的に覚えたり、マーカー部分を隠しておいて、その部分を言い当てるテストができます。

- 1 例えば英和辞典で「header」と入力し、詳細画面を表示させます。

- 2 **機能** **Sジャンプ** (マーカー) と押し
ます。
カーソルが表示されます。

英和	見出し	割合	派生
英和	head·er		
英和			
①	〔コンピュータ〕ヘッダー〔文書のページ上部に印刷する日付・標題; 電子メールの先頭にある件名・受信者・送信者など〕。		
②	〔サッカー〕ヘディング。		

- 3 **▶**、**◀** などでカーソル“■”を先頭の文字「文」に移し **検索/決定** を押します。

- 4 **▶** でカーソル“■”を最後尾の文字「ど」まで移します。(1文字の指定では、この操作は不要です。)

英和	見出し	割合	派生
英和	head·er		
英和			
①	〔コンピュータ〕ヘッダー〔文書のページ上部に印刷する日付・標題; 電子メールの先頭にある件名・受信者・送信者など〕。		
②	〔サッカー〕ヘディング。		

5 **検索/決定**を押します。

単語帳に登録した(またはマーカーを追加した)旨のメッセージが一時表示され、登録されます。

参考

- マーカーは1回で最大120文字まで引くことができます。
- マーカーは1つのデータに10カ所まで引くことができます。
- 項目の終わり(改行)を超えてマーカーを引くことはできません。
- 今引いているマーカーを消したいときは**戻る**を押します。もう一度**戻る**を押すと、カーソル“■”が消えます。
- 例文検索機能で探し出した例文は、いったん単語帳に登録し、そのあと単語帳の詳細画面に表示させてからマーカーを引きます。

登録したマーカーを消すときは

- 手順**1**～**3**と同様の手順でマーカーが引かれている文字にカーソルを移して**検索/決定**または**後退**を押します。
画面に表示されるマーカー削除の確認メッセージに従って**Y**を押します。

1つのデータに引かれている全てのマーカーを消すときは

マーカーテストのリスト画面(☞下記)で、語を選んで**後退**を押し、画面に表示されるマーカー削除の確認メッセージに従って**Y**を押します。

コンテンツごとに、または全コンテンツのマーカーをまとめて消すときは53ページを参照してください。

マーカー部分を使ってテストをする

1 例えば英和辞典の入力画面などで**機能****しおり**(単語帳)を押します。コンテンツの単語帳が表示されます。

2 **切替**を押します。

マーカーテストのリスト画面が表示されます。

- 手順**1,2**の代わりに各コンテンツの入力画面などで**機能****メニュー**(マーカーテスト)を押すと、マーカーテストのリスト画面が表示されます。




3 テストしたい語を選び **検索/決定** を押します。

マーカーを引いた箇所の文字が隠された詳細画面が表示されます。



4 隠されている内容を言います(または考えます)。

5 **検索/決定**を押して隠れている内容を表示させ、言った(考えた) 答えと一致しているか確認します。

- 参考**
- 単語帳の画面などで、前に  マークが表示されている語は、マーカーが付けられていることを示します。
 - 別の語でテストするときには、**戻る**を押してマーカーテストのリスト画面に戻って選び直します。

単語帳を削除(登録を解除)する方法

単語帳は、1件ずつの削除、コンテンツ別にすべて削除、製品内のすべての削除ができます。(削除した語にマーカーが引かれていた場合、そのマーカーは消去されます。)単語帳を削除しても、元の辞書などのデータは削除されません。

単語帳を1件ずつ削除する方法

1 各コンテンツの単語帳を表示させます。

2 、 (漢字源は 、、、) で削除したい語にカーソルを移して **後退** を押します。

削除の確認画面が表示されます。

3 **Y**キーを押します。

選択した語が削除されます。

- 参考** • 単語帳の詳細画面で **後退** を押しても削除することができます。

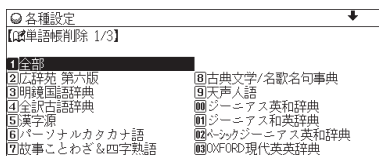
単語帳をまとめて削除する方法

1 **メニュー** を押し、「便利機能」から「各種設定」を選びます。

2 **▼**、**▲** で「単語帳・しおり・マーカー削除」を選び**検索/決定**を押します。

3 **▼**、**▲** で「単語帳削除」を選び**検索/決定**を押します。

•画面は**▽** **△** で切り替えます。



4 **▼**、**▲**、**▶**、**◀** で単語帳を削除するコンテンツ、または「全部」を選び**検索/決定**を押します。

削除の確認画面が表示されます。

5 **Y**キーを押します。

選択したコンテンツの単語帳、またはすべての単語帳が削除されます。

マーカーだけをまとめて消去(削除)する方法

1 **メニュー** を押し、「便利機能」から「各種設定」を選びます。

2 **▼**、**▲** で「単語帳・しおり・マーカー削除」を選び**検索/決定**を押します。

3 **▼**、**▲** で「マーカー削除」を選び**検索/決定**を押します。

4 **▼**、**▲**、**▶**、**◀** でマーカーを消去するコンテンツ、または「全部」を選び**検索/決定**を押します。

削除の確認画面が表示されます。

5 **Y**キーを押します。

選択したコンテンツのマーカー、またはすべてのマーカーが消去されます。

参考 • 上記操作でマーカーは消去されますが、単語帳のデータは削除されません。

例文を検索する（例文検索）

単語のスペルや日本語の読みから、その後が含まれる英語の例文を検索することができます。

- 1 **メニュー** を押し「便利機能」から「例文検索」を選びます。（または、**機能** **一括検索**（例文検索）と押します。）

入力画面が表示されます。

- 2 スペル入力欄または読み入力欄に、調べたい語を入れます。

- スペルは3語まで入れることができます。

例文検索	
spelling 1 ?	have
spelling 2 ?	your_
spelling 3 ?	
読み ?	

- 3 **検索/決定** を押します。

入力した語の例文がリスト表示されます。

- 上部にタブで例文が検出されたコンテンツが示されます。

例文検索	G英和	ページ	検索	英語
[age]	「I have a daughter (of) your age. =I have a daughter the same age as you. 私にはあなたと同じ年の娘がいます(=a daughter about your ~は「あなたくらいの年齢の娘」)			
[agree]	「Your story /doesn't agree [=isn't agreeing] with what I've heard before. 君の話は前に聞いた話と矛盾している			
[all]	「You have to do as (to) do your best. 君は最善を尽くさなければよい(=You only have to do your best.)			
[almost]	「Have you finished your work?」「Almost." 「もう仕事は終わりましたか」「ええほとんど」。			

- 4 **切替** を押してコンテンツ（タブ）を選びます。

- 5 **▽**、**▼**などで例文を見ていきます。

2 「消費税電卓」を選び **検索/決定** を押します。

電卓画面が表示されます。

- 消費税率の変更は、電卓画面で **△** を押すと表示される画面で税率を入れ、**検索/決定** を押し設定します。



参考 計算を始める前に

- 計算を行う前に、**R·CM** **R·CM** **クリア** と押して、メモリーと表示をクリアしてから始めてください。
- 消費税計算を行うときは税率を確認し、必要なときは設定し直してください（☞上記）。
- 負の数が最初にくるときは、減算記号 **(-)** を負数シンボル(マイナス)として計算を始めることができます。
- 入力中に数字を入れまちがえたときは **C·CE** を押して、もう一度入れ直してください。
- 計算の途中や結果を示すため、画面に “=”、“M+”、“M-”、“+”、“-”、“×”、“÷” が表示されますが、以降の計算例では、これらの表示は省略しています。“=” は **=** または **%** を押したとき、その他の “M+”、“+” などは、それぞれのキーを押したときに表示されます。

こんなときはエラーが出ます

計算結果の整数部が13桁以上になったときや、除数が0の除算をしたときなどは、画面に「E」が表示されて、その後の計算ができなくなります。

C·CE を押してエラー状態を解除してください。

次のような概数表示では、小数点は兆の位を示します。

例：4567890123 **×** 4560 **=** ^E 20.8295789608
C·CE 20.8295789608
↑
兆の位

	計算例	キー操作	表示(答)
加減乗除	$(-24) \div 4 - 2 =$	クリア [-] 24 [÷] 4 [-] 2 [=]	- 8.
定数計算	$34 + 57 =$	34 [+] 57 [=] (加数が定数 となります)	91.
	$45 + 57 =$	45 [+] 57 [=]	102.
	$68 \times 25 =$	68 [×] 25 [=] (被乗数が定数 となります)	1'700.
	$68 \times 40 =$	68 [×] 40 [=]	2'720.
パーセント 計算	200の10%は?	200 [×] 10 [%]	20.
	9は36の何%	9 [÷] 36 [%]	25.
割増 割引	200の10% 増しは?	200 [+] 10 [%] (または200 [×] 10 [%] [+] [=])	220.
	500の20% 引きは?	500 [-] 20 [%] (または500 [×] 20 [%] [-] [=])	400.
べき乗	$4^6 = (4^3)^2 =$	4 [×] [=] [×] [=]	4'096.
逆数計算	$1 / 8 =$	8 [÷] [=]	0.125
税込計算	25000円の 税込額 (5%)	25000 [←]	税込 26'250.
	税額 (5%)	[←]	税額 1'250.
	税抜額が 1000円と500円の 合計額	1000 [+] 500 [=]	1'500.
	税込額 (5%)	[←]	税込 1'575.
税額 (5%)	[←]	税額 75.	
税抜計算	44100円の 税抜額 (5%)	44100 [▶]	税抜 42'000.
	税額 (5%)	[▶]	税額 2'100.
	税込額が 1050円と525円の 合計額	1050 [+] 525 [=]	1'575.
	税抜額 (5%)	[▶]	税抜 1'500.
税額 (5%)	[▶]	税額 75.	

	計算例	キー操作	表示(答)
メモリー 計 算	(累計)	計算の前にメモリーを消去します ↳ R・CM R・CM	※
	25 × 5 =	25 (×) 5 (M+)	M 125.
	-) 84 ÷ 3 =	84 (÷) 3 (M-)	M 28.
	+) 68 + 17 =	68 (+) 17 (M+)	M 85.
	(計) =	R・CM	M 182.
	(定数記憶)	R・CM R・CM	
	12 (+) 14 (M+)	12 (+) 14 (M+)	M 26.
	135 × (12 + 14) =	135 (×) R・CM (=)	M 3'510.
	(12 + 14) ÷ 5 =	R・CM (÷) 5 (=)	M 5.2

※メモリーに0以外の数値が入ると、“M”が表示されます。

(M+)、(M-)は(=)の動きもかねています。

通貨換算をする

通貨のレートを設定する

4種類の通貨レートが設定できます。

1 機能選択画面で「通貨換算」を選び(検索/決定)を押します。

通貨換算画面が表示されます。
「通過換算1」の画面ではUSD（米ドル）、YEN（円）が入力されています。



参考 • 画面は「通貨換算1」から「通貨換算4」の4画面ありますので▼、▲で切り替えます。


2 (△) を押し、表示された画面の左側に基準の通貨名、右側にレートを設定する通貨名を、そして通貨レートを入力し、(検索/決定)を押します。



通貨レートが設定されます。

通貨を換算する

事前に通貨レートを設定しておいてください。

- 1 通貨換算画面で換算する金額を入力します。

通貨換算 1	
	USD ⇄ YEN (レ→122.5)
	19600.

- 2  で左の通貨から右の通貨へ、
 で右の通貨から左の通貨へ換算します。



換算された金額が表示されます。

通貨換算 1	
	USD ← YEN (レ→122.5)
	160.



単位換算をする

単位換算機能で、長さや重さ、温度の単位を換算することができます。

- 1 機能選択画面で、「単位換算」を選び **検索/決定** を押します。
単位換算の入力画面が表示されます。

- 2 、 で換算する単位を選び、換算する数値を入力します。

単位換算【長さ換算 2/4】	
	feet ⇄ m (0.3048)
	210.

- 3  で左の単位から右の単位へ、
 で右の単位から左の単位へ換算します。

換算結果が表示されます。

単位換算【長さ換算 2/4】	
	feet → m (0.3048)
	64.008

参考

- この製品では、次のような単位の換算ができます。
 - 長さ1 inch (インチ) ⇔ cm (センチメートル)
 - 長さ2 feet (フィート) ⇔ m (メートル)
 - 長さ3 yard (ヤード) ⇔ m (メートル)
 - 長さ4 mile (マイル) ⇔ km (キロメートル)
 - 重さ1 常用oz (オンス) ⇔ g (グラム)
 - 重さ2 常用lb (ポンド) ⇔ kg (キログラム)
 - 温度 °F (華氏) ⇔ °C (摂氏)
 - 上記単位の「ポンド」は常用ポンド、「オンス」は常用オンスです。この場合、1ポンドは16オンスになります。
- この他に、トロイポンド、トロイオンスなどがあります。

年号計算をする

西暦593年から2087年までの間で、西暦と和暦を換算したり、その年の干支などを調べることができます。

西暦または和暦(平成～明治)の年数から調べる

1 機能選択画面で「年号計算」を選び「検索/決定」を押します。

年号計算の入力画面が表示されます。

年号計算

西暦 和暦

平成 昭和 大正 明治

年数?【 (593~)]

和暦読み?【 】

2 年号を選び、カーソルを年数の入力欄へ移して年数を入力します。

該当する年から順番にリスト(一覧)表示されます。

3 “→” マークを目的の年数へ移し「検索/決定」を押します。

その年の詳細画面が表示されます。

和暦の読みから調べる

1 年号計算の入力画面で、和暦読みの入力欄へカーソルを移し、和暦の読みを入力します。

入力した読みで始まる和暦が50音順にリスト(一覧)表示されます。

2 “→” マークを目的の和暦へ移し「検索/決定」を押します。

年の順にリスト(一覧)表示されます。

- 3** “→” マークを目的の年へ移し **検索/決定** を押します。
その年の詳細画面が表示されます。

年齢計算をする

年齢や誕生日(生まれた年)を計算したり干支などを調べることができます。

年齢を調べる

誕生日がわかっているとき、何歳になるのかを調べます。

- 1** 機能選択画面で「**年齢計算**」を選び **検索/決定** を押します。
年齢計算の機能選択画面が表示されます。
- 2** 「**年齢を調べる**」を選び **検索/決定** を押します。
誕生日と現在年の入力画面が表示されます。
- 3** 年号を選んでから、生まれた年(誕生日)と、調べる年(現在年)を入力し **検索/決定** を押します。
詳細画面に年齢が表示されます。

生まれた年(誕生日)を調べる

年齢が分かっているとき、何年生まれかを調べます。

- 1** 年齢計算の機能選択画面で「**誕生日を調べる**」を選び **検索/決定** を押します。
現在年と年齢の入力画面が表示されます。
- 2** 年号を選び、現在年、年齢を入力し **検索/決定** を押します。
詳細画面に生まれた年が表示されます。

ある年齢になる年を調べる

誕生日がわかっているとき、ある年齢になるのが何年なのかを調べます。

- 1** 年齢計算の機能選択画面で「**年齢になる年を調べる**」を選び **検索/決定** を押します。
誕生日と年齢の入力画面が表示されます。
- 2** 年号を選び、誕生日、年齢を入力し **検索/決定** を押します。
詳細画面に、指定した年齢になる年が表示されます。

各種設定

ここでは、使いやすく設定を変える方法を説明します。

1 **メニュー** を押し、「便利機能」から**各種設定** を選びます。

各種設定リスト画面が表示されます。

◎ 各種設定	
1) オープニング設定	
2) キータッチ音	：【人】
3) かな入力方法	：【ローマ字】
4) オートパワーオフ時間	：【5分後】
5) 表示濃度の調整	
6) プレビュー	：【人(リスト画面で右に表示)】
7) 音量	：【音量5】
8) 電池設定	：【アルカリ乾電池】
9) 単語帳・入切・マーク削除	
0) 名前・暗証番号	

2 **▼**、**▲** で各種設定リスト画面の各項目を選び**検索/決定** を押します。また、数字キーで選ぶこともできます。

設定や切り替えなどを行う画面が表示されます。

以降、上記と同様の操作は、次のように説明します。

例：各種設定リスト画面で「キータッチ音」を選び**検索/決定** を押します。

- 参考**
- 各種設定リスト画面からメインメニュー画面に戻るときは**戻る** を押します。
 - 単語帳削除については53ページ、しおり削除については48ページ、マーク削除については53ページをご覧ください。

電源を入れたときの画面（オープニング画面）を設定する

入/切 を押して電源を入れたときに一定時間表示される画面（オープニング画面）を設定することができます。

- 表示あり : 「四字熟語」を表示します。
表示なし : オープニング画面は表示しません。
名前 : 登録した名前を表示します。

1 各種設定リスト画面で「オープニング設定」を選び**検索/決定** を押します。

◎ オープニング設定	
電源を入れた時の表示画面を設定します	
<input type="checkbox"/>	表示あり(四字熟語)
<input checked="" type="checkbox"/>	表示なし
<input type="checkbox"/>	名前

2 ▼、▲で“✓”を移動させてオープニングの設定を選び **検索/決定** を押します。

設定され、各種設定リスト画面に戻ります。

オープニング画面を停止してコンテンツを使いたいときは

オープニング画面表示中に **メニュー** や **クリア** など、いずれかのキーを押します。

キータッチしたときの音の入/切を設定する

キーを押したとき「ピッ」と鳴るキータッチ音の「入」、「切」を設定します。

1 各種設定リスト画面で「キータッチ音」を選び **検索/決定** を押します。
キータッチ音の設定画面が表示されます。

2 ▼、▲で“✓”を移動させて入/切を選び **検索/決定** を押します。
「入」「切」が設定され、各種設定リスト画面に戻ります。

かなの入力方法を設定する

かなの入力方法をローマ字かな入力方式または50音かな入力方式に設定します。

1 各種設定リスト画面で「かな入力方法」を選び **検索/決定** を押します。
かな入力方法設定画面が表示されます。

2 ▼、▲で“✓”を移動させて入力方法を選び **検索/決定** を押します。
入力方法が設定され、各種設定リスト画面に戻ります。

オートパワーオフの時間を設定する

キー操作がなかったとき自動的に電源が切れる時間を設定します。

1 各種設定リスト画面で「オートパワーオフ時間」を選び **検索/決定** を押し
ます。

オートパワーオフ時間設定画面が表示されます。

2 **▼**、**▲** で“✓”を移動させて時間を選び **検索/決定** を押し
ます。
時間が設定され、各種設定リスト画面に戻ります。

表示の濃度を調整する

表示部の表示濃度を調整します。

1 各種設定リスト画面で「表示濃度の調整」を選び **検索/決定** を押し
ます。

2 **◀** (淡く)、**▶** (濃く) で見やすい濃さに調整し、**検索/決定** を押し
ます。

表示濃度が設定され、各種設定リスト画面に戻ります。

参考 • 各画面で **機能** **◀** (淡く)、**機能** **▶** (濃く) と何回か押しでも調整でき
ます。

機能 を押して離れた後、**◀** または **▶** を押したままにすると、濃度が
連続的に変わっていきます。

プレビュー表示を設定する

プレビュー表示 (☞ 32ページ) の入/切および表示位置を設定します。

1 各種設定リスト画面で「プレビュー」を選び **検索/決定** を押し
ます。
プレビュー画面の設定画面が表示されます。

2 **▼**、**▲** で“✓”を移動させて表示位置などを選び **検索/決定** を押し
ます。
表示位置などが設定され、各種設定リスト画面に戻ります。

参考 • プレビュー表示ができる画面で **機能** **切替** (プレビュー) と押し切り替
えることもできます。

音量を調整する

音声を再生できるコンテンツの音量を調整します。

1 各種設定リスト画面で「音量」を選び「検索/決定」を押します。

音量調整画面が表示されます。

2 ◀、▶ で音量を選び「検索/決定」を押します。

音量が設定され、各種設定リスト画面に戻ります。

参考 ● 音声の再生画面で「音量大」、「音量小」を押して音量を調整することもできます。

電池の設定をする

使用する電池を乾電池から充電電池に交換したとき、充電電池から乾電池に交換したときは、電池設定をしてください。

注意 市販の充電電池をご使用になる場合は、次のことをお守りください。

発熱、発火、破裂、感電の原因になることがあります。

- 充電電池は三洋電機株式会社製の単4形eneloop®(エネループ)またはパナソニック株式会社製の単4形 充電式EVOLTA (エボルタ)をご使用ください。これ以外の充電電池は使用しないでください。
- 充電は必ず各充電電池の専用の充電器をお使いください。
- 充電電池をご使用の際は、充電電池やその充電器の取扱説明書、注意書きなどを十分お読みいただき、条件を守ってご使用ください。

1 各種設定のリスト画面で「電池設定」を選び「検索/決定」を押します。

電池設定画面が表示されます。

◎電池設定

使用する電池の設定をします

- アルカリ乾電池 (単4形 LR03)
- 充電電池 (単4形 eneloop® または単4形 充電式EVOLTA)

2 ▼、▲ で使用する電池(「アルカリ乾電池」または「充電電池」)を選んで「検索/決定」を押します。

使用する電池が設定され、各種設定リスト画面に戻ります。

参考 ● 使用する電池と、上記の設定が一致していないと、電池残量検出が正しく行われなことがあります。

電子辞書に名前・暗証番号を登録する

まちがえて他の人の電子辞書を使用したり、他の人が使用したりしないように、ご自身の名前を登録し、電源を入れたときのオープニング画面として表示させることができます。

名前は暗証番号(パスワード)で保護され、暗証番号が分からないと変更や消去ができません。

暗証番号と名前を登録する

まず、はじめに次の手順で暗証番号と名前を登録します。

1 各種設定リスト画面で「名前・暗証番号」を選び「**検索/決定**」を押します。

暗証番号の入力画面が表示されます。

2 8桁以内の数字で、暗証番号(例えば「1234」)を入れます。

◎名前・暗証番号
暗証番号(数字8桁以内)を設定してください
【1234_ 】

3 「**検索/決定**」を押します。

名前の入力画面が表示されます。

4 アルファベット(20文字以内)で名前(例えば「YAMADA」)を入れます。

スペースや記号などは使えません。

◎名前・暗証番号
名前(アルファベット20文字以内)を入力してください
【YAMADA_ 】

5 「**検索/決定**」を押します。

「登録が完了しました」と一時表示し、各種設定リスト画面に戻ります。

注意 ● 暗証番号が分からなくなると名前の変更や削除ができなくなります。暗証番号は、必ず紙などに控え、他の人に見られない所に保管してください。誕生日や電話番号など、他の人に知られやすい番号は避けてください。

名前をオープニング画面に設定する

名前をオープニング画面として表示させるには、オープニング設定画面で、「名前」を選択して設定します。
オープニング画面の設定方法は62ページをご覧ください。

登録している暗証番号を変更する

1 各種設定リスト画面で「名前・暗証番号」を選び**検索/決定**を押します。

暗証番号入力／変更の選択画面が表示されます。

- 名前が登録されていないと暗証番号の入力画面が表示されます。

名前・暗証番号

暗証番号(数字8桁以内)を入力してください

【 】

?暗証番号を変更する

2 ▼で「?暗証番号を変更する」を選び、**検索/決定**を押します。

暗証番号の変更画面が表示されます。

3 現在の暗証番号を入れ、▼でカーソルを下に移して新しい暗証番号(例えば「4321」)を入れます。

名前・暗証番号

暗証番号(数字8桁以内)を変更します

現在の暗証番号【1234 】

新しい暗証番号【4321_ 】

4 **検索/決定**を押します。

「暗証番号を変更しました」と一時表示し、各種設定リスト画面に戻ります。

登録している名前を変更する

- 1 各種設定リスト画面で「名前・暗証番号」を選び**〔検索/決定〕**を押します。
暗証番号入力／変更の選択画面が表示されます。

- 2 登録している暗証番号(例えば「4321」)を入れます。

● 名前・暗証番号
暗証番号(数字8桁以内)を入力してください
■【4321_】■
?暗証番号を変更する

- 3 **〔検索/決定〕**を押します。

名前の変更／削除選択画面が表示されます。

● 名前・暗証番号
現在登録されている名前です
【YAMADA】
■ ?名前を変更する ■
?名前を削除する

- 4 **〔▼〕**、**〔▲〕**で「?名前を変更する」を選んで**〔検索/決定〕**を押します。
名前の入力画面が表示されます。

- 5 アルファベット(20文字以内)で名前(例えば「SUZUKI」)を入れます。

● 名前・暗証番号
名前(アルファベット20文字以内)を変更します
■ 新しい名前【SUZUKI_】■



- 6 **〔検索/決定〕**を押します。

「名前を変更しました」と一時表示し、各種設定リスト画面に戻ります。

登録している名前、暗証番号を削除する

名前を削除すると暗証番号も削除されます。

1 先の「登録している名前を変更する」の手順1～3を行います。


2 、 で「?名前を削除する」を選んで **検索/決定** を押します。
名前削除の確認画面が表示されます。

名前(7桁以内)20文字以内を削除します

[Y]はい [N]いいえ

3  を押します。

「名前を削除しました」と一時表示し、各種設定リスト画面に戻ります。

-  キーを押したときは、削除を中止して各種設定リスト画面に戻ります。

コンテンツ

説明編

国語系.....	71
英語系.....	77
理科&社会.....	79
学習.....	82
7カ国会話.....	85
コンテンツ(辞書)データについて.....	90

国語系

広辞苑 第六版

読み

調べたい言葉の読みを入れます。

◎広辞苑 第六版	
読み？	<input type="text"/>
逆引き	<input type="text"/>
🔍分野別小辞典	
🔊音を聞く	

逆引き

調べたい言葉の後ろにつく文字(例:「～つばき」を探す場合は「つばき」)を入れます。

分野別小辞典 : 人名 地名 作品名 季語 慣用句

人名 地名 作品名 季語

項目を選択後、調べたい言葉の読みを入れます。

慣用句

読み

慣用句の読みの先頭2文字を入れます。

キーワード

慣用句に関連するキーワードを3種類まで入れます。

音を聞く

各項目を選んでいきます。

音を再生中に**検索/決定**を押すと詳細画面が表示されます。

参考 • スピーカーで音声を聞くととき

収録している鳥の鳴き声は、自然の中での録音のため電子辞書本体のスピーカーの音響特性上聞き取りにくい場合があります。

スピーカーの音量を大きくしても音が小さい場合は、付属のイヤホンで聞いていただくことをお勧めします。

分野別小辞典のグループ一覧

分野名	グループ		
人名	日本 中国・朝鮮	ヨーロッパ・北アメリカ インド・アフリカなど	
地名	日本	全域 北海道 東北地方 関東地方 中部地方 近畿地方 中国地方	四国地方 九州地方 (全部) 自然地理 地方・県名など 都市名・区町村名など 歴史的地名 自然公園・観光地など その他
	アジア	全域 中国・朝鮮 東南アジア・南アジア 中近東・中央アジア	(全部) 自然地理 国名 地方・州名・省名・県名など 都市名・区町村名など その他
	ヨーロッパ	全域 イギリス・アイルランド 北ヨーロッパ 西ヨーロッパ 南ヨーロッパ 東ヨーロッパ 中部ヨーロッパ 旧ソ連地域	(全部) 自然地理 国名 地方・州名など 都市名・区町村名など その他
	アフリカ		
	北アメリカ		
	中部アメリカ・南アメリカ オセアニア・南極		
作品名	日本	(全部) 文学 芸能 能・狂言 歌舞伎・浄瑠璃	音楽・舞踏 映画・演劇 美術 宗教書 歴史・思想・学術・記録
	中国・インド など	(全部) 文学 音楽・舞踏・芸能	美術 宗教書 歴史・思想・学術・記録
	その他の外国 作品	(全部) 文学 音楽・舞踏・芸能	映画・演劇 宗教書 歴史・思想・学術・記録
季語	春	(全部)	動物
	夏	時候・天文・気象・地形	植物
	秋	行事・祭事・習俗・俗信	
	冬	衣食住	
	新年	人事(遊び・病気など) 農耕・狩猟・漁労など	

明鏡国語辞典

読み

調べたい言葉の読みを入れます。

類語 読み

調べたい類語の読みを入れます。

略号・記号一覧

略号や記号の表記などを見ることができます。

凡例

編集要旨（凡例）などを見ることができます。

明鏡国語辞典	
読み？	<input type="text"/>
類語 読み？	<input type="text"/>
🔍略号・記号一覧	
🔍凡例	

全訳古語辞典

読み

調べたい言葉の読みを入れます。

全訳古語辞典	
読み？	<input type="text"/>

漢字源(JIS第1～第4水準版)

部品読み

漢字を構成する部品の読みを1～4種入れます。

例えば「辞」は下のような部品に分けることができます。

【例】 「舌」 した、ぜつ、したへん
「辛」 からい、つらい、しん、かのと
「立」 たつ、りつ、りゅう、りつとる
「十」 じゅう、とお

どれを入れても
検索できます。

音訓読み

漢字の音読み、または訓読みを入れます。

部首画数

部首の画数を入れます。

総画数

総画数を入れます。

これら4つを組み合わせることもできます。

参考 ● 筆順を見るとき

詳細画面に「筆順：」が表示されている画面で「例/解説」を押し、を反転表示させ「検索/決定」を押します。

(☞35、115ページ)

パーソナルカタカナ語辞典

読み

調べたい言葉の読みを入れます。

アルファベット略語集 spelling

調べたい語のスペルを入れます。

○ パーソナルカタカナ語辞典	
読み？	
アルファベット略語集 spelling ?	

故事ことわざ辞典&四字熟語辞典

使用シーン/内容から探す

各項目を選んでいきます。

読みから探す (故事ことわざ)

読みから探す (四字熟語)

調べたい言葉の読みを入れます。

漢字1字から探す (四字熟語)

部品読み、音訓読み、部首画数、総画数のいずれかを入れて (前ページ)、またこれら4つを組み合わせると漢字1字を選択し、その漢字を含む四字熟語を調べることができます。

○ 故事ことわざ&四字熟語辞典		
故事ことわざ	&	四字熟語
1 使用シーン / 内容から探す		
故事ことわざ		四字熟語
2 読みから探す		3 読みから探す
		四字熟語
		4 漢字1字から探す

古語林 古典文学/名歌名句事典

読み

古典の書籍名、作者名、歌などの調べたい言葉の読みをいれま
す。

古語林 古典文学事典/名歌名句事典

読み? _____

天声人語

キーワード

キーワードを入れて天声人語の
記事を調べます。

朝日新聞 天声人語

キーワード? _____

Q 時期から選ぶ
Q ジャンルから選ぶ
Q 人名索引

時期から選ぶ

ジャンルから選ぶ

人名索引

各項目を選んでいきます。

英語系

ジーニアス英和&和英辞典

spelling (英和辞典)

調べたい単語のスペルを入れます。

読み (和英辞典)

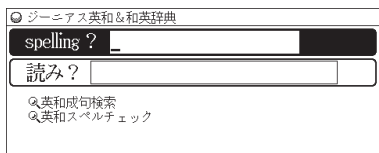
調べたい言葉の読みを入れます。

英和成句検索

3つ以内の単語 (スペル) を入れてそれらの単語をすべて含んだ成句 (熟語) を調べます。

英和スペルチェック

確信がもてない単語 (スペル) を入れ調べます。



ベーシックジーニアス英和辞典

spelling

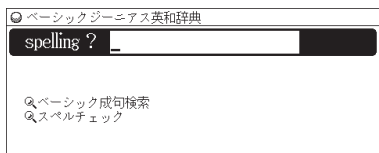
調べたい単語のスペルを入れます。

ベーシック成句検索

3つ以内の単語 (スペル) を入れてそれらの単語をすべて含んだ成句 (熟語) を調べます。

スペルチェック

確信がもてない単語 (スペル) を入れ調べます。



OXFORD現代英英辞典

spelling

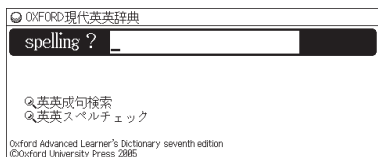
調べたい単語のスペルを入れ
ます。

英英成句検索

3つ以内の単語（スペル）を入
れてそれらの単語をすべて含んだ
成句（熟語）を調べます。

英英スペルチェック

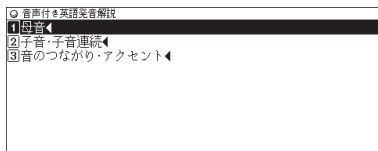
確信がもてない単語（スペル）を入
れ調べます。



音声付き英語発音解説

各項目を選んでいきます。

詳細画面で◀▶を押し、▶、◀、▼、▲でアメリカ発音
またはイギリス発音を選択し、
[検索/決定]を押すと画面下部に
表示の語を発音します。



理科&社会

ブリタニカ国際大百科事典

本製品に収録しているブリタニカ国際大百科事典Quick Search Versionは、当社に著作権を許諾いただいたデータを電子辞書用に編集して収録したもので、CD-ROM版ブリタニカ国際大百科事典Quick Search Versionと比較して、イラスト・図表の収録数は少なくなっております。

読み

調べたい言葉の読みを入れます。

アルファベット

調べたい言葉のアルファベットを入れます。

世界の国

世界遺産関連項目

世界の人物

世界の動物

日本の都道府県

各項目を選んでいきます。

○ブリタニカ 国際大百科事典

読み?

アルファベット?

世界の国 世界の動物
世界遺産関連項目 日本の都道府県
世界の人物

新物理小事典

読み

調べたい言葉の読みを入れます。

○新物理小事典

読み?

新化学小事典

読み

調べたい言葉の読みを入れます。

○新化学小事典

読み?

生物事典

読み

調べたい言葉の読みを入れます。

○生物事典

読み?

日本史事典

読み

調べたい言葉の読みを入れます。

○日本史事典

読み?

世界史事典

読み

調べたい言葉の読みを入れます。

○世界史事典

読み?

現代社会テーマ集・日本国憲法

キーワード

キーワードとなる言葉の読みを入れて関連する内容を調べます。

○現代社会テーマ集

キーワード?

🔍第1編 現代社会の仕組み
🔍第2編 国際社会の仕組み
🔍第3編 文化と環境
🔍資料 日本国憲法

第1編 現代社会の仕組み

第2編 国際社会の仕組み

第3編 文化と環境

資料 日本国憲法

各項目を選んでいきます。

参考 ●各テーマの重要度を★の数で示しています。

★：一般的 ★★：重要 ★★★：最重要

都道府県小事典

読み

調べたい地名や都市名の読みを入れます。

都道府県から探す

各項目を選んでいきます。

○都道府県小事典

読み?

🔍都道府県から探す

学習

百人一首

上の句 読み

上の句の初めの言葉の読みを入れて歌を調べます。

下の句 読み

下の句の初めの言葉の読みを入れて歌を調べます。

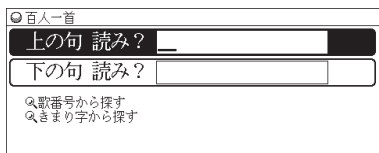
歌番号から探す

歌番号を選んでいきます。

きまり字から探す

何文字きまりかを選び、そのきまり字から歌を調べます。

- 参考**
- きまり字とは、初めの言葉から何文字かがわかると、どの歌が決まる文字のことです。
 - 音声は、上の句、下の句を連続して再生します。



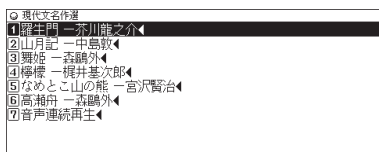
現代文名作選

読みたい作品を選び、各項目を選んでいきます。

音声連続再生

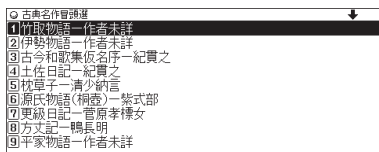
各項目を選んでいき、詳細画面を表示させ **🔊** を押します。
⏪ で示される音声データが順番に再生されます。

- 参考**
- 再生を途中で止めるときは **🔙** を押します。
 - 再生中止後、**🔊** を押すと、画面に表示されている先頭の **⏪** で示される音声データから再生されます。



古典名作冒頭選

作品を選び古典名作の冒頭部分を調べます。



物理公式集

読み

調べたい公式の読みを入れます。

第1章 運動と力

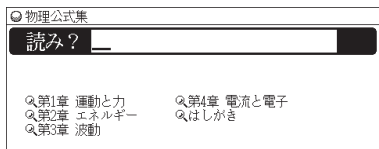
第2章 エネルギー

第3章 波動

第4章 電流と電子

はしがき

各項目を選んでいきます。



辞書式配列化学反応式

読み

名称の読みを入れて物質の性質や化学反応式を調べます。

辞書式配列化学反応式

読み?

アルファベット?

官能基で探す

構成

アルファベット

名称のアルファベットを入れて物質の性質や化学反応式を調べます。

官能基で探す

構成

各項目を選んでいきます。

数学公式集

読み

調べたい用語の読みを入れます。

数学 I [1] ~ [38]

数学A[39] ~ [80]

数学 II [81] ~ [142]

数学B[143] ~ [180]

各項目を選んでいきます。

数学公式集

読み?

数学 I [1] ~ [38]

数学A[39] ~ [80]

数学 II [81] ~ [142]

数学B[143] ~ [180]

参考

- 重要度を★の数で表示しています。数が多いほど重要な公式です。ただし、数学 I ・ 数学A ・ 数学 II ・ 数学Bの範囲を越えるものや、やや程度の高いものについては表示していません。
- タイトル (公式名) の前に [113] などの番号 (連番) をつけています。解説などで、[97] などの番号が記載されている場合は、その番号の公式を示していますので、参照してください。

7カ国会話

わがまま歩き旅行会話 英語

場面別会話

各項目を選んでいきます。

キーワード検索 読み

キーワードとなる言葉の読みを入れて会話文を調べます。

日英辞典

調べたい言葉の読みを入れます。

海外旅行ミニ知識

各項目を選びます。

◎ 旅行会話(英語)	
→ 🔍 場面別会話	
キーワード検索 読み?	<input type="text"/>
🔍 日英辞書	
🔍 海外旅行ミニ知識	

わがまま歩き旅行会話 イタリア語+英語

場面別会話

各項目を選んでいきます。

キーワード検索 読み

キーワードとなる言葉の読みを入れて会話文を調べます。

日英伊辞典

調べたい言葉の読みを入れます。

海外旅行ミニ知識

各項目を選びます。

◎ 旅行会話(イタリア語)	
→ 🔍 場面別会話	
キーワード検索 読み?	<input type="text"/>
🔍 日英伊辞書	
🔍 海外旅行ミニ知識	

参考 ● 単語が名詞の場合、後ろに (m)、(f) などの記号が付されています。これは、その名詞の性を表します。

(m)=男性形 (f)=女性形 (n)=中性名詞 (pl)=複数形
語尾変化をする場合には、女性形の語尾とルビを [] 内に表記してあります。
また、男性形、女性形で語尾変化をする形容詞の場合、() 内に女性形の語尾とルビを付けてあります。

わがまま歩き旅行会話 フランス語＋英語

場面別会話

各項目を選んでいきます。

キーワード検索 読み

キーワードとなる言葉の読みを入れて会話文を調べます。

◎ 旅行会話(フランス語)
→ 🔍 場面別会話
キーワード検索 読み? <input type="text"/>
🔍 日英仏辞書
🔍 海外旅行ミニ知識

日英仏辞典

調べたい言葉の読みを入れます。

海外旅行ミニ知識

各項目を選びます。

参考 ● 単語が名詞の場合、後ろに (m)、(f) などの記号が付されています。これは、その名詞の性を表します。

(m)=男性形 (f)=女性形 (n)=中性名詞 (pl)=複数形
語尾変化をする場合には、女性形の語尾とルビを [] 内に表記してあります。
また、男性形、女性形で語尾変化をする形容詞の場合、() 内に女性形の語尾とルビを付けてあります。

わがまま歩き旅行会話 スペイン語＋英語

場面別会話

各項目を選んでいきます。

キーワード検索 読み

キーワードとなる言葉の読みを入れて会話文を調べます。

◎ 旅行会話(スペイン語)
→ 🔍 場面別会話
キーワード検索 読み? <input type="text"/>
🔍 日英西辞書
🔍 海外旅行ミニ知識

日英西辞典

調べたい言葉の読みを入れます。

海外旅行ミニ知識

各項目を選びます。

参考 ● 単語が名詞の場合、後ろに (m)、(f) などの記号が付されています。これは、その名詞の性を表します。

(m)=男性形 (f)=女性形 (n)=中性名詞 (pl)=複数形

語尾変化をする場合には、女性形の語尾とルビを [] 内に表記してあります。また、男性形、女性形で語尾変化をする形容詞の場合、() 内に女性形の語尾とルビを付けてあります。

わがまま歩き旅行会話 ドイツ語＋英語

場面別会話

各項目を選んでいきます。

キーワード検索 読み

キーワードとなる言葉の読みを入れて会話文を調べます。

◎ 旅行会話(ドイツ語)	
➔ 場面別会話	
キーワード検索	読み?
🔍 日英独辞書	
🔍 海外旅行ミニ知識	

日英独辞典

調べたい言葉の読みを入れます。

海外旅行ミニ知識

各項目を選びます。

参考 ● 単語が名詞の場合、後ろに (m)、(f) などの記号が付されています。これは、その名詞の性を表します。

(m)=男性形 (f)=女性形 (n)=中性名詞 (pl)=複数形

語尾変化をする場合には、女性形の語尾とルビを [] 内に表記してあります。また、男性形、女性形で語尾変化をする形容詞の場合、() 内に女性形の語尾とルビを付けてあります。

わがまま歩き旅行会話 韓国語＋英語

場面別会話

各項目を選んでいきます。

キーワード検索 読み

キーワードとなる言葉の読みを入れて会話文を調べます。

日英韓辞典

調べたい言葉の読みを入れます。

海外旅行ミニ知識

各項目を選びます。

◎ 旅行会話(韓国語)	
→ 🔍 場面別会話	
キーワード検索 読み?	<input type="text"/>
🔍 日英韓辞書	
🔍 海外旅行ミニ知識	

わがまま歩き旅行会話 中国語＋英語

場面別会話

各項目を選んでいきます。

キーワード検索 読み

キーワードとなる言葉の読みを入れて会話文を調べます。

日英中辞典

調べたい言葉の読みを入れます。

海外旅行ミニ知識

各項目を選びます。

参考

●中国語の発音においては、音節の最後に少し舌を巻く「儿化」という現象がしばしば起こります(英語の「r」に近い発音です)。書くときは省略されることが多いですが、発音する際には、「儿化」が起こることがしばしばあります。

トラベル英会話

調べたい分類を選び、各項目を選んでいきます。



コンテンツ (辞書) データについて

広辞苑 第六版

編集方針

- 1、この辞典は、国語辞典であるとともに、学術専門語ならびに百科万般にわたる事項・用語を含む中辞典として編修したものである。ことばの定義を簡明に与えることを主眼としたが、語源・語誌の解説にも留意した。収載項目は約24万である。
- 2、国語項目は、現代語はもとより、古代・中世・近世にわたってわが国の古典にあらわれる古語を広く収集し、その重要なものを網羅した。漢語・外来語のほか、民俗語・方言・隠語・慣用句・俚語の類についても、その採録に意を用いた。
- 3、日本語のうち最も基礎的と思われる語約1000を選んで、その語義・用法などを特に詳述した。
- 4、国語項目の解説に当たっては、つとめて古典から文例を引用し、また、現代語の作例を多く掲げ、語の用法を实地に示した。また、仮名遣いや発音を定めるに当たっては、古辞書・訓点本の類に照らして正確を期した。
- 5、語源・語誌は、編者の説を中心に諸家の説をも参酌し、要約して注記した。必要に応じて、漢語にはその原典を、外国語の訳語にはその原語を掲示した。
- 6、百科的事項の収載範囲は、哲学・宗教、歴史・地理、政治・法律・経済、教育、数学・自然科学・医学、産業・技術・交通、美術・芸能・体育・娯楽、語学・文学などの万般にわたり、地名・人名・書名・曲名・年号などの固有名詞にも及ぶ。わが国の人名は物故者に限った。
- 7、挿図は、服飾・調度・紋様・風俗・動物・植物・建築その他各方面にわたり、地図・模式図を含め約2,800図を収めた。また、系図・組織図・一覧表など約100表を掲げ、解説文の理解を助けるよう配慮した。

●項目の構成・表記について

見出し語

<仮名遣い>

原則として『現代仮名遣い』(1986年7月内閣告示)の方式に従った。

- (1) 和語・漢語には平仮名を、外来語には片仮名を用いた。

例) ま・ぢか【間近】 クラブ【club・倶楽部】
つづ・く【続く】

- (2) 歴史的仮名遣いが現代仮名遣いと相違するものは、その相違する部分を見出し語の読みの横に片仮名で記し、相違しない部分は「…」で略した。

例) うわ・ぢょうし(ウハデウ…)【上調子】

(3) 外来語の片仮名表記については『外来語の表記』(1991年6月内閣告示)を参考とした。中国の地名・人名は一般に漢字音によったが、現代地名・人名は、原語音のローマ字表記を解説の冒頭に記した場合がある。

※ 長音を表すには「ー」を用いた。

※ 外国の固有名詞、および、外国語の感じが多分に残っている語に限って〔v〕の音は「ヴ」の仮名で表した。

<見出し語の区切り>

(1) 語構成を示すため、語源上からこれを二つの基本部分に分け、「-」でつないだ。語によっては、三つ以上に区分したものもある。

例) う-の-はな【卯の花】

語源を確定したい場合、また、語形の変化によって区分したい場合は、「-」を付さなかった。

例) やよい(ヤヨヒ)【弥生】(イヤオヒの転)

(2) 人名は姓氏と名との間で区切り、地名は「山」「川」「橋」などが付く場合、その直前で区切ったが、その他の地名・作品名・年号などの固有名詞は原則として区切らなかつた。

(3) 活用する語は、原則としてその終止形を見出し語とし、語幹と語尾との間に「・」を付した。その位置が語構成を示す「-」と合致する時は、「・」のみを付した。

例) うれし・い【嬉しい】《形》

<表記形>

【 】の中に、見出し語の仮名に相当する漢字または外国語の綴りを示した。

・漢語・和語

(1) 相当する漢字がいくつかある場合は、現代標準的と思われるものをもって代表させた。この際、『同音の漢字による書きかえ』(1956年7月 国語審議会報告)などを参照した。

※ 「弘報」(コウホウ)と「広報」(クワウホウ)のように、字音仮名遣いが異なるものは、別項として扱った。

(2) 送り仮名は、現代語は現代仮名遣い、古語は歴史的仮名遣いに従って施した。『送り仮名の付け方』(1981年10月 内閣告示)に示された原則に準拠しつつ、旧来の慣行をも考慮して送った。

例) おもい(オモヒ)【思い・念い・想い】
おもいわた・る(オモヒ・)【思ひ渡る】

・外来語

(3) 外来語については、わが国に直接伝来したと考えられる原語を掲げ、その言語名を注記した。英語の場合は一般にその注記を省略した。また、ギリシア語・ペルシア語・ロシア語などは適宜ローマ字綴りに直した。漢字を当てる慣行の定着している語にはこれを並記した。

例) ガス【gas オランダ・イギリス・瓦斯】

中国語および漢字の当てる梵語・朝鮮語などの場合は、【 】内にその漢字を掲げ、

適宜、原語音をローマ字で注記した。

例) チョンガー【総角】(朝鮮語ch'onggakの転)

- (4) 外国語の固有名詞には原則として言語名を注記せず、解説の叙述で分かるようにした。人名の場合は姓だけでなく名をも示し、また、原語における冠詞の類は多く省略した。

例) カント【Immanuel Kant】ドイツの哲学者。

- (5) 原語音からいちじるしく転訛した外来語、または外国語に擬してわが国で作られた語には、その綴りを【 】内に入れず、() 内に注記した。

例) ミシン (sewing machine の略訛)

<品詞の表示>

品詞の別は、略語をもって〈 〉内に示した。

- (1) 名詞および連語には、原則として品詞の表示を省略した。
(2) 動詞には自動詞・他動詞の別ならびに活用の種類を、文語形容詞には活用の種類を示した。

※ 動詞の四段活用・五段活用については、文語としての用法しか認められない語に限って、四段活用とした。

[品詞略語表]

《名》	名詞
《代》	代名詞
《自》	自動詞
《他》	他動詞
《形》	形容詞
《連体》	連体詞
《副》	副詞
《助動》	助動詞
《助詞》	助詞
《接続》	接続詞
《接頭》	接頭語
《接尾》	接尾語
《感》	感動詞
《枕》	枕詞

[活用の種類略語表]

五	五段活用
四	四段活用
上一	上一段活用
上二	上二段活用
下一	下一段活用
下二	下二段活用
力変	力行変格活用
サ変	サ行変格活用
ナ変	ナ行変格活用
ラ変	ラ行変格活用
ク	ク活用
シク	シク活用

<文語形と口語形>

活用語は、口語形見出しの下に、文語の用法をも併せて解説した。文語形のみあって、口語形が普通には行われない語については、その限りでない。

- (1) 口語形項目には、解説の冒頭に、対応する文語形を☒として示した。ただし、文語・口語同形の場合は省いた。

例) し・いる(シヒル)【強いる】《他上一》☒ し・ぶ(上二)

- (2) 文語形・口語形の見出しが並列上相並ぶ場合は、文語形見出しを立てなかった。また、口語形サ変動詞についても、その文語形見出しを原則として省略した。

見出し語の排列

<五十音順>

現代仮名遣いの五十音順により排列した。

(1) 清音・濁音・半濁音の順に置いた。

- 例) へん-き【騙欺】
べん-き【便器】
べん-ぎ【便宜】
ペンキ【番瀝青】

(2) 促音(そくおん)・拗音(ようおん)は、直音の前に置いた。

- 例) さっ-き【撮記】
さ-つき【五月・皐月】
ざっ-き【雑器】
ざ-つき【座付】

(3) 長音符「ー」は、すぐ上の片仮名の母音(ア・イ・ウ・エ・オのいずれか)を繰り返すものと見なして、その位置に排列した。

- 例) コーヒーはコオヒイの位置に置く。

<同音の語の排列>

見出し語の仮名表記が全く同じである場合は、順次つぎの基準に従って排列した。

(1) 品詞の順—名詞、代名詞、動詞、形容詞、連体詞、枕詞、副詞、助動詞、助詞、接続詞、接頭語、接尾語、感動詞の順に排列した。

連語は、体言相当のものは体言の、用言相当のものは用言の後に置いた。

(2) 和語・漢語・外来語の順—品詞を同じくする場合は、一般に和語を前に、字音語を後に置いた。外来語は、その原語の品詞にかかわりなく、名詞の末尾に排列した。

同音の語は、【 】内の首字の字画数の順に並べた。

(3) 普通名詞・固有名詞の順—地名・人名・作品名・年号など固有の名称は、原則として同音同字の他の名詞と項目を併せず、別に見出しを立ててその次に並べた。これら二つの項目が排列順位の上で離れる場合には、普通名詞の項目の解説末尾に(地名別項)(書名別項)などと注記した。

<親項目と複合語>

複合語は、語構成上の最初の部分が見出し語として掲げてある場合には、それを親項目としてその中にまとめた。ただし、一語意識のつよい語は独立した見出し語とした。

(1) 親項目は、見出し語の仮名が三字以上(促音・拗音などを表す仮名も字数に算入)から成る語に限った。ただし、漢字一字の字音語は親項目としない。

※ わが国の姓氏の項目に限り、二字以下の場合も親項目とした。

(2) 固有名詞を冠した複合語は、それが普通名詞であっても、その固有名詞を親項目とした複合語とした。人名の場合は、姓氏を親項目としてまとめた。

- 例) おうみ(アフミ)【近江】…旧国名。
おうみ-あきんど(アフミ…)【近江商人】
おうみ-おんな(アフミランナ)【近江女】

<成句>

その最初の単語を見出しとする項目の中にまとめた。

(1) 見出しは、漢字・仮名まじり、現代仮名遣いで表記し、その五十音順に並べた。

解 説

<本文の表記>

- (1) 説明の本文は現代仮名遣いに従って表記した。動植物名・外来語、また、発音や語形を示す場合は、適宜に片仮名を用いた。
- (2) 漢字の字体は、常用漢字ならびに人名用漢字はいわゆる新字体を、他は広く通用している字体を採用した。

<語釈の区分>

語義がいくつかに分かれる場合には、原則として語源に近いものから列記した。

- (1) 区分を明らかにするため、①②③…の番号を付した。さらに大きく分類する場合は①②③…の番号を、細かく区分する場合は㉠㉡㉢…の符号を用いた。
- (2) 一つの項目を二つ以上の品詞あるいは活用の種類に分けて解説する時は、それぞれの品詞・活用表示の前に㊦㊧㊨…の番号を付した。

<術語の分類>

専門学術用語には、その分野を明らかにするため、必要に応じて、解説の冒頭に〔 〕でかこんでその語の分類略語を標示した。

[学術語・専門語略語表]

[哲] 哲学	[社] 社会学	[地] 地学
[論] 論理学	[美] 美学・美術	[生] 生物
[心] 心理学	[言] 言語・音韻	[植] 植物
[宗] 宗教	[文] 文学	[動] 動物
[仏] 仏教	[音] 音楽	[医] 医学・薬学
[神] 神話	[数] 数学	[機] 機械工学
[史] 歴史	[理] 物理	[電] 電気工学
[法] 法律	[化] 化学	[農] 農林
[経] 経済	[天] 天文	[建] 建築・土木
[教] 教育	[気] 気象	

<漢語の出典>

漢語または諺(ことわざ)の類には、必要と認めた場合、漢籍の出典を〔 〕でかこんで解説の冒頭に掲げた。原典名の横に篇・章名を付した。

例) ふゝわく【不惑】…㉠〔論語(為政)「四十而不惑」〕年齢40歳をいう。

<漢字の使い分け>

【 〕内に二つ以上の漢字表記があって、語義によって使い方が異なる場合は、語義区分の直後に〈 〉で囲んで、該当する漢字を掲げた。また、項目末尾に◇を付して、現代よく使う漢字の使い分けを説明した場合がある。

<季 語>

基本的な季語約4000を選び、解説末尾に< 春 >のように、新年・春・夏・秋・冬の季節を示した。

<用 例>

語義の理解を助けるため、つとめて用例を掲げた。

- (1) 古典からの引用に当たっては書名を、明治期以降の文献からの引用に当たっては作者・書名を掲げた。
- (2) 引用に当たって、原典の仮名を漢字に、または漢字を仮名に改め、漢文を読み下しにするなど、かならずしも原文のままではない。
- (3) 用例中、語句の一部を省略した場合は、「…」で示した。また、難解の語句には、()でかこんで注釈を施した。
- (4) 見出し語に相当する部分は「一」で略した。活用語の場合は、語幹を「一」で表し、「・」をつけて活用語尾を送った。ただし、語幹と語尾とを分けにくい場合は「一・」を用いなかった。

<典 拠>

- (1) 仮名遣いや清濁その他発音などに関して、古辞書・訓点本の類を典拠として掲げる場合は、原文のまま引用した。「日葡辞書」「和英語林集成」(略称「ヘボン」)のローマ字書きは片仮名にうつした。原文を引く必要のない時は< >にかこんで単に書名のみを示した。
- (2) 類書その他に説くところに依拠して解説を施した場合には、解説末尾に、()でかこんでその書名を注記した。

<その他>

- (1) ()内に示した西暦紀年は、人名の場合は生没年、年号の場合はその行われた期間、その他、在位・在職期間などを表す。原則として1872年(明治5)以前の西暦と和暦(旧暦)との月・日のずれは無視した。
- (2) 国・都道府県・都市の人口は、必要と思われるもののみ記した。わが国に関するものは、総務省統計局『平成17年国勢調査第1次基本集計結果(全国結果)統計表』を基本にし、その後の市町村合併を考慮した数字である。外国に関するものは、国際連合編『世界人口年鑑』2004年版により、調査年次を()内に注記した。
- (3) 外国の作品名や学術語の邦語訳には、その原語を()でかこんで解説の冒頭に掲げた。
- (4) ノーベル賞受賞者、文化勲章受章者については、解説末尾に「ノーベル賞」「文化勲章」と記した。
- (5) 参照記号
➡ 解説: 解説はその項目を見よ
➡ その項目を参照せよ
↔ 対語・反義語
- (6) 解説末尾に▽を付して、現代語の用法についての注記をした場合がある。

この辞典のきまりと使い方

この辞典は、高等学校における古典学習を中心に、大学入試にも役立つように、数々の特色を盛り込んで編集されたものである。また、これから古典に親しもうとする一般社会人にも利用しやすいように多くの考慮が払われている。

収録語

- (1) 本書に収録した語は、約22500語である。上代から近世までのわが国の主要な古典から、使用頻度(ひんど)の高い語を中心に選んで収録した。さらに、古典の学習に欠くことのできない、複合語・連語・慣用語・古典によくみられる特有の言い回しも収録した。
- (2) 古典の読解や文学史の理解のために必要な、人名・地名・作品名などの固有名詞、枕詞・文芸用語などを豊富に収録した。
- (3) 教科書にのっている作品などを中心に、著名な和歌(百人一首はすべて)・歌謡360首、俳句・川柳159句を収録した。

見出しの立て方と表記

- (1) 見出し語は、歴史的仮名遣いにより、太字の平仮名で表記した。ただし、人名・地名・作品名は漢字表記によって見出しを示した。
- (2) 見出し語には、学習上の重要度を、*印、*印および無印により、三段階に分けて示した。

最重要語(*印)	約860語
重要語(*印)	約2200語
一般語(無印)	約19500語

- (3) 二通りの仮名遣いのあるものは、両方を見出しとして掲げ、より一般的なもののほうに語釈を付けた。

いはけ-な・し(イワケー)【稚けなし】(形ク)……………

いわけ-な・し【稚けなし】(形ク)→いはけなし

- (4) 歴史的仮名遣いと現代仮名遣いとが相違する語のうち、重要な語には現代仮名遣いによる見出しをも掲げて、検索の便をはかった。

あわし【淡し】⇨あはし おとこ【男】⇨をとこ

- (5) 見出し語を構成する要素を、「-」でくぎって示した。ただし、枕詞・漢字表記による見出し語などには示さなかった。

あがた-めし【県召し】 べく-も-あら-す

- (6) 接頭語はその後に、接尾語はその前に「-」を付けて示した。

さらに、重要なものには【例語】欄を設けて列挙した。

うち-【打ち】(接頭)

-そ-む【初む】(接尾マ下二型)(動詞の連用形に付いて)……………

【例語】相見初む・言ひ初む・生ひ初む……………

- (7) 重要な敬語動詞・補助動詞を次のような形で立項し、かつ、その【例語】をも列挙し、語構成の観点から語彙力が豊かに身につくように配慮した。
- おぼし＝【思し・覚し】(他サ四連用形)(動詞の上に付いて)……………。
- 【例語】思し急ぐ・思し掟(おき)つ・思し置く……
- ＝あり・く【歩く】(補助力四)かき・く・け・け(動詞の連用形の下に付いて)……………。【例語】憧(あくが)れ歩く・歩(あゆ)み歩く……
- (8) 動詞・形容詞・助動詞・活用のある接尾語は終止形で示し、助動詞を除き、語幹と活用語尾との区別のあるものには、その間を「・」で区別した。なお、形容動詞は語幹で示した。
- あそぶ【遊ぶ】(自バ四)
- あたらし【惜し】(形シク)
- らる(助動下二型) -がる(接尾ラ四型)
- なめ【斜め】(形動ナリ)
- (9) 主要な助動詞については、終止形以外の各活用形をも見出し語として掲げた。
- し 助動詞「き」の連体形。 な 助動詞「ぬ」の未然形。
- (10) 和歌・歌謡・俳句・川柳は、第一句を見出しとして掲げた。
- あさぼらけ… 和歌 はしげやし… 歌謡
- しづかさや… 俳句 くじふくは… 川柳
- (11) 複合語・連語・慣用句などは、そのままの形を見出しとし、わかりにくいものには【なりたち】を付けた。
- (12) 人名は原則として姓名で引くようにし、名または号で呼びならわされているものは、それをも見出しとし、解説は姓名の見出しのほうで行った。
- 西鶴(さいかく)【人名】→井原西鶴(あはらさいかく)

見出し語の配列

配列は、表記の仮名の五十音順とした。また、漢字表記の見出し語は、その読み(＝歴史的仮名遣い)の五十音順とした。なお、五十音順で定まらない語は、次の方針によって配列した。

- ① 濁音・半濁音は清音のあと、拗音(ようおん)・促音は直音のあと。
- ② 品詞などの順は、接頭語・接尾語・名詞・代名詞・動詞・形容詞・形容動詞・連体詞・副詞・接続詞・感動詞・助動詞・助詞・連語・慣用句・枕詞・和歌(歌謡)・俳句(川柳)の順。
- ③ 和歌・歌謡・俳句・川柳で、第一句が同じ場合には、第二句以下の表記の五十音順。

見出し漢字と読み方の表示

- (1) 見出し語の仮名に相当する漢字を【 】内に示した。二種以上の漢字表記があるものについては併記し、一般的なものから先に掲げた。また、送り仮名などは、平仮名・歴史的仮名遣いで示した。

- (2) 見出し語の仮名遣いが現代仮名遣いと相違するものには、見出し語の後に、現代仮名遣いに準じて半角の片仮名で示した。その際、現代仮名遣いと同じ部分は一で示した。また、慣用的な読み方のあるものは()を用いて併記した。

*あなづらは・し (アナズラワシ)【侮らはし】(形シク) ①……

いへ・あるじ (イエー)【家主】(名)

うかが・ふ (ウカガ(ゴ)ウ)【伺ふ】(他八四)

品詞および活用の表示

- (1) 品詞名は略語によって()で示した。また、動詞には活用の種類と全活用形を{ }で示した。形容詞にはク活用・シク活用の別を、形容動詞にはナリ活用・タリ活用の別を示した。活用のある接尾語には活用の型を示した。〈略語は略語・記号一覧を参照〉

おこ・る【起こる】(自ラ四) {ら・り・る・れ・れ}

うとま・し【疎まし】(形シク) あら-らか (形動ナリ)

-ば・む (接尾マ四型)

- (2) 助動詞は活用の型を()で示すとともに、おもな助動詞には全活用形を{ }で示した。動詞のうち、特殊な活用をするものについても{ }で示した。

き (助動特殊型) {せ・〇・き・し・しか・〇}

く【来】(自力変) {こ・き・く・くる・くれ・こ}

- (3) 品詞の分類および活用の種類については、現行の学校文法教科書の最も一般的なものに従った。ただし、普通名詞の中で、動詞のサ行変格活用および形容動詞の語幹となるものについては、その品詞および語尾の活用も示した。

そう-らん【奏覧】(名・他サ変)

あん-をん (一オ(ノ)ン)【安穩】(名・形動ナリ)

- (4) 動詞は、自動詞・他動詞・補助動詞を区別し、(自力四)(他ラ下二)(補助ラ変)などのように示した。なお、本製品では、敬語となる補助動詞(連語は除く)は別見出しとして立項した。

たてまつ・る(1)【奉る】■ (他ラ四) {ら・り・る・れ・れ} ……………

たてまつ・る(2)【奉る】(補助ラ四) {ら・り・る・れ・れ} ……………

たてまつ・る(3)【奉る】(他ラ下二) {れ・れ・〇・〇・〇・〇} ……………

たてまつ・る(4)【奉る】(補助ラ下二) {れ・れ・〇・〇・〇・〇} ……………

- (5) 助詞は、次の六分類に従った。

格助詞・接続助詞・副助詞・間投助詞・係助詞・終助詞

- (6) 固有名詞のうち、物語・随筆・日記などの作品名、作家・歌人・俳人・作中人物などの人名、山・川を含めた地名については、『作品名』『人名』『地名』と表示した。

- (7) 枕詞・歌枕は、『枕詞』『歌枕』と表示した。

- (8) 連語・慣用句などは特に連語表示をせず、無印とした。

語釈および解説

- (1) 語釈および解説は的確・明瞭を旨とし、助詞・助動詞・敬語動詞・その他の重要語については、特に詳しく解説した。さらに、必要に応じて **なりたち** **接続** **語法** **文法** **注意** **参考** **冒頭文** の欄を設けた。
- (2) 同一見出しで品詞が異なる場合、活用の種類が異なる場合は、**■ ■** ……によって行をかえて示した。
- (3) 一つの見出し語に意味が二つ以上ある場合は、**① ②** ……によってわけて示した。**① ②** の中をさらにわける場合は、**㊦ ㊧** ……によってわけて示した。
- (4) 必要な語については、解説にさきだって、その語についての語源・原義・転化・なりたちの形などを〔 〕で、語の位相を仏教語、上代語、近世語などと限定できるものは()で囲んで示した。なお、語形変化の説明は、原則として音韻変化による場合を「転」、複合語・連語などの一部の省略による場合を「略」とした。
- (5) 説明または補足的なものは、()に囲んで示した。
(下に打消の語を伴って)……
(…の意から)……
- (6) 解説文中、難解な語句には、(=)で注を施した。
- (7) 対義語がある場合は、⇔の記号を付けて示した。語義の全体に共通する対義語は、その見出し語の項末に(⇔)の形で示した。語義の一部に該当する対義語は、その語義の用例・訳のあとに示した。
- (8) 省略記述として、次のような記号を用いた。
→…他の見出し語の語釈やその語に関する事項などを参照させる場合。
⇨…現代仮名遣いによる見出しから歴史的仮名遣いの見出しへ指示する場合。また、【学習】を参照させる場合。
- (9) 見出しとした和歌・歌謡・俳句・川柳には、通釈を施した。なお、歌中・句中に含まれる枕詞・序詞・掛詞・縁語などの修辞は、通釈のあとに()で囲んで指摘・説明した。
また、出典によって表記の異なるもの、作品の成立事情、解釈に諸説のあるもの、本歌どりの歌の場合はその本歌を、その他学習上特に注意すべき事柄などについては **参考** 欄で解説した。

▼なりたち **なりたち**

連語・慣用句・古文特有の言い回しなどについては、組成・語形の変化など、その構成を明らかにした。

▼接続 **接続**

助詞・助動詞について、その語が文法上どのような語、また、どのような活用形に付くかを説明した。

▼文法 **文法** **文法**

文法 主要な助詞・助動詞には、その文法的機能・意味用法などについて、詳細な解説を施した。

文法 最重要語・重要語の用例と見出し和歌・俳句とを中心に、訳出するうえでポイントとなる文法事項を指摘した。

▼語法 **語法**

見出し語の実際の用いられ方、用法などについて特に注意を要する点などについて指摘した。

▼注意 **注意**

その見出し語について理解するうえで、また、学習上特に注意を要する点、誤りやすい点などを指摘した。

▼参考 **参考**

見出し語についての理解をいっそう深めるため、語義の補足説明、時代による語の盛衰・語義の移り変わりなどの語史的説明、類似語との比較説明、その他古語・古典を理解するうえで参考となる事柄について解説を加えた。

▼学習 **【学習】**

古語を理解するうえで、まちがえやすい点、わかりにくい点、また、覚えておくと便利な事柄などについて解説を加えた。

▼冒頭文 **【冒頭文】**

著名な作品は見出しでとりあげ、解説のあとに冒頭の一節とその通釈を収めた。

▼枕詞・歌枕・季語

①枕詞は次のように示した。

あまのはら【天の原】(枕詞)「富士」にかかる。……

②歌枕は次のように示した。

明石(あかし)【地名】**歌枕** 今の兵庫県明石市。……

③見出し語のうち、俳句の季語となるものには、その語釈のあとに、**春夏秋冬**の記号でその季を示した。また、見出し語から派生した季語は、次のように()に囲んで示した。

あし【葦・蘆】(名)……。**秋**。(葦茂る **夏**・葦の花 **秋**)

用 例

(1) 語義・用法の理解を助ける適切な用例を、次の基準によって採録した。

①著名古典を中心として、さらに教科書・大学入試問題などによくとりあげられ、親しまれているもの。

②文脈がわかりやすく、文意がひとまとまりであるもの。

(2) 表記は、歴史的仮名遣いによった。むずかしい漢字には読み仮名を付け、または仮名書きに改め、送り仮名や句読点を補うなどして読みやすくした。

(3) 用例中の見出し語にあたる部分は「一」で示した。なお、見出し語が動詞・形容詞・形容動詞である場合は、その語幹にあたる部分を「一」で示し、語尾は「・」でくぎってそのあとに示し、かつその活用形をも**用**などの表示で示した。連語の類もこれに準じて示した。

ただし、語幹・語尾の区別のない動詞(上一・下一・力変・サ変・下二の「得(う)」)および助動詞については、それらが活用して変化した語形を、助詞については語形を**用**などの表示で活用形を示した。

なお、各活用形の表示は次の通りである。

㊦ → 未然形 ㊧ → 連用形 ㊨ → 終止形
㊩ → 連体形 ㊪ → 已然形 ㊫ → 命令形

す・く【過く】(自ガ上二) {ぎ・ぎ・ぐ・ぐる・ぐれ・ぎよ}……………。

㊦葉 一・二八『春一・ぎ ㊧ て夏来(きた) るらし白栲(しろたへ)の……』

みる【見る】(他マ上一) {み・み・みる・みる・みれ・みよ}……………。

㊦佐『……女もしてみ ㊦ むとてするなり』

ぬ(助動ナ変型)……………。

㊦今 冬『わが待たぬ年は来ぬれ ㊦ ど冬草のかれに ㊦ し人はおとづれもせず』

なべて-なら-ず【並べてならず】……………。

㊦又 二『一 - ぬ ㊦ 法ども行はるれど、更にそのしるしなし』

(4) 用例の一部を省略する場合、省略した部分を「…」を用いて示した。

用例の訳

用例には原則として現代語訳を施し、㊦の記号で表示した。現代語訳を施すに際しては、次の方針によった。

- (1) 訳文は、学習上の観点から、できうる限り文法に忠実な逐語訳であるように心がけ、助詞・助動詞・敬語なども的確に訳し込むようにつとめた。
- (2) 文体は、原則として「だ・である」体を用いた。会話文・韻文などでも、原文に敬語が含まれていなければ、通常の文体で訳を施した。ただし、見出し和歌・俳句の訳については、一つの作品ととらえて、適宜「です・ます」体を用いた。
- (3) 時制については、原文の時制と訳文の時制とが一致することを原則とし、文脈上通常過去形の訳をあてるような場合においても、原文が現在形であれば訳文も現在形とした。
- (4) 文脈をわかりやすくするための、主語・客語・その他の状況説明などの補足は、()に囲んで補った。
- (5) 訳文中、意味のむずかしい語・部分については、該当する語・部分の直下に(=) の形で説明を補った。
- (6) 用例が短くかつ容易で、現代語訳を必要としないと認めたものについては、訳を省いた場合もある。また、むずかしい語のみに補注または部分訳を付して全文訳を省いた場合もある。
- (7) とりあげた用例中に、掛詞・縁語・枕詞・序詞が含まれていればその詳細の説明を、また、別解・補足説明などを、訳文のあとに()で囲んで示した。
- (8) 用例としてとりあげた和歌・歌謡・俳句・川柳が見出しとして立項されている場合は、訳を付けず、見出しの通釈を参照するようにした。

出典の表示

用例の出典の示し方は、次の方針によって表示した。

- (1) 教科書・大学入試などに頻出する重要作品20点については、特に次のような略称の記号で表示し、目立たせた。

竹取(竹取物語)	大鏡(大鏡)
伊勢(伊勢物語)	方丈(方丈記)
土佐(土佐日記)	宇治(宇治拾遺物語)
大和(大和物語)	平家(平家物語)
蜻蛉(蜻蛉日記)	著聞(古今著聞集)
枕(枕草子)	徒然(徒然草)
源氏(源氏物語)	細道(おくのほそ道)
堤(堤中納言物語)	万葉(万葉集)
更級(更級日記)	古今(古今和歌集)
今昔(今昔物語集)	新古今(新古今和歌集)

- (2) 前項にあげた作品のほか、次の作品も略称で示した。

古事記→〔記〕	落窪物語→〔落窪〕
日本書紀→〔紀〕仁徳など	栄花物語→〔栄花〕
日本霊異記→〔霊異記〕	十訓抄→〔十訓〕
宇津保物語→〔宇津保〕	雨月物語→〔雨月〕

- (3) (1)(2)以外の出典は、原則として作品名をそのまま掲げた。ただし、歌集は「和歌集」の部分省略して示した。

- (4) 和歌には歌集名・部立て(主として勅撰〔ちよくせん〕集)を、俳句には句集名・作者名を示した。特に「万葉集」は、巻数と「新編国歌大観」番号を示し、その後括弧で囲って旧番号を示した。

〔拾遺〕冬 (猿蓑) 芭蕉 万葉 三・二三七(旧二三六)

- (5) 著名な出典には、「巻名」「巻数」「段数」「編名」「小見出し」「説話番号」などを付記した。(「枕草子」の段数、小見出し、説話番号などは「日本古典文学大系」のそれによった)

- (6) ジャンル名・種類の表示は、次のような略称で示した。

①芸能に関するもの

浄瑠璃→浄 謡曲→謡 狂言→狂 歌舞伎→伎

- ②近世の小説類のうち、次にあげたジャンル名は略称で示し、その他は作品名のみ表示した。

浮世草子→浮 仮名草子→仮名 御伽草子→伽
黄表紙→黄 洒落本→洒

略語・記号一覧

〔品詞・その他〕

(名)	名詞
(代)	代名詞
(自)	自動詞
(他)	他動詞
(補助)	補助動詞
(形)	形容詞
(形口)	口語形容詞
(形動)	形容動詞
(形動口)	口語形容動詞
(連体)	連体詞
(副)	副詞
(接)	接続詞
(感)	感動詞
(助動)	助動詞
(格助)	格助詞
(接助)	接続助詞
(副助)	副助詞
(間助)	間投助詞
(係助)	係助詞
(終助)	終助詞
(接頭)	接頭語
(接尾)	接尾語

〔活用〕

(四)	四段活用
(上一)	上一段活用
(上二)	上二段活用
(下一)	下一段活用
(下二)	下二段活用
(力変)	力行変格活用

(サ変)	サ行変格活用
(ナ変)	ナ行変格活用
(ラ変)	ラ行変格活用
(ク)	ク活用
(シク)	シク活用
(タリ)	タリ活用
(ナリ)	ナリ活用
㊦	未然形
㊧	連用形
㊨	終止形
㊩	連体形
㊪	已然形
㊫	命令形

〔その他〕

*	最重要語
*	重要語
【 ⅴ 】	現代仮名遣いによる見出し語
↔	対義語
《 ↔ 》	語義①②③……の全体に共通する対義語
→	他の見出し語の語釈やその語に関する事項などへの参照
⇒	現代仮名遣いから歴史的仮名遣いへの指示および学習への参照

動詞活用表

種類	行	例語	語幹 語尾	活 用 形						活用する段	
				未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形		
四段	カ	咲 <small>さ</small> く	さ	-か						ア段	
					-き						イ段
						-く	-く				ウ段
								-け	-け		エ段
											オ段
五十音図の「ア・イ・ウ・エ」の四段にわたって活用する。											
活用	ガ	泳 <small>およ</small> ぐ	およ	-が	-ぎ	-ぐ	-ぐ	-げ	-げ		
	サ	消 <small>け</small> す	け	-さ	-し	-す	-す	-せ	-せ		
	タ	待 <small>まつ</small> つ	ま	-た	-ち	-つ	-つ	-て	-て		
	ハ	思 <small>おも</small> ふ	おも	-は	-ひ	-ふ	-ふ	-へ	-へ		
	バ	呼 <small>よ</small> ぶ	よ	-ば	-び	-ぶ	-ぶ	-べ	-べ		
マ	読 <small>よ</small> む	よ	-ま	-み	-む	-む	-め	-め			
ラ	取 <small>と</small> る	と	-ら	-り	-る	-る	-れ	-れ			
ラ行変格活用	(ラ変)	有 <small>あり</small>	あ	-ら						ア段	
					-り	-り					イ段
							-る				ウ段
								-れ	-れ		エ段
											オ段
ラ行の四段にわたって活用するが、終止形がイ段の音(「り」)で終わり、四段活用とちがっている。「有り」「居 <small>り</small> り」「待 <small>り</small> り」「いまそがり」の四語が基本。											
ナ行変格活用	(ナ変)	死 <small>ぬ</small> ぬ	し	-な						ア段	
					-に						イ段
						-ぬ	-ぬる	-ぬれ			ウ段
									-ね		エ段
											オ段
ナ行の四段にわたって活用するが、連体形・已然形はウ段の音(「ぬ」)に「る」「れ」が付き、四段活用とちがっている。「死ぬ」「往 <small>い</small> ぬ(去 <small>い</small> ぬ)」の二語。											
下一段活用	カ	蹴 <small>ける</small> る(蹴)								ア段	
										イ段	
										ウ段	
				け	け	ける	ける	けれ	けよ	エ段	
										オ段	
エ段の「け」と、それに「る」「れ」「よ」の付いたものことからなる。「蹴 <small>る</small> 」の一語。											

種類	行	例語	語幹 語尾	活用形						活用する段	
				未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形		
下二段活用	ア	得 ^う	(得)							ア段	
										イ段	
						う	うる	うれ		ウ段	
				え	え				えよ	エ段	
								オ段			
	ウ・エ・オの二段と、ウ段の音に「る」「れ」、エ段の音に「よ」が付いたものからなる。										
	カ	受 ^う く	う	-け	-け	-く	-くる	-くれ	-けよ		
	ガ	告 ^つ ぐ	つ	-げ	-げ	-ぐ	-ぐる	-ぐれ	-げよ		
	サ	寄 ^よ す	よ	-せ	-せ	-す	-する	-すれ	-せよ		
	ザ	混 ^ま ず	ま	-ぜ	-ぜ	-ず	-ずる	-ずれ	-ぜよ		
タ	捨 ^す つ	す	-て	-て	-つ	-つる	-つれ	-てよ			
ダ	出 ^い づ	い	-で	-で	-づ	-づる	-づれ	-でよ			
ナ	寝 ^ぬ	(寝)	ね	ね	ぬ	ぬる	ぬれ	ねよ			
ハ	経 ^ふ	(経)	へ	へ	ふ	ふる	ふれ	へよ			
バ	比 ^ぶ	くら	-べ	-べ	-ぶ	-ぶる	-ぶれ	-べよ			
マ	改 ^{あら} む	あらた	-め	-め	-む	-むる	-むれ	-めよ			
ヤ	覚 ^{おぼ}	おぼ	-え	-え	-ゆ	-ゆる	-ゆれ	-えよ			
ラ	流 ^{なが}	なが	-れ	-れ	-る	-るる	-るれ	-れよ			
ワ	据 ^す	す	-ゑ	-ゑ	-う	-うる	-うれ	-ゑよ			
主な用法 〔活用形の 見分け方〕				ム・ズに 連なる	タリに 連なる	言い切 る	トキ・ コトに 連なる	ドモに 連なる	命令の意 味で言い 切る		
上一段活用	カ	着 ^{きる}	(着)							ア段	
				き	き	きる	きる	きれ	きよ	イ段	
										ウ段	
										エ段	
								オ段			
	イ段の音と、それに「る」「れ」「よ」が付いたものからなる。										
	ナ	似 ^に	(似)	に	に	にる	にる	にれ	によ		
ハ	干 ^ひ	(干)	ひ	ひ	ひる	ひる	ひれ	ひよ			
マ	見 ^み	(見)	み	み	みる	みる	みれ	みよ			
ヤ	射 ^い	(射)	い	い	いる	いる	いれ	いよ			
ワ	居 ^ゐ	(居)	ゐ	ゐ	ゐる	ゐる	ゐれ	ゐよ			

種類	行	例語	語幹 語尾	活用形						活用する段	
				未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形		
上二段活用	カ	起 ^お く	お							ア段	
				-き	-き					-きよ	イ段
						-く	-くる	-くれ			ウ段
											エ段
											オ段
	イ・ウの二段と、ウ段の音に「る」「れ」、イ段の音に「よ」が付いたものからなる。										
	ガ タ ダ ハ バ マ ヤ ラ	過 ^ぐ	す	-ぎ	-ぎ	-ぐ	-ぐる	-ぐれ	-ぎよ		
		落 ^お つ	お	-ち	-ち	-つ	-つる	-つれ	-ちよ		
		恥 ^は づ	は	-ぢ	-ぢ	-づ	-づる	-づれ	-ぢよ		
		強 ^し ふ	し	-ひ	-ひ	-ふ	-ふる	-ふれ	-ひよ		
延 ^の ぶ		の	-び	-び	-ぶ	-ぶる	-ぶれ	-びよ			
恨 ^む	うら	-み	-み	-む	-むる	-むれ	-みよ				
悔 ^く	く	-い	-い	-ゆ	-ゆる	-ゆれ	-いよ				
下 ^お る	お	-り	-り	-る	-るる	-るれ	-りよ				
カ行変格活用 (カ変)	来 ^く	(来)							ア段		
				き						イ段	
					く	くる	くれ			ウ段	
										エ段	
			こ					こ	(こよ)	オ段	
イ・ウ・オの三段の音と、ウ段の音に「る」「れ」、オ段の音に「よ」の付いたものからなる。「来」の一語。											
サ行変格活用 (サ変)	為 ^す	(為)							ア段		
				し						イ段	
					す	する	すれ			ウ段	
			せ						せよ	エ段	
										オ段	
イ・ウ・エの三段の音と、ウ段の音に「る」「れ」、エ段の音に「よ」の付いたものからなる。「為」「おはす」のほかに、複合語「ものす」「愛す」「命ず」「重んず」など。											
主な用法 [活用形の] [見分け方]			ム・ズに 連なる	タリに 連なる	言い切 る	トキ・ コトに 連なる	ドモに 連なる	命令の意 味で言い 切る			

形容詞活用表

種類	例語	語幹 語尾	活 用 形					
			未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
ク活用	よし	よ	-から	-く -かり	-し	-き -かる	-けれ	-かれ
シク活用	美し	うつく	-しから	-しく -しかり	-し	-しき -しかる	-しけれ	-しかれ
主な用法 〔活用形の 見分け方〕			ズに連 なる	キ・ナ ルに連 なる	言い切 る	トキ・ ベシに 連なる	ドモに 連なる	命令の意 味で言い 切る

形容動詞活用表

種類	例語	語幹 語尾	活 用 形					
			未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
ナリ活用	静かなり	しづか	-なら	-なり -に	-なり	-なる	-なれ	-なれ
タリ活用	堂々たり	だうだう	-たら	-たり -と	-たり	-たる	-たれ	-たれ
主な用法 〔活用形の 見分け方〕			ズに連 なる	キ・ナ ルに連 なる	言い切 る	トキ・ ベシに 連なる	ドモに 連なる	命令の意 味で言い 切る

種類		使役 尊敬		尊敬 可能 自発	受身
基本形	す	さす	しむ	る	らる
未然形	せ	させ	しめ	れ	られ
連用形	せ	させ	しめ	れ	られ
終止形	す	さす	しむ	る	らる
連体形	する	さする	しむる	るる	らるる
已然形	すれ	さすれ	しむれ	るれ	らるれ
命令形	せよ	させよ	しめよ (しめ)	れよ (可能自発)	られよ (可能自発)
活用型	下二段型	下二段型	下二段型	下二段型	下二段型
接続	四段・ナ変・ラ変の未然形	左のほかの未然形	未然形	四段・ナ変・ラ変の未然形	左のほかの未然形
意味・用法	<p>⑤ 軍記物などで、受身の「る」に代えて用いる。「武者詞^{ぶしことば}」といわれ、「…れる」というところを「…せる」と言い表す。</p> <p>① 使役の意を表す。…させる。</p> <p>② 尊敬の動詞「賜^{たま}ふ」「宣^{のたま}ふ」などに付いて、最高の尊敬の意を表す。</p> <p>③ 謙譲の動詞「参^{まゐ}る」「奉^{たが}む」などに付いて、謙譲の意を強める。</p> <p>④ 尊敬の補助動詞「給^{たま}ふ」「おはします」「まします」「尊敬の助動詞「らる」などとともに用いて、尊敬の意をさらに強める。最高敬語。お…になられる。…なされる。</p> <p>⑤ 軍記物などで、受身の「る」に代えて用いる。「武者詞^{ぶしことば}」といわれ、「…れる」というところを「…せる」と言い表す。</p>				

▽〔 〕内は、上代のもの、あるいは用例の少ないもの。()内は、そのように表記されることもあるもの。また、〈 〉内の基本形は、上代語。

主要助動詞活用表

(基本形) (未然形) (連用形) (終止形) (連体形) (已然形) (命令形) (活用型)

(意味・用法)

打消	推量		
す	(ん)む	(んず)むず	(らん)らむ
ざら	○	○	○
ざり	○	○	○
ざり	(ん)む	(んず)むず	(らん)らむ
ざる	(ん)む	(んずる)むずる	(らん)らむ
ざれ	め	(んずれ)むずれ	らめ
ざれ	○	○	○
特殊型	四段型	サ変型	四段型
未然形	未然形	未然形	終止形ラ変には連体形
打消の意を表す。…ない。	<p>① 目の前にない現在の事実について推量する意を表す。今ごろ…しているだろう。</p> <p>② 現在の事実について、その原因・理由を推量する意を表す。(…というので)のだろう。</p> <p>③ 現在の事実について、その原因・理由を疑問をもって推量する意を表す。どうして…しているのだろう。…しているのはなぜだろう。</p> <p>④ 他から聞いたり読んだりしたという伝聞の意を表す。…ているという。…そうだ。</p> <p>⑤ (連体形を用いて)仮定または婉曲詠の意を表す。…しているとすれば、その…ているような。</p> <p>⑥ 「む」と同じく、単なる推量の意を表す。…だろう。</p> <p>⑦ (已然形「らめ」が疑問の助詞「や」を伴って)反語の意を表す。…しているだろう(か)いや、…ないだろう)。</p> <p>① 推量の意を表す。…だろう。</p> <p>② 意志の意を表す。…う。…よう。</p> <p>③ 適当・当然の意を表す。…のがよいだろう。…べきだ。</p> <p>① 推量の意を表す。(…の)だろう。</p> <p>② 意志・意向の意を表す。…う。…よう。…つもりだ。</p> <p>③ (連体形を用いて)仮定または婉曲詠の意を表す。…とすれば、その。…よるな。</p> <p>④ (多く「こそ」の結びとして)已然形を用いて適当・当然、婉曲詠な命令の意を表す。…のがよい。…はずだ。</p> <p>⑤ 勧誘の意を表す。…う。…よう。…ないか)。</p> <p>⑥ (已然形「め」が疑問の助詞「や」「か」を伴って)反語の意を表す。…だろう(か)いや、…ないだろう)。…(ない)だろう(か)いや、…だろう)。</p>		

推量				
まし	べし	らし	めり	けむ (けん)
まし [ませ]	べから	○	○	○
○	べく (べかり)	○	めり	○
まし	べし	らし	めり	けむ (けん)
まし	べき (へかる)	らし (らしき)	める	けむ (けん)
まし か	べけれ	らし	めれ	けめ
○	○	○	○	○
特殊型	ク活用型	特殊型	ラ変型	四段型
未然形	終止形ラ変 には連体形	終止形ラ変 には連体形	終止形ラ変 には連体形	連用形
① (「ませば:まし」ましかば:まし)の形で事実 ^① に反することを仮に想像し、仮想する意を表す。もし…(た)なら…(た)だろう(に)。②(未然形+ば)など仮定条件句を受けて、仮定の上に立つて仮想する意を表す。…(た)だろう(に)。	① 推量の意を表す。⑦ある事の起こることを予想する。…そうだ。⑧確実な推測を表す。きつと…だろう。…にちがいない。…らしい。② 予定の意を表す。…ことになっている。③ 当然の意を表す。…はずだ。…にちがいない。④ 適当の意を表す。…がよい。…が適当だ。⑤ 義務の意を表す。…なければならぬ。⑥ 可能、または可能性を推定する意を表す。…ことができそうだ。…ことができよう。⑦(終止形を用いて)意志を表す。…う。…よう。…つもりだ。	① ある根拠・理由に基づき、確信をもって推定する意を表す。…にちがいない。きつと…だろう。② 明らかな事実・状態を表す語に付いて、その原因・理由を推定する意を表す。…(と)いうので…らしい。③ 根拠・理由は示さないが、確信をもって推定する意を表す。…にちがいない。きつと…だろう。	① 目前の事実について推量する意を表す。…ように見える。…ようだ。② 断定を避けて婉曲 ^③ にいう意を表す。…ようだ。	① 過去のある動作・状態を推量する意を表す。…ただろう。…ていただろう。②(疑問語とともに用いて)過去の事実について、時・所・原因・理由などを推量する意を表す。…たのだろう。…ていたのだろう。③ 過去の事実入つてに聞き知つたように婉曲 ^④ に表す。…たという。…たとかい。

(基本形)(未然形)(連用形)(終止形)(連体形)(已然形)(命令形)(活用型)

(接続)

(意味・用法)

推定	伝聞	打消の推量		過去		完了
なり		じ	まじ	き	けり	つ
○		○	まじから	〔せ〕	〔けら〕	て
なり		○	まじく まじかり	○	○	て
なり		じ	まじ	き	けり	つ
なる		じ	まじき まじかる	し	ける	つる
なれ		じ	まじけれ	しか	けれ	つれ
○		○	○	○	○	てよ
ラ変型	特殊型		シク活用 型	特殊型	ラ変型	下二段型 連用形
終止形、ラ変 には連体形	未然形		終止形、ラ変 には連体形	連用形、カ変・ サ変は特殊	連用形	
③ (周囲の状況などから判断して) 推定する意を表す。…ようだ。…らしい。	① (音や声が聞こえることから) 推定する意を表す。…ようだ。…のが聞こえる。 ② (世間のうわさ・人の話・故事などによる) 伝聞の意を表す。…そうだ。… ということだ。	① 打消の推量を表す。…ないだろう。 ② 主語が話し手の場合、打消の意を表す。…まい。…ないつもりだ。	① 打消の推量を表す。…そうもない。…ないだろう。 ② 打消の当然の意を表す。…はずがない。 ③ 不適當の意を表す。…ないほうがよい。…のはふさわしくない。 ④ 禁止の意を表す。…てはならない。 ⑤ 不可能の予測を表す。…(ことが)できそうもない。 ⑥ 打消の意志を表す。…まい。…ないつもりだ。	① 過去に直接経験した事実、または過去にあったと信じられる事実を回想していう意を表す。…た。…ていた。 ② (平安時代末期以降の用法) 動作が完了して、その結果が存続している意を表す。…ている。…てある。	① 過去に直接経験した事実、または過去にあったと信じられる事実を回想していう意を表す。…た。…ていた。 ② 人づてに聞き知った過去の事実を伝聞として述べる意を表す。…たという。…たそうだ。…たとえ。 ③ 以前から現在まで続いている事柄や伝承を回想する意を表す。…た。…たのであった。 ④ 詠嘆の意をこめて、これまでであったことに今、気づいた意を表す。…たことよ。…ことよ。	① 動作・作用が実現し、完了した意を表す。…た。…てしまふ。…てしまった。 ② 動作・作用の実現を確信したり、確認したりする意を表す。確述(強意)の用法。⑦ 単独で用いる場合、必ず…。確かに…。…てしまふ。⑧ 推量の助動詞とともに用いて、「てむ」「てまじ」「つべし」などの形になる場合、推量・意志・可能などの意を、「確かに」「きっと」「必ず」の気持ちで述べる。 ③ (中世以降の用法) 終止形を重ね用いた「…つ…」の形で、二つの動作・作用が並立している意を表す。…たり…たり。

(基本形) (未然形) (連用形) (終止形) (連体形) (已然形) (命令形) (活用型) (接続)

(意味・用法)

完了			希望	
ぬ	たり	り	まほし	たし
な	たら	ら	まほしから	たから
に	たり	り	まほしかり	(たかり)たく
ぬ	たり	り	まほし	たし
ぬる	たる	る	まほしき	(たかる)たき
ぬれ	たれ	れ	まほしけれ	たけれ
ね	たれ	れ	○	○
ナ変型	ラ変型	ラ変型	型	ク活用型
連用形	連用形	四段の已然形 サ変の未然形	未然形	連用形
⑥ 用が並立している意を表す。…たり…たり	⑤ 作・作用が並立している意を表す。…たり…たり	④ その状態であること、またはその性状をそなえていることの意を表す。… ている。…た。 ③ 動作・作用が継続している意を表す。…ている。 ② 動作・作用の結果が存続している意を表す。…ている。 ① 動作・作用が完了した意を表す。…た。	② 他に対してその状態への希望の意を表す。…てほしい。 ① 動作の主体の希望の意を表す。…たい。	② 他の動作・状態について、話し手自身の希望の意を表す。…てほしい。 ① 自己の動作の実現を希望する意を表す。…たい。

(基本形) (未然形) (連用形) (終止形) (連体形) (已然形) (命令形) (活用型) (接続)

(意味・用法)

断定		比況	可能 自発	受身	尊敬	反復 継続
なり	たり	ごとし	〈ゆ〉	〈らゆ〉	〈す〉	〈ふ〉
なら	たら	○	え	らえ	さ	は
なり (に)	たり (と)	てへへ	え	○	し	ひ
なり	たり	いとし	ゆ	○	す	ふ
なる	たる	てまき	ゆる	○	す	ふ
なれ	たれ	○	ゆれ	○	せ	へ
なれ	たれ	○	○	○	せ	〔へ〕
型 ナリ活用	型 タリ活用	ク活用型	下二段型	下二段型	四段型	四段型
体言・連体形	体言	連体形 助詞 「の」が	四段・ナ変・ ラ変の未然形	ナ行下二段の 未然形	四段・サ変の 未然形	四段の未然形
④ (近世語) 人名などを表す語を受けて「…という」意を表す。	① 断定を表す。…である。…だ。 ② (場所などを表す語を受けて) 存在を表す。…にある。…に在る。 ③ (親族関係を表す語を受けて) 資格を表す。…である。…にあたる。	③ (平安時代末期以降) 多くの中からあるものを例示する意を表す。たとえば…(の)ようだ。	① ある事柄が他のある事柄と同じである意を表す。…(と)同じだ。…(の)とおりだ。 ② ある事柄を他の似ている事柄に比べたとえる意を表す。…(の)ようだ。 ③ (平安時代末期以降) 多くの中からあるものを例示する意を表す。たとえば…(の)ようだ。	① 受身の意を表す。…れる。 ② 可能の意を表す。…ことができる。 ③ 自発の意を表す。自然に…れる。	① 動作の反復の意を表す。何度も…。しきりに…。 ② 動作の継続の意を表す。…つづける。	① 動作の反復の意を表す。何度も…。しきりに…。 ② 動作の継続の意を表す。…つづける。

(基本形) (未然形) (連用形) (終止形) (連体形) (已然形) (命令形) (活用型) (接続)

(意味・用法)

漢字源 (JIS第1～第4水準版)

親字について

収録の範囲

親字(見出しになっている漢字)はJIS(日本工業規格)の「情報交換用符号化拡張漢字集合」(X 0213-2004)に掲載されている第一水準、第二水準、第三水準、第四水準の漢字、「情報交換用漢字符号—補助漢字」(X 0212-1990)に掲載されている補助漢字など、計13,255字を収録した。

部首について

部首の分け方は「康熙字典」(1716年に完成した中国の字書)に準じている。ただし、その漢字の成り立ちから判断して他の部首に入れた漢字もある。また「康熙字典」では同じ部首であったが、二つにわけたものもある。

(例 刀部とリ部、心部と忄部、手部と扌部、水部と氵部、火部と灬部)

親字見出しについて

- ①『常用』、『人名用』はそれぞれその漢字が常用漢字・人名用漢字であることを示す。『一年』『二年』『三年』『四年』『五年』『六年』はその漢字が学年配当漢字(いわゆる学習漢字)であり、その学年に配当されていることを示している。
- ②『常読』は、「常用漢字表」に示されている音訓を示した。訓読みで「・」からあととは送りかなを示す。
- ③『字音』は、漢字音(音読み)を示す。()内は歴史的かな遣いをあらし、(漢)・(呉)・(慣)などは、漢音・呉音・慣用音などの区別を示す。
- ④『音読』は意味読み(訓読み)を示す。
- ⑤旧字体は、「常用漢字表」に示される以前の字体で、JIS漢字中にあるもののみを示した。「常用漢字表」に示された新字体が、二つ以上の旧字体の音と意味をもっている場合は、(A)、(B)で区別した。
- ⑥異体字は、音と意味が同じで形が違う漢字を示した。

〈意味〉について

- ①親字の意味を①②③…の順に記述した。その際、その漢字の成り立ちに基づく原義(本来の意味)を第一として、順次、派生した意味に及びようにした。
- ②用法上から分類した品詞名を①②③…の後に示した。その際の品詞の分類は、漢語の文法で一般に使われるものによった。
- ③品詞の後の()内は歴史的かな遣いをあらし、またその漢字が漢文訓読の際、サ変動詞・形容動詞・副詞に用いられるものは、その形を品詞の前に()で示した。
- ④漢字本来の意味と異なった日本語特有の意味がある場合は、(国)をつけて、①②③…の順に記述した。その際、品詞名は省略した。
- ⑤その漢字の意味に、同義(同じ意味)・類義(似た意味)・反義(反対の意味)または対義(対称の意味)の漢字がある場合はそれを(同)(類)(対)として示した。

〈解字〉と〈単語家族〉について

- ①漢字の成り立ちを〈解字〉で解説した。その際、その漢字の六書（リクシヨ）（漢字の四つの造字法と二つの使用法）を冒頭に示した。
- ②漢字の成り立ちや、意味がさらによく理解できるように、〈単語家族〉の欄で同じ系統の漢字をまとめて解説した。

〈類義〉について

意味が似ている漢字の使い方の違いを〈類義〉の欄で解説した。

〈異字同訓〉について

訓が同じで、意味に違いがある漢字の用法を、国語審議会漢字部会資料によって解説した。

JISコードについて

その漢字のコードを区点コード、JIS16進コード、シフトJISコード、ユニコードの順で示した。

ピンインについて

〈字音〉欄に〈〉で、その漢字の現代中国のペキン語による発音を、中国の「漢語ピンイン方案」によるローマ字綴りで示した。

筆順について

常用漢字と人名用漢字には、1958年の文部省刊『筆順指導の手びき』に準じた筆順を、『学習指導要領』に示された書体（教科書体）に準じて最大10コマで示した。字形については、前掲『学習指導要領』に示された字形によったが、一部『筆順指導の手びき』『人名用漢字別表』に準じたものもある。

熟語について

収録の範囲

- ①中国の主な古典に見える語句、故事成語、地名などを収録した。
- ②日本の主な古典に見える語句及び、現代生活に必要なと思われる難読の語も収録した。
- ③仏教の経典に見える主な仏教語も収録した。

配列の方法

熟語の読みの五十音順に示す。

見出しの体裁

同音の漢字による書きかえ（国語審議会漢字部会資料に基づく）字が使用されている場合、書きかえ前の漢字を { } でくくって示した。

〈例〉【画（劃）然】（カクゼン）

意味の記述

- ①意味の記述は原義に近い順に①②③…とした。
- ②日本語特有の意味がある場合は、(国)をつけて記述した。
- ③その熟語が仏教語・俗語である場合は(仏)(俗)の記号で示した。(俗)には宋・元・明代の俗語から現代中国語まで含まれる。

- ④その熟語と偏（ヘン）や旁（ツクリ）が異なるだけで、同音同義の熟語は次のように示した。
 〈例〉【偏旁】（ヘンボウ）の説明文中において＝偏傍・扁旁と表記。
- ⑤一字目が同じで、意味が同じ熟語は、{ }をつけて示した。
 〈例〉【倫次】（リンジ）の説明文中において{倫序〈リンジョ〉}と表記。
- ⑥その熟語と同義（同じ意味）・類義（似た意味）・反義（反対の意味）または対義（対称の意味）の熟語がある場合は、それぞれ(同)(類)(対)として示した。
- ⑦人名については(人)に続けて解説した。
- ⑧書物については(書)に続けて解説した。
- ⑨熟語の中の故事成語は、(故)で示す。

略語・記号一覧

(呉)	呉音	(類)	同義の漢字・熟語
(漢)	漢音	(対)	反義の漢字・熟語
(唐)	唐宋音	(人)	主要な人名の説明
(慣)	慣用音	(書)	主要な書籍の説明
(平)	平声	(故)	故事に関係のある熟語
(上)	上声	▷	補足説明
(去)	去声	=	偏や旁が異なるだけで同音 同義の熟語
(入)	入声	{ }	親字が同じ熟語で、意味も 同じ熟語
{名}	名詞	[]	表せない漢字の読み
{動}	動詞	常用	常用漢字
{形}	形容詞	人名用	人名用漢字
{副}	副詞	国字	日本製の漢字
{助動}	助動詞	〈意味〉	親字の意味
{接統}	接続詞	〈解字〉	漢字の成り立ち
{感}	感動詞	〈単語家族〉	同じ系統の漢字の説明
{指}	指示詞	〈類義〉	意味が似ている漢字の説明
{前}	前置詞	〈異字同訓〉	訓が同じで意味に違いがある漢字の用法
{代}	代名詞	〈参考〉	使用にあたっての注意すべき点
{疑}	疑問詞	〈名付け〉	名前をつけるときに使う読み方
{助}	助辞・接頭辞・接尾辞	〈難読〉	読み方の難しい熟語
{単位}	単位詞	〈注〉	他の親字の熟語を参照
{数}	数詞		
(国)	日本語特有の意味		
(仏)	仏教語		
(俗)	俗語		
(同)	同音同義の漢字・熟語		

パーソナルカタカナ語辞典

パーソナルカタカナ語辞典編集要旨

見出し語の表記

- 1原則として平成3年内閣告示「外来語の表記」の趣旨にしたがいながら、新聞などで一般的によく使われている表記を用いた。
- 2工行やオ行の長音は、原則として「エー」「オー」の表記を優先にしている。ただし、慣用として「エイ」や「オウ」が一般的なものは、それにしただったものもある。
(例) ボール・ペン ポウリング (スポーツ)
- 3原語がvのものは「ヴ」を用いず「バ」行を用いた。ただし、商標や固有名詞のものは「ヴ」にしただった。
(例) ビレッジ イヴ・サンローラン
- 4原語のdi、tiには「ジ」「ディ」「チ」「ティ」の2通りの表記法があるが、慣例にしただった。
(例) ジレンマ ディレクトリー
- 5語末の長音は、理化学用語などでは省略されることが多いが、長音のままとした。
(例) コンピューター
- 6複合語は、原語が分かれている場合にだけ・を置いた。

配列

- 1配列は、カタカナ部分だけでなく、漢字・数字・アルファベットまでもカナに変えた読みで五十音順とした。
- 2長音符(ー)の読みと・は省略して、配列した。
(例) グリーンGDP (ぐりんじでいび)
- 3同じ読みで長音符のある語とない語では、ないものを前に置いた。
- 4清音、濁音、半濁音の順番に配列した。
- 5原語の異なる同音語や同じつづりでも語源の異なる語は別見出し語とし、右肩に123…の数字を付けて区別した。

原語の表記

- 1原語は見出し語の直後に【 】にくくって入れた。
- 2原語名を原語の直後に置いて示した。ただし、原語が英語のものはそれを表記していない。また、商標や地名などは、原語名を省略した。
- 3原語の英語は、基本的にイギリス式つづりよりもアメリカ式つづりを採用した。
- 4ギリシャ語、ロシア語、中国語など、特殊な文字をもつ原語については、ローマ字化して示した。
- 5植物の属名など学名表記が一般的なものはラテン語で表した。
- 6漢字・平仮名とカタカナが混じったもので、原語が特定できないものは、その部分をダッシュで省略した。
(例) ミサイル療法【missile -】

7原語のないもの、示しようのないものは原語表記をしていないものがある。
8商標に関しては、全部が大文字のものでも、本辞典では語頭のみ大文字で表記した。

和製語

- 1和製語のものは【 】内の原語の後に **和** を入れた。
- 2原語が変化したものや省略されたものは、その語に「<」を用いて記し、和製語と同じ扱いとした。
(例) ジルバ【<jitterbug**和**>】
- 3漢字や仮名の混じった語は、**和** を入れていない。
- 4複数の外国語からなる複合語は+を用いて表した。
(例) アルペン・スキー【Alpenドイツ + ski**和**】
- 5原語はその外国語としては成立するが、意味が極めて日本独自の内容で用いられているものなどには、本文中に「和製用法」の記述を入れた。

本文中の語義と記号

1語義に複数の意味があるときは、①②③…を用いて示した。

2補注と記号

* 同義のカタカナ語、略語・記号などを示した。

◇ 用例を示した。

◆ 語源や類語解説、補足説明などを必要に応じて記述した。

⇒ 参照語を示した。

⇒ 解説: 見出し語と同義であり、くわしい解説があることを示した。

⇒ ⇔ 反対語、対語を示した。

【 】 原義や他の外国語での表記など、原語上の注記を与えた。

3分野表記

必要に応じて《 》でくくり、特定分野などの表示をした。

宇…宇宙 気…気象 経…経済・経営 航…航空 鉱…鉱物

社…社会学 宗…宗教 心…心理 生…生化学 俗…俗語

地…地学 天…天文学 電…電気 電算…コンピューター

美…美術 服…服飾 理…物理

アメフト…アメリカン・フットボール

フィギュア…フィギュア・スケート 造語…造語成分 など

4商標に関しては、多くを《商標》として記したが、主に商品名にとどめ、企業名などはその表記を省略した。

故事ことわざ辞典

故事ことわざ辞典編集要旨

■見出し語

配列 五十音順。

表記

- 1 現代かなづかい。
- 2 中国出典のものについてはなるべく原典を尊重した。
- 3 比較的長いもの、区切り方に注意を要するものについては積極的に読点「、」を入れた。
- 4 見出し語の表記とは別の読み方があるもの、また、表記の一部に異なった言い方があるものについては、注釈の中で解説した。
- 5 意味が同じで全体の表記や言い方に違いがある場合には、頻度の高いほうを見出し語とし、他方は ➡ でその語が参照できるようにした。

■解説と記号

意味 **意味**

見出し語の意味を示した。

注釈 **注釈**

ことわざの背景、用語の解説、誤用に対する注意、異なる表記や言い方の違いなどの情報を記載した。

出典 **出典**

特に、中国出典のものについて書名または人名で示した。

例 **例**

特に、慣用的に使われる用法や古川柳を示した。

類句 **類句**

見出し語と類似のことわざ、関連のあることわざなどを示した。

反対句・対句

対句 反対の意味のことわざ、対句として用いられるものを示した。

英語のことわざ

英語 見出し語と似た意味のことわざ、発想が似ているもの、意味は反対だが場面が似ているなど、参考となるものを示した。

●●[ことわざ使用についてのご注意]●●

ことわざは、その成立過程から言って、その当時の社会通念を反映しており、きわめて差別的な意味を含んでいたり、蔑視的な表現であったりするものが少なくありません。

また、知らないことわざを調べるという辞典の性格上、古典にしか出現しないものも取り上げてあることをご理解ください。このようなことわざについては、人の心を傷つけ、人権を侵害することのないよう、使い方には十分注意してください。

参考として掲載した古川柳や英語のことわざにも同じ配慮をお願いします。

参考：「使用シーン/内容」別のタイトル一覧

使用シーン/内容	タイトル		
使用シーン	結婚式	葬式	成人式
	入学/卒業式	入社/退職	出産
	誕生日/記念日	会議/朝礼	歓迎宴会
感情	喜び 不安/恐怖	悲しみ/絶望	怒り/憎悪
性格・行動	長所 行動	短所	思考
人生・生活	運命	生/老/死	健康/病气
	成功/失敗	チャンス	危険/困難
	暮らし	容姿	宗教
人間関係	家族 教育	恋愛/友情	道德
自然・時	自然 数	時間 方向	色

四字熟語辞典

四字熟語辞典編集要旨

■四字熟語とは何か

2字以上の漢字が結合して、ある意味を表す漢語のことを熟語といい、その熟語と他のもう1つの熟語が連結して四字で1つのまとまった意味を表すものを「四字熟語」という。

本辞典ではおもに中国の古典に典拠をもつ四字熟語を採録した。そのため、「左側通行」「経済成長」など、四字として特別な意味をもたない複合語・合成語は採録しなかった。また、日本で訓読するとき慣用的に「の」を補足して読んでいる語は、「之」の字を加えて四字熟語としたものもある。


■見出し語

配列 五十音順。

表記

見出し語の漢字が、偏(へん)や旁(つくり)の違いだけで、同音・同義の異体字である場合、また、国語審議会報告の『同音による書きかえ』資料などによって、書き替えることになっている漢字については、次のように示した。

(例) 意気消沈 (=意気銷沈)

また、意味が同じで表記に違いのある場合には、原則として、頻度の高いほうを見出し語とし、他方は  で参照できるようにした。

読み

見出し語の読み方で、慣用上「の」を入れて読むこともある語については、それを示した。「の」を入れたり入れなかったりして読む場合は、別の見出し語をたてて示した。

- (例) 君子三楽→くんしさんらく
君子三楽→くんしのさんらく

活用

見出し語が動詞として使われたり、状態表現として使われたりするものは、それを示した。

- (例) 悪戦苦闘(スル)〈動詞〉 悪逆非道(ナ・ノ)〈状態表現〉

レベル表示

- * * * みんなが当然使っている表現
- * * * 使って損はない表現
- * * * 知らねば損をする表現
- * * * 知らねば損をする表現

〈無印〉 知っていて損はない表現

■解説と記号

- 意味** **意味** 見出し語の意味を示した。
- 注釈** **注釈** 四字熟語の背景、用語の解説のほか、いろいろな情報を記載した。
- 出典と引用文** **出典** 中国出典・仏典のものについて書名または人名で示した。
- 例** **例** 文章作成やスピーチに役立つように、実際の使い方の文例を示した。
- 類句** **類句** 見出し語と類似の四字熟語、または関連のものを示した。
- 反対句・対句** **対句** 反対の意味、対句として用いられる四字熟語、および関連のものを示した。
- 参考** **参考** 英語のことわざ、だじゃれ、古川柳など、ことば遊びやちょっとした情報を示した。

古語林 古典文学事典

1 編集方針

本事典は、古典を学習する人、また、古典に親しもうとする人のために、古典世界の理解に必要な3651の項目を収録し、簡潔で分かりやすい解説を施したものである。

2 見出し

古典に現れる地名・歌枕・人名・神名・寺社名・作品名など、および、古典を読むために必要な文芸用語・文法用語を収録した。見出しは、現代仮名遣い、平仮名で示した。なお、ふたりひと組で呼ばれることの多い登場人物名については「=」を使って掲げた。
うめがわ=ちゅうべえ【梅川忠兵衛】

3 配列

(1)見出しの仮名の五十音順とした。

(2)濁音・半濁音は清音の後、拗音・促音は直音の後とした。

(3)仮名表記が同じ場合は、次のジャンルの順とした。

事項→地名→歌枕→人名→作品名

(4)仮名表記もジャンルも同じ場合は、【 】(漢字表記欄)内の次のような順によって配列した。

(ア)漢字の字数が少ないもの→多いもの

(イ)漢字の字数が同じ場合は、冒頭の漢字の画数の少ないもの→多いもの

4 漢字表記・歴史的仮名遣い

【 】に標準的な漢字表記を掲げた。また、作品名や古典の文芸用語などで平仮名がある場合は、歴史的仮名遣いによってそれを示した。

おかし【をかし】 とりかえばよものがたり【とりかへばや物語】

5 ジャンルの表示

各項目のジャンルについては、歌枕・寺社名・作品名・地名・人名を略号によって示した。

6 解説

重要な項目には、**作者成立**を立てて解説した。また、特に重要な項目には、**探究**の欄を設け、より詳しい情報を示して解説した。

7 出典

用例の出典は、適宜省略して示した。

源氏=源氏物語 枕=枕草子

略号・記号一覧

歌枕	歌枕	①②	意味の分類
寺社	寺院または神社名	◆	以下、参考情報、または補足的解説
作品	作品名	探究	より詳しい情報
地	地名	作者	その作品の作者についての情報
人	人名	成立	その作品の成立についての情報

古語林 名歌名句事典

1 編集方針

本事典は、古典を学習する人、また、古典に親しもうとする人のために、古典の重要な和歌・歌謡・俳句・川柳・狂歌について、通釈・解説・鑑賞を施したものである。

2 収録項目

収録した項目数は、和歌=629、歌謡=14、俳句=359、川柳=45、狂歌=13で、合計1060である。ほかに、検索の便のために、現代仮名遣いによる参照項目を立てた。

3 見出し

見出しは、歴史的仮名遣いで掲げた。第一句を見出しとし、第一句の同じものが複数ある場合は、第二句・第三句と続けて見出しとした。

また、歴史的仮名遣いと現代仮名遣いとが紛らわしいものについては、現代仮名遣いの見出しを立て、歴史的仮名遣いを参照させた。

4 配列

見出しの仮名の五十音順とした。

5 ジャンルの表示

見出しの下に、和歌 歌謡 俳句 川柳 狂歌のジャンルを表示した。また、現代仮名遣いの参照項目には、見出しに現代と表示した。

6 本文・出典

作品本文は【 】に囲んで掲げた。次いで作者で作者名を示し、く >で出典を示した。和歌については、巻数、部立てを示し、『新編国歌大観』によって歌番号を付した。なお、百人一首は、和歌に続けて《百人一首》と示した。

7 通釈・解説

訳として通釈を、◆以下で解説・鑑賞を施した。なお、俳句の季語については、季として、季語とその季節を示した。

略号・記号一覧

<u>和歌</u>	和歌	<u>現代</u>	現代仮名遣いによる参照項目
<u>歌謡</u>	歌謡	<u>作者</u>	作者
<u>俳句</u>	俳句	<u>訳</u>	通釈
<u>川柳</u>	川柳	<u>季</u>	季語
<u>狂歌</u>	狂歌	◆	以下、解説・鑑賞

1. 見出し語

A. 見出し語の並べ方

- ① アルファベット順に並べてある。
 ② 同じつづりで語源の異なる語は別見出しとし、右肩に番号をつけた。
 bill¹ bill² Bill

B. 重要語の表示 (重要度に応じて次のような記号をつけてランクを示した。)

***	Aランク	中学学習語、特に使用頻度の高い語	(約1150語)
**	Bランク	高校学習語	(約3100語)
*	Cランク	大学生・社会人に必要な語	(約5300語)
	無印	その他の語	(約70450語)

C. いろいろなつづりがある場合

- ① 米国式と英国式のつづりがあるときは、米国式を優先し、英国式つづりは参照見出しとした。
 ※col-or, 〈英〉-our ... ㊦
 ② () は省略可能な部分、- は最初のつづりとの共通部分を示す。
 ③ (-) はハイフンつきまたはハイフンなしの1語となることを示す。

D. 分節

- ① 音節の切れ目は、・ (小さい中点) で表示した。
 ② 発音によって切り方が違うときは、最初に掲げた発音による切り方を示した。1語化した複合語 (非分離複合語) では、構成要素の間だけを・で表示し、他の分節の表示は省略した。

E. 分離複合語 (2語見出し)

2語以上からなる見出し語 (以下「分離複合語」という) は、最初の語の複合語として、アルファベット順に掲げた。
 ただし、Newのつく地名はnewの末尾でなく独立の見出し語とした。

F. 派生語の扱い

～は見出し語まるごとの代用である。

2. 発音

- ① 発音記号は / / に入れて示した。省略可能な音は () に入れて示した (省略可能な ə は ə とした)。
 第1強勢 (ストレス) は ´, 第2強勢は ` をつけた。複数の発音が併記してある場合は、最初に示したものが最も一般的な発音である。
 ② 発音の一部を省略するときは、省略部分をハイフン (-) で示した。
 ③ 品詞によって発音が違うときは、見出し語の直後に一括して掲げた (重要語についてはそれぞれの品詞のところに示した)。

動 + は「動詞の場合はこの発音もある」という意。

④ 米国式と英国式の発音が異なるときは、米音・英音の順で示し、間に | を入れた。

《米+》は「米国ではこの発音もある」の意。

《英+》は「英国ではこの発音もある」の意。

● 次の音については米音と英音が異なっていて、次のように対応している。

/ɔ(:)/	→ 米 /ɔ:/	英 /ɔ/
/(j)u:/	→ 米 /u:/	英 /ju:/ (時に/(j)u// (j)ə/も用いた)
/əɹ/	→ 米 /ə/	英 /ə/
/ə:r/	→ 米 /ə:/	英 /ə:/
/ə:r\Δr/	→ 米 /ə:/	英 /Δr/
/ou/	→ 米 /ou/	英 /əu/ (英音を特に示すときは/əu/を用いた)
/ɑ:r/	→ 米 /ɑə/	英 /ɑ:/
/ɔ:r/	→ 米 /ɔə/	英 /ɔ:/
/ɪər/	→ 米 /ɪə/	英 /ɪə/
/eər/	→ 米 /eə/	英 /eə, e:/
/uər/	→ 米 /uə/	英 /uə/
/ɪər/	→ 米 /ɪr/	英 /ɪər/
/eər/	→ 米 /er/	英 /eər, e:r/
/uər/	→ 米 /ur/	英 /uər/
/aɪər/	→ 米 /aɪə/	英 /aɪə, aə/
/auər/	→ 米 /auə/	英 /auə, aə/

⑤ 主として日本人の発音に多い誤りを防ぐ配慮から、次のような語の終りにくる音節主音的子音 /l/ /m/ /n/ の前では通例母音を表示しない。

- (1) /pl/ **opal** /óupl/ /kl/ **local** /lóukl/
/sl/ **Russell** /rÁsl/ /bl/ **global** /glóubl/
/fl/ **beautiful** /bjú:təfl/
(ただし、「…」杯分)の -ful は /-fúl/)
/zl/ **hazel** /hézsl/ /tl/ **metal** /métl/
/nl/ **panel** /pænl/ /ml/ **normal** /nó:rml/
その他 /dl/ /gl/ /vl/ など。

副詞形では **normally** /nó:rməli/ のようになる。

- (2) /tn/ **button** /bÁtn/
/dn/ **harden** /há:rdn/ /zn/ **reason** /rí:zn/
/sn/ **lesson** /lésn/ その他 /fn/ /vn/ など。
(3) /zm/ **prism** /prízm/ /ðm/ **rhythm** /ríðm/

⑥ 何らかの強勢が置かれた場合の発音(これを「強形 (strong form)」)というと強勢が置かれない場合の発音(これを「弱形 (weak form)」)という)を区別する語については、それぞれ《強》《弱》という表示をつけて示した。

⑦ Cランク以下の非分離複合語・ハイフン付き複合語については、特に必要な場合を

除いて、発音表記を省略し、強勢だけを示した。分離複合語も強勢だけを表示した。ただし、複合語の構成要素がこの辞典の見出し語にない場合や、特にわかりにくい場合などは発音を示した。複数の強勢型がある場合には構成要素(2音節以上のとき)を少し長めのダッシュで表し、 \prime 、 $\prime\prime$ / のように示した。

- ⑧ **接頭 接尾 連結要素** の発音は代表的な発音だけを示した。
- ⑨ 発音がわかりにくい語や日本人がよく誤って発音する語には《発音注意》《アクセント注意》(これは「強勢の位置に注意」の意)と注記した。発音との関係などでつづりを誤りやすい語には《つづり注意》と注記した。
- ⑩ 日本人の立場から見て発音が似ていてまぎらわしい語を「類音」として掲げた。
fork /fɔːrk/ ([類音] folk)

3. 原義(語源的意味)・基本義・語義展開図

- ① 原義(語源的意味)あるいは基本義(中核的意味)を【 】に入れて示した。その語(句)の理解に役立つ語源的情報や由来などを適宜【 】で示した。
- ② 外来語(完全に英語化しているものも含む)は、その由来する言語名を【フランス】【スペイン】などとして示した。
- ③ 【聖】は聖書, 【Shak.】はシェイクスピアの作品に由来する句・用法であることを示す。
- ④ 主な派生語を【 】欄のなかの原義あるいは基本義の後に示した。
- ⑤ 多義語には見出し語の後ろの〈解説〉に「語義展開図」を収録し、基本義からの主要な意味の展開の様子を示した。これは必ずしも歴史的経緯をなぞるものではなく、現在のその語の主な語義を相互的関連のもとに理解するためのものである。
- ⑥ 主な前置詞には基本義を視覚的に表したイメージ図を示した。

4. 品詞

- ① 品詞は次のように示した。

名 名詞	代 代名詞	形 形容詞	副 副詞
動 動詞	自 自動詞	他 他動詞	助 助動詞
前 前置詞	接 接続詞	間 間投詞	冠 冠詞
接頭 接頭辞	接尾 接尾辞	連結要素 連結要素	
略 略語	記号 記号		

5. 語形変化

A. 語形変化の表示の原則

- ① 名詞、動詞、形容詞、副詞の語形変化は、品詞表示のすぐ後に()に入れて示した。
- ② ~は見出し語まるごとの代用、-は見出し語の一部(音節の切れ目から前)の代用である。/~ / は(語形変化した場合でも)発音が見出し語と同じであることを示す。

B. 名詞の複数形

(複) と表示した。

C. 動詞の語形変化

(三人称単数現在形；過去形，過去分詞形；現在分詞形)のように示した。但し，

- 過去形と過去分詞形が同じ場合は1回だけ表示した。
- 2つ以上の形があるときは or で示した。

D. 形容詞・副詞の比較変化

- ① A, Bランクの1, 2音節からなる形容詞・副詞については比較変化をすべて示した。
- (～・er[est])とあるのは原級に -er, -est を付加するものである。
 - 語末の y を i に変える場合は(～・i・er[est])などと示した。
 - 3音節以上で表示のないものは more 型である。
- ② Cランク以下の語では，表示のない場合，
- 1音節の語では -er 型，
 - 2音節以上の語では more 型である。
- er, —est をつけるとき語尾の子音を重ねるものは (-tt-) (《英》-ll-) などと示した。
- ③ A, Bランクの語を中心に，形容詞・副詞で通例比較変化しない語・語義には，(比較なし)と表示した。

6. 語義・文型表示・語法・用例

A. 語義の区分・順序

語義は ①, ②, ③... の数字で区分し，さらに必要に応じて a), b), c) ...やセミコロンの(:)で区切って示した。多くの語義のある語では，Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ...で大きな意味ブロックに分けた。

B. 語義の示し方

① 訳語のうち省略可能な部分や補足的な部分は()に入れた。

② []は直前の語句と交換ができる語句を示す。

decolorize ... [] ...脱色[漂白]する

[[「脱色する」または「漂白する」の意になる]

③ 語義の定義や内容説明は《 》に入れて示した。

C. 用法の指示，文法上の注記

さまざまな用法・文法上の注記を[]に入れて示した。

例

語形 [P～] 見出し語は小文字だが，大文字で用いる。

[p～] 見出し語は大文字だが，小文字で用いる。

名詞の用法

[the～] [a～] [an～] それぞれの冠詞つきで用いる。

[one's～] 所有格の人称代名詞 (my, your, his, her, ourなど) つきで用いる。

[～s] [～es] 複数形で用いる。(子音+yで終る音については[～ies]と示した。)

形容詞の用法

[叙述] 叙述用法 (predicative use) (be, remain など連結動詞 (copulative verb) の補語となる用法) で用いる。

[限定] 限定用法 (attributive use) (名詞の直前[または時に直後]に置いてその名詞を直接修飾する用法) で用いる。

[他動詞的に] 他動詞に由来し、「(…を)…させるような」といった意味で用いる。

動詞の用法

[be ~ ed] 受身形で用いる。

[be ~ ing] 進行形で用いる。

そのほか

[俗用的に] は、専門的な語が本来の専門用語としてでなく通俗的な意味で用いられた場合をいう。

D. 文型表示 (S, V, O (または O₁, O₂), C, M)

① 記号の意味 S=主語 V=動詞 O=目的語 C=補語

M=副詞的修飾語(句) (前置詞句, 副詞など)

② 不定詞, 動名詞, that節, wh節などを伴う場合や, ある前置詞を決まって用いる場合などは, それも含めて示した。用いたり用いなかったりする部分は()に入れた。/ は, その両側が交換可能であることを示す。

[SV to do/SV doing]

③ “to do” “doing” という表示は to be, being を含む。to be, being だけのときは “to be” “being” とする。

E. スピーチレベル

語の使われる地域, 文体, 時代的差異などに関するスピーチレベルは, 《 》に入れて示した。主なものは次のとおり (指示のない語は普通に用いられる一般語である)。

社会的差異

《非標準》 非標準英語 (標準英語には特に表示しない)

レジスター (標準英語内における機能的差異・スピーチレベル)

《正式》 堅い書き言葉・話し言葉 (時に《文》に通じる)

《略式》 くだけた書き言葉・話し言葉

《俗》 俗語, 非常にくだけた話し言葉

《性俗》 性的な俗語 (下品な語, タブーとされる語も含む)

《文》 文語, 堅い書き言葉 (時に《古》《詩》に通じる)

《詩》 詩で用いる言葉

《まれ》 使用頻度のきわめて低い言葉

年齢的・人種的差異

《学生語》 学生特有の言葉

《小児語》 小児特有の言葉

《黒人語》 米国の黒人特有の言葉

地域的差異

《方言》 ある地域でだけ用いる。《英方言》とあれば英国のある地域でのみ用いる言葉。

- 《米》 米国でのみ用いる。
- 《英》 英国でのみ用いる。
- 《カナダ》 カナダでのみ用いる。
- 《豪》 オーストラリア・ニュージーランドでのみ用いる。
ニュージーランドだけで用いる場合は特に《NZ》と表示した。
- 《南ア》 南アフリカ共和国でのみ用いる。
- 《イング》 イングランド方言
- 《北イング》 北部イングランド方言
- 《スコット》 スコットランド方言
- 《アイル》 アイルランド方言

その他、必要に応じていろいろな地域名を用いた。

時代的差異 《やや古》《古》《廃》

その他 《愛称》《揭示》《Eメール》など

F. 《PC》・《侮蔑》

① 性差別・人種差別・障害者差別等につながりうる語句には、非差別的表現を、《PC》という表現をつけて掲げた。

(PC=politically correct)

assemblyman 議員 (《PC》assembly member)

② 特定の人種・民族や同性愛者などを見下した文脈で用いられ、侮辱的と受け取られる語には《侮蔑》という表示をつけて、特に使用上の注意を促した。

G. 専門語

専門的な語、決まった分野で用いられる語では、分野を〔 〕で示し、多くは略号を用いた(9. 専門分野略語表参照)。

H. 選択制限・連語関係

① 主語・目的語などにどのような内容の語がくるかをく 〈 〉で示した。また、その語と一緒によく用いられる前置詞(場合により動名詞・不定詞など)を、語義の後に〔 〕に入れて示した。それに対応する訳語も〔 〕で示した。

fire... ① 〈人〉が〈銃・弾丸など〉を〔…めがけて〕

発射する、発砲する…〔at, into, on, upon〕

② 動詞にしばしば伴う副詞辞は、語義の後に+印をつけて()に入れて示した。

figure... ② …を計算する、合計する(+up)

I. いろいろな注記・記号

① 語義の後の()内に同義語または言い換え可能な英語を示した。

② 語義・訳語についての関連情報や語法説明・語のイメージなどは

《◆ 》に入れて示した。

● 「次の句」とあれば、同じ語義の用例(〈例〉)に句があることを示す。

③ 必要に応じて、次のような表示を用いた。

[語法] 特に高校生にとって必要とされる重要な解説には●をつけた。

[関連] [文化] [事情]

[類] 類義語

[類語比較] 類義語の意味・用法の違いの解説

[表現] 主に英語で表現する場合に役立つ知識

× 文法的に誤った英語, 語法上不適切な表現

cf. …を参照せよ

→ …を見よ(直接関連する情報が他の箇所にある場合)

⇄ 反意語・対になる語

♂♀ 人名の記述で, それぞれ男性・女性を表す。

《外来形容詞》主にラテン語・ギリシア語からの外来語による形容詞形。学術語として用いるものが多い。

J. 用例

- ① 見出し語と同じものを～で示した。
- ② 語形変化した形については～s, ～es, ～ed, ～ingのようにした。語尾のyをiに変えてes, edをつけるものは～ies, ～iedとした。
- ③ []は, 語義の場合と同じように, 直前の語(句)と交換が可能であることを示す。英文中での交換の起点を「」で示す(ただし1語だけの交換の場合は省略)。
- ④ 英語とその訳の両方に[]があるときは, []の前の語(句)同士, []の中の語(句)同士が原則として対応している(これは注記などでも同じ)。
(eclipseの項で) a sólar [lúnar] ～ 日[月]食
- ⑤ 名詞の用例の中の特に高頻度で用いられるコロケーション(連語)の部分は太い字体で示した。
- ⑥ 用例の中で, 決まった場面で用いられる固定した表現・決まり文句(lexical phrase)には▶印をつけて注意を喚起した。
- ⑦ 用例の言い換えを(=)を用いて示した。
言い換えに用いた等号(=)はまったく等しいという意味ではなく, むしろ≒ということで, だいたいこのようにも言える, といったかなり幅のある記号である。

K. イントネーション, 強勢など

- ① イントネーションや強勢によって意味の違いが生じる場合など, 必要に応じて用例にイントネーションや強勢を示した。
 - (1) ↘(下降調) 通例平叙文で用いられ, 文の完結を示す。断定的口調。疑問文では同意や情報を求める場合に用いられる。
 - (2) ↗(上昇調) 通例疑問文で用いられ, 質問・勧誘・依頼などを表す。また文中で, 文が未完結であることを示す。
 - (3) ↘↗(下降上昇調) 通例文頭の文副詞・挿入句[節]で用いる。文末では対比とか話し手の含みのある態度を示す。
 - (4) ↘(部分下降調) 中途半端な下降で, 未完結あるいは話し手のちゅうちょなどを表す。
- ② ∷によって, 若干の休止があることを示した。

7. **C** と **U**

名詞には、数えられるものに **C** (countable), 数えられないものに **U** (uncountable) の記号をつけた。

A. **C** **U** の意味

- ① **C** 名詞は、単数形では a, an (または the, my, any) などの決定詞が必要であり、複数形にすることができる。
- ② **U** 名詞は、冠詞 (または他の決定詞) なしで用いることができ、複数形にならない。いわゆる物質名詞, 抽象名詞, 集合名詞などがこれに含まれる。
特に a, an がつくときは [a ~], [an ~] と示した。また [しばしば a ~] [しばしば ~ s] は [or a ~], [or ~ s] などと示した。
- ③ **C** **U** は **C** 性の方が強いことを表している。
- ④ **U** **C** は **U** 性の方が強いことを表している。
- ⑤ **U** 名詞の注記 ([種類] **C**)
U 名詞であっても、その種類を問題にするときに **C** 扱いになることがある。これを「chalk **C**...① **U** ([種類] **C**) チョーク」のように注記した。この場合、チョークの種類を問題にするときは **C** となり、chalks of different colors (異なった色のチョーク) のように複数形が用いられる。
- ⑥ **U** **C** はつけない場合
[the ~] [a ~] [~ s] [the ~ s] [one's ~] などとあるものは常にこの形で用いられることを示す。この場合 **U** **C** はつけない。

8. 成句・句動詞

A. 成句の掲げ方

- ① 成句は各品詞ごとに掲げた。
- ② 配列はアルファベット順である。

B. 成句に用いた記号

- ① **O** は動詞・前置詞の目的語を示す (ただし、目的語ではなくても便宜上 **O** を用いた場合がある)。
- ② one's は成句の主語と同一指示のものが人称代名詞 (my, your, her, their など) になって入ることを示す。
その他の場合は **O**'s とする。oneself は再帰代名詞 (myself, yourself, herself など) が入ることを示す。
- ③ < > [] () [] の意味は単語の語義の場合 (6.B, 6.H) と同じである。
[] が成句見出しと訳の両方にあるときは、用例の場合 (6.J ④参照) と同じように、英語とその訳を対応させて用いるのを原則とした。
- ④ 重要語に相当する成句には *印をつけた。

C. 成句を扱う場所

- ① 原則として、その成句に含まれる名詞のところで扱う。名詞を含まない場合は成句の中でもっとも重要な語またはもっとも特徴的な語の見出し語のところで扱う。

② 成句は、「成句検索」を用いれば直接検索できる。

D. 成句の機能表示

①「動詞+前置詞または副詞辞」からなる句動詞には、成句としての機能(品詞に準ずるもの)を次のように表示した。

[自] 自動詞+副詞辞：目的語をとらない。

[他] 他動詞+副詞辞：他動詞なので目的語をとる。原則として副詞辞は目的語の前にも後にも置かれる(～ O up / ～ up O のいずれも可)。

ただし O が代名詞の場合は通例 ～ O up のみ可。

◇まれに副詞辞ではなく前置詞の場合もここに入れた。

[自+] [～ on O] 自動詞+前置詞：目的語は前置詞の目的語である。他動詞に近づき、しばしば受け身が可能。

②句動詞以外でも、形や訳語からわかりにくいものは [名] [副] [接] のように機能表示をした。

E. 相互参照など

他の成句と同じ意味のときは＝を用いて示した。

(top の項で)

from tóp to tóe =⇒ from HEAD to foot.

[from head to foot と同じ意味であり、それは head (スモールキャピタルなっている)の項に説明があることを示す]

9. 専門分野略語表

[アメフト] アメリカンフットボール

[アングリカン] アングリカンチャーチ

[医] 医学

[印] 印刷

[映] 映画

[英史] 英国史

[音] 音楽

[音声] 音声学

[化] 化学

[絵] 絵画

[化工] 化学工業

[カトリ] カトリック

[機] 機械(工業)

[ギ神] ギリシア神話

[魚] 魚類

[漁] 漁業

[軍] 軍事

[経] 経済(学)

[建] 建築(学)

[言] 言語学

[工] 工業・工学

[鉱] 鉱物学

[古生] 古生物

[史] 歴史(学)

[歯] 歯科(学)

[社会] 社会学

[狩] 狩猟

[宗] 宗教(学)

[商] 商業・商学

[植] 植物(学)

[織] 紡織

[神] 神学

[心] 心理学

[人類] 人類学

[数] 数学

[生] 生物(学)

[政] 政治(学)

[生化] 生化学

[聖書] 聖書(学)

[精神医] 精神医学

[地] 地学・地質学

[虫] 昆虫

[鳥] 鳥類

[哲] 哲学

[天] 天文学

[電気] 電気(工学)

[電子工] 電子工学

〔動〕 動物(学)	〔土木〕 土木(工学)	〔農〕 農業・農学
〔バスケ〕 バスケットボール		〔美〕 美術・美学
〔美史〕 美術史	〔物〕 物理(学)	〔プロテ〕 プロテスタント
〔米史〕 米国史	〔法〕 法律・法学	〔薬〕 薬学
〔郵〕 郵便	〔林〕 林業・林学	〔倫〕 倫理(学)
〔口神〕 ローマ神話	〔論〕 論理学	

◇ このほかの分野については省略しない形で、または「学」だけを省略して示してある(例：〔教育〕= 教育(学))。

ジーニアス和英辞典 第2版

1. ジーニアス和英辞典のしくみ

A. 見出し語とその並べ方

- ① かな見出し(ひらがな・カタカナ)で、国語辞典式の五十音順に並べた。
- ② 清音、濁音、半濁音の順。「っ」(促音)、「ゃ」「ゅ」「ょ」(拗音)は、それぞれ「つ」「や」「ゆ」「よ」の次に置いた。
- 見出し中の長音符(ー)は、その直前の音の母音を重ねたものとして配置した。
- スープ 「スウプ」の位置 キーパー 「きいばあ」の位置
 セーフ 「セエフ」の位置 コーヒー 「こおひい」の位置
- ()は省略可能、[]は直前の部分との交替可能を表す。見出しの配列は() []を除いた部分で行なう。

- ③ かな見出しで同じ表記のものが2つ以上あるときは、肩に数字をつけ、後ろに<>で区別の手がかりを記した。

ライト¹<明り>
 ライト²<野球>
 ライト³<複合語を作る>

英語の品詞が見出し語から推測しにくいときにも、<形>などで英語の品詞を示した。助詞・助動詞・接尾辞など独立では用いられない語は、ハイフンをつけて見出しにした。

-に -すぎ [-過ぎ] -たい

特に重要語では、ほぼ同じ英語が対応する2語をいっしょに扱うことがある。

いたむ【痛む】 / いたい【痛い】

- ④ 日本語の形容動詞に英語の形容詞を対応させる場合は、原則として、まじめ(な) あべこべ(の) のように示した。動詞が対応する場合は、すき(だ) のように示した。ただし、英語中見出しをたてない場合は(な)などは省略した。

3. コア解説

重要語で対応する複数の英語の使い分けが問題になる場合は、適宜罫み(バー(≡))で上下を区切る)で詳しい解説をした。ここで取り上げられる英語を「コア語」、罫みの解説を「コア解説」という。

コア解説ではコア語を初めにまとめて掲げ、解説・用例(●印)ではそれらを一括して扱った。

A. コア語の選定

見出しになる日本語の中から重要な語をまず選び、それに相当する英語のシノニム(類義語)グループの中の重要な語をコア語とした。選定は、ネイティブスピーカーの直観的判断、コンピュータ・コーパスから得られる頻度、日本における英語教育の事情を考慮に入れて、日本人執筆者が行なった。

B. △・×

コア解説では、コア語のグループを構成するシノニムの使い分けを詳述した。コロケーション(連語関係)には文法のような一律的な規則はなく、その可否は慣用と直観に基づききわめて不安定である。したがって、執筆に際してはネイティブスピーカーが次の5段階でコロケーションの可否を評価した。

+	OK
*	very slightly unusual
**	notably unusual
***	very unusual
****	deviant

実際にはこれを整理して、⁺(typical)は無印、*(less-typical)は△印、**以下(non-typical)は×印と3段階で表示した。

4. 用例

英語中見出しとは別に、見出し語を含む文・句を英語で表現する場合に役に立つ英語用例(英語中見出し以外の語を用いたもの)・成句を▶印の下に掲げた。

5. 複合語

- ①見出し語が最初につく複合語(原則として名詞)と、それにあたる英語を、**複**印の下に掲げた。
- ②複数の英語をあげる場合は；で区切った。
重要なもの、用例を掲げるものは独立見出しとした。

1. 見出し語

A. 見出し語の並べかた

- ① アルファベット順に並べてある。同じつづりで大文字・小文字の違いのあるものは、小文字→大文字の順。
- ② 同じつづりで語源の異なる語は別見出しとし、右肩に番号をつけた(ただし、説明の都合で同語源でも別立てとしたものがある)。

bill¹ bill² Bill

B. 重要語の表示(重要度に応じて次のような記号をつけてランクを示した。)

⌘	Aランク	中学学習語	約1100語
*	Bランク	高校学習語	約2300語
無印	Cランク	その他	約30400語

C. いろいろなつづりがある場合

- ()は省略可能な部分、-は最初のつづりとの共通部分を示す。
 ()内の部分もアルファベット順に含めて配列した。

ben·zine, -·zin [benzineともbenzinともつづる]
 Bern(e) [BernともBerneともつづる]

D. 分節

音節の切れ目は、・(小さい中点)で表示した。

E. 2語見出し(分離複合語)

2語以上からなる見出し語(以下「分離複合語」という)は、最初の語の項目の末尾にまとめて掲げた(アルファベット順)。例えば、table knifeは見出し語tableの末尾に table knife として示した。

F. 派生語

ある語に接尾辞-ly, -ness, -ment, -(e)dをつけてできたCランクの派生語は、元の語の末尾(分離複合語のあと)に置く場合がある。(いくつか派生語があるとき、アルファベット順によらない。)

2. 発音

- ① 発音記号は/ / に入れた。省略可能な音は斜字体(a, j など)で表記した。第1アクセントは´, 第2アクセントは`をつけた。
- ② 発音記号の直後に、カタカナによる発音表記を示した。これは目安であり、これだけを見て正しい発音が再現できるものではない。
- ③ 同じ発音で違うアクセントもあるときは、ダッシュ(-)を使って/↔/のように表記した。(1音節につき1つのダッシュ)。
- ④ 分離複合語は、原則として発音を省略し、アクセントだけを示した。
- ⑤ [連結形] の発音は代表的なものだけを示した。実際の語のなかでは他の発音もありうる。

- ⑥ 発音がわかりにくい語や日本人がよく誤って発音する語には(発音注意)(アクセント注意)と注記した。
- ⑦ 発音表記のあとに〔同音〕として見出し語と同じ発音の語を掲げた。見出し語または掲げた同音語にいくつか発音があるときは△印をつけた。
- ⑧ 日本人の立場から見て発音が似ていてまぎらわしい語を〔類音〕として掲げた。
 fork /fó:(r)k/ (〔類音〕folk /fóuk)

3. 本義・原義・主要語義目録

- ① その語の語義全体の基本となる「本義(中核的意味)」または「原義(語源的意味)」を【 】に入れて示した。Cランクでも必要に応じて【 】で語源を示した。
 cassette 【小さい(-ette)箱(case)】
 close 【「互いに密着している」が本義】
- ② A, Bランクの語で多くの語義のある語については、主要な語義を<解説>に掲げた。
- ③ 外来語(完全に英語化しているものも一部含む)は、その由来する言語名を【フランス】【スペイン】などとして示した。
- ④ 【聖】は聖書, 【Shak.】はシェイクスピアの作品に由来する句・用法であることを示す。
- ⑤ 動詞の**自他**は別々に示されているが、実際は**自**と**他**は別個のものではない。この**自**と**他**の関係を明らかにするため、<解説>に表示をした。

4. 品詞

- ① 品詞は次のような記号で示した。

名 名詞	助 助動詞	連結形 連結形
代 代名詞	前 前置詞	
形 形容詞	接 接続詞	
副 副詞	間 間投詞	
動 動詞	略 略語	
自 自動詞	記号 記号	
他 他動詞		

- ② A, Bランクの語については、重要な派生語(主としてA, Bランク)を(派)として品詞表示の前に掲げた。

5. 語形変化

A. 語形変化の表示の原則

- ① 名詞、動詞、形容詞、副詞の語形変化は、品詞表示のすぐあとに()に入れて示した。
- ② ~は見出し語まるごとの代用、-は見出し語の一部(音節の切れ目から前)の代用である。
- ③ 不規則変化する語およびA, Bランクの語で変化形に注意を要するもの(語尾のyをiに変える、-eを取って-ingをつける、など)については、変化した形も見出し語に立てた。

B. 名詞の複数形

(複)として表示した。つづりが-oで終わる語, -esをつける語, yをiに変えて-esをつける語, その他注意を要する語については, Cランクでも複数形を示した。

C. 動詞の語形変化

- ① A, Bランクの動詞の語形変化は次のように示した。
run([三単現] ~ s/-z/; [過去] ran/ræn/, [過分] run; [現分] run・ning)
- ② 過去形と過去分詞形が同じときは, [過去・過分] という表示で1回だけ示した。
- ③ 2つ以上の形があるときは(...または...)のように示した。

D. 形容詞・副詞の比較変化

- ① A, Bランクの1, 2音節からなる形容詞・副詞については比較変化をすべて示し, 比較級には [比較], 最上級には [最上] と表示した。
3音節以上で表示のないものはmore ~, most ~を用いる。
- ② Cランクの語では, 表示のない場合
1音節の語 -er, -est
2音節以上の語 more ~, most ~
を用いる。(時に [比較] ~ ・er, [最上] ~ ・est)はmore型と-er型の両方が用いられることを示す。

6. 語義・文型表示, その他の注記

A. 語義の区分・順序

語義は 1, 2, 3 ...の数字で区分し, さらに必要に応じて a, b, c ...やセミコロン(;)で区切って示した。多くの語義のある語では, I, II, III...でいくつかの大きなブロックに分けた。

B. 語義の示し方

- ① ()内は省略可能な部分, または「内包的意味」(普通そういう意味をこめて用いられるという部分)である。
hall... **名** 2玄関(の広間)
 [[「玄関」または「玄関の広間」の意になる]
cabin... **名** 1(丸太造りの)小屋
- ② []は直前の語句と交換ができる語句を示す。
brickyard... **名** ... れんが工場 [販売所]
 [[「れんが工場」または「れんが販売所」の意になる]
- ③ 語義のあとの《 》内は語義の定義や内容説明である。

C. 用法の指示, 文法上の注記

さまざまな語法・文法上の注記を [] に入れて示した。(~は見出し語の代用。ただし, 2字以下の語やわかりにくい場合などは全部つづった。)以下に主なものを掲げる。

語形

- [P ~] 見出し語は小文字だが, ここでは大文字で用いる。
- [p ~] 見出し語は大文字だが, ここでは小文字で用いる。

名詞の用法

[the ~] [a ~] [an ~] それぞれの冠詞つきで用いる。

[one's ~] 人称代名詞の所有格(my, your, his, her, ourなど)つきで用いる。

[~s] [~es] 複数形で用いる。(yをiに変えて-esをつける語は全部つづいた。)

形容詞の用法

[補語として] He is crazy. のcrazyのように、連結動詞(be, remainなどの補語として用いる。

[名前の前で] a crazy boyのcrazyのように、名詞の直前に置いてその名詞を直接修飾する。

動詞の用法

[be ~ ed] 受身形で用いる。(yをiに変えて-edをつける語は全部つづいた。)

[be ~ ed] および [通例 be ~ ed] については、それに続く訳語も受身にしたものを掲げた。

[be ~ ing] 進行形で用いる。

[~ oneself] 再帰代名詞(myself, yourselvesなど)とともに用いる。

そのほか、[a ~ of] [数詞の前で] [比較級を強めて] [命令形で] [比喩的に] などさまざまな表示をした。

D. 文型表示

- ① 重要な動詞および一部の形容詞については、主語にS、目的語(時に主語など)にA、B、補語にCを用いて文型を表示した。

give 他 1 [give (A) B/give B (to A)]

〈人が〉(A〈人〉)にB〈物・金〉を(無償で)与える

become 目 [become C] C(の状態)になる

kind 形 1b [A is kind to do/it is kind of A to do]…するとはA〈人〉は親切だ

- ② 不定詞、動名詞、that節、wh節、決まった前置詞などを伴う場合は、それも含めて示した。

E. スピーチレベル

語の使われる地域、文体、時代的差異などに関するスピーチレベルは、() に入れて示した。主なものは次のとおり(指示のない語は普通に用いられる一般語である)。

機能的差異

〔文〕 文語、堅い書き言葉(時に〔古〕〔詩〕に通じる)

〔詩〕 詩で用いる言葉

〔正式〕 あらたまった書き言葉・話し言葉

〔略式〕 くだけた書き言葉・話し言葉

〔俗〕 俗語、非常にくだけた話し言葉

性的・年齢的・人種の差異

〔男性語〕 〔女性語〕 〔学生語〕 〔小児語〕

〔黒人語〕 米国の黒人特有の言葉

地域的差異

- (方言) ある地域でだけ用いる。《英方言》とあれば英国のある地域でのみ用いる言葉ということになる。
- (米) 米国でのみ用いる。
- (英) 英国でのみ用いる。
- (カナダ) カナダでのみ用いる。
- (豪) オーストラリア・ニュージーランドでのみ用いる。
- (スコット) スコットランド方言
- (アイル) アイルランド方言
- その他、必要に応じていろいろな地域名を用いた。

時代的差異

- (古) (やや古) (廃)

その他

- (愛称) (掲示)

その他、場面を表す短い言葉(《空港のアナウンス》《店員の言葉》など)を()で示した。

F. 《PC》

性差別・人種差別・障害者差別等につながりうる語句には、非差別的表現を、《PC》という表示をつけて掲げた。(PC=politically correct)

例えば、人間全体を示す男性名詞(例：man, mankind)、男女両性を含む男性職業名詞(例：salesman, congressman)、ことさら男女の違いを強調する語(例：lady doctor, waitress)などに対して、男性に偏しない両性平等に使える語を示した。

《PC》としてあげた語は、本辞典で見出し語となっていない場合がある。

G. 専門語

専門的な語、決まった分野で用いられる語には、分野を〔 〕で示した(訳語から明らかかなものは表示を省略した場合がある)。(動)は動物(学)、(植)は植物(学)の略。

H. 選択制限

- ① 動詞の主語・目的語・補語、形容詞の被修飾語、前置詞の目的語などにどのような内容の語がくるか(これを選択制限という)を、語義の中にく)で示した。
- damage ... 動 ... 1 <物・事が><物>に損害を与える。
[主語については<…が>のように示す]
- derive ... 動 1 [derive A from B] B<本源となる物・事>からA<利益・楽しみ・安心など>を引き出す、得る。
- decisive ... 形 ... 1 <戦い・勝利などが>明確な結果をもたらす、決定的な。
- ② 動詞にしばしば伴う副詞辞は+印をつけて()に入れ、斜字体で示した。
- fence ... 動 ... …に囲いをめぐらす(+in, off)。

I. 同義語

語義のあとの()内に同義語または言い換え可能な英語を示した。

J. いろいろな注記・記号

- ① 語義・訳語についての関連情報や語法説明・語のイメージ・補足などは《◆ 》に入れて示した。説明の長いものは囲み記事とし、一部は[Q&A]として質問と答えの形で〈解説〉に示した。
- ② 必要に応じて、次のような表示を用いた。

[関連]	[語法]	[文化]	[事情]
[類]	類義語	[比較]	日本語と英語の比較
[表現]	主に英語で表現する場合に役立つ知識		
cf.	…を参照せよ		
→	…を見よ(直接関連する情報が他の箇所にある場合)		
↔	反意語・対になる語		

K. 用例

- ① すぐに役立つ対話形式の用例を、〈例〉に[対話]と表示して収録した。
- ② [] は、語義の場合と同じように、直前の語と交換が可能であることを示す。
- ③ 英語とその訳の両方に [] があるときは、[] の前の語同士、[] の中の語同士が原則として対応している(これは注記などでも同じ)。
a convex [concave] lens 凸 [凹] レンズ。
[a convex lensが「凸レンズ」、a concave lensが「凹レンズ」となる]
- ④ 等号(=)は、「まったく同じ意味」ということではなく、「だいたい同じような意味である(ニュアンスに相違もある)」といった場合にも用いている。

L. イントネーション、ストレスなど

- ① イントネーションやストレスによって意味の違いが生じる場合(「部分否定」と「全否定」など)、丁寧さの度合いが異なる場合(Thank you.(↑)(↘)など)、その他必要に応じて用例にイントネーションやストレスを示した。イントネーションは、高低変化の終わった箇所に、次のような記号で示した。
↘ (下降調) 通例平叙文で用いられ、文の完結を示す。断定的口調。
↑ (上昇調) 通例疑問文で用いられ、質問・勧誘・依頼などを表す。また文中で、文が未完結であることを示す。
↘ (下降上昇調) 通例文頭の文全体を修飾する副詞(句)・挿入句 [節] で用いる。文末では対比とか話し手の含みのある態度を示す。
↘ (部分下降調) 中途半端な下降で、未完結あるいは話し手のちゅうちょなどを表す。
- ② ストレスは、´と`のアクセント記号をつけて示した。
- ③ この他、;によって、若干の休止があることを示した。

7. **C**と**U**

名詞には、数えられるものに **C** (countable)、数えられないものに **U** (uncountable) の記号をつけた。

A. **C**と**U**の意味

- ① **C** 名詞は、単数形ではa, an(またはthe, my, any, thatなどの決定詞)が必要であり、複数形にすることができる。
- ② **U** 名詞は、冠詞(または他の決定詞)なしで用いることができ、複数形にならない。いわゆる物質名詞、抽象名詞などがこれに含まれる。特にa, anがつくときは [a ~], また [しばしば a ~] [しばしば ~ s] などとして示した。特に a, an がつくときは [a ~], また [しばしば a ~] [しばしば ~ s] は [or a ~], [or ~ s] などと示した。
- ③ [集合名詞] としたものには通例 **C** **U** をつけない。
- ④ 固有名詞には通例 **C** **U** をつけない。
- ⑤ [the ~] [a ~] [~ s] [the ~ s] [one's ~] などとあるものは常にこの形で用いられることを示す。この場合 **C** **U** はつけない。
複数形の語の語義については、必要に応じ、[単数扱い] [複数扱い] [単数・複数扱い] という表示をした。[単数扱い] の語が主語になった場合は単数の主語に一致する動詞を用い、また単数の代名詞で受ける。(複数形で表示のないものは複数扱いである。)

8. 成句・句動詞

A. 成句の掲げ方

- ① 配列はアルファベット順である。
- ② 句動詞(動詞+前置詞または副詞辞で全体として動詞の機能をもつ成句)のうち、特に重要なものは独立の見出し語とした。

B. 成句に用いた記号

- ① A, Bは動詞・前置詞の目的語を示す(ただし、目的語ではなくても便宜上A, Bを用いた場合がある)。
- ② one'sは成句の主語と同じものが人称代名詞(my, your, her, theirなど)になって入ることを示す。その他の場合はA'sとする。
- ③ oneselfは再帰代名詞(myself, yourself, themselvesなど)が入ることを示す
- ④ 成句には標準的なアクセントを表示した。ただし、文脈による変動や個人差も大きいので、ひとつの目安としての表示である。

C. 成句を扱う場所

- ① 名詞を含む成句は名詞のところで扱う。それ以外は、その成句の中でもっとも重要な語またはもっとも特徴的な語の見出し語のところで扱う。
- ② 引きにくいものについては、いろいろな箇所から引けるように参照見出しをつけた。

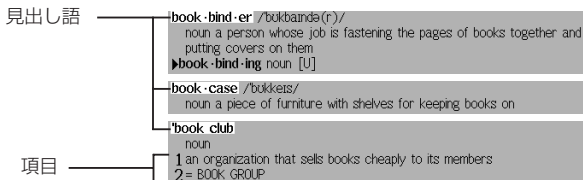
D. 機能表示

- ① 「動詞+前置詞または副詞辞」からなる句動詞には、成句としての機能(品詞に準ずるもの)を次のように表示した。
 - [自] 自動詞+副詞辞。目的語をとらない。
 - [他] 他動詞+副詞辞。目的語は他動詞の目的語であり、原則として副詞辞は目的語の前にもあとにも置かれる。ただし目的語が代名詞の場合は通例～ A upの形でのみ使われる。
- ② 自動詞+前置詞からなる句動詞は、[～ through A]のように表示した。
- ③ 句動詞以外でも、形や訳語からわかりにくいものは [名] [副] [接] のように機能表示をした。

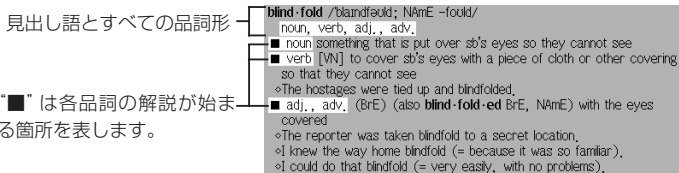
この辞典の項目の概要

単語を探す

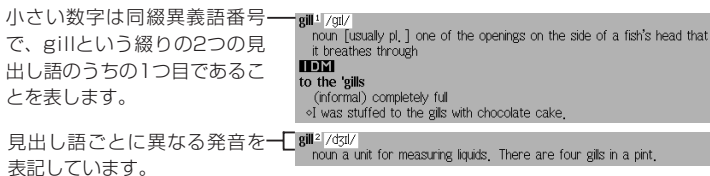
この辞典では、見出し語をアルファベット順に配列して項目を記載しています。複合語・派生語は各々の項目に、アルファベット順で記載しています。



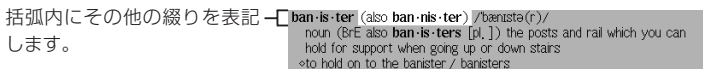
見出し語の中には複数の品詞形を持つものがあります。



英語には、同じ綴りで異なる発音をする単語があります。



また英語には、いろいろな綴りがある単語があります。このような単語についての解説は最も頻繁に使われる綴りで表記しています。



あまり頻繁に使われない綴りの見出し語からは、相互参照で主に使われる見出し語へ導きます。

ban-nis-ter
 = BANISTER

動詞の米語変化形や不規則変化形も同様に扱います。

他の単語からの派生語は、元になる単語(基語)の意味から容易に理解できるので、単独の見出し語にはなりません。これらの単語は基語と同じ項目に、別途印を付けて表記されます。

▶印は派生語の解説が始まる箇所を表します。

be-lated /bɪleɪtɪd/
adj. coming or happening late
◦a belated birthday present
▶**be-lated-ly** adv.

慣用句や句動詞は、別途記号を付けて表記しています。

記号 **IDM** は慣用句の説明を表します。

記号 **PHR V** は句動詞の説明を表します。

fetch ⇨ /fetʃ/
verb
1 (especially BrE) to go to where sb/sth is and bring them/it back
◦[VN] to fetch help / a doctor
◦The inhabitants have to walk a mile to fetch water.
◦She's gone to fetch the kids from school.
◦[VNN] Could you fetch me my bag?
2 [VN] to be sold for a particular price **SYN** SELL FOR
◦The painting is expected to fetch \$10,000 at auction.
IDM
fetch and 'carry (for sb)
to do a lot of little jobs for sb as if you were their servant
PHR V
'fetch 'up
(informal, especially BrE) to arrive somewhere without planning to
◦And then, a few years later, he somehow fetched up in Rome.

意味を探す

単語には項目が非常に長くなるものがあります。見つけたい意味のおおよその予測ができる場合は、項目すべてを最初から読む必要はありません。

ショートカットに背景や一般的な意味を表記します。

意味が似ているものは同じショートカットに表記します。

spin ⇨ /spɪn/
verb, noun
■ verb (**spin-ning, spun, spun** /spʌn/) **[TURN ROUND QUICKLY]**
1 ~ (sth) (**round / around**) to turn round and round quickly; to make sth do this
◦[V] The plane was spinning out of control.
◦a spinning ice skater
◦My head is spinning. (= I feel as if my head is going around and I can't balance).
◦[VN] to spin a ball / coin / wheel
2 ~ (**round / around**) to turn round quickly once; to make sb do this
◦[V] He spun around to face her.
[also VN]
[MAKE THREAD]
3 ~ (**A into B**) | ~ (**B from A**) to make thread from wool, cotton, silk, etc., by twisting it
◦[V] She sat by the window spinning.
◦[VN] to spin and knit wool
◦spinning silk into thread
[OF SPIDER / SILKWORM]
4 [VN] to produce thread from its body to make a web or COCOON
◦a spider spinning a web

Oxford 3000™ (学習基本語彙3000語)

「OXFORD現代英英辞典 第7版」の中で説明に用いられる単語は、オックスフォード大学出版局と専門家からなる編集チームが選んだ基本的な3000の単語で構成された、英語学習者がコミュニケーションを行う上で最も重要な基本語です。その3000語を「Oxford 3000™」と呼びます。

単語を理解し、使用する

見出し語の中で **0** 記号の付いた単語は Oxford 3000 に含まれるもので、学習者がコミュニケーションを行う上で最も重要な基本語です。

spin /spɪn/
verb, noun
■ verb (**spin-ning, spun, spun** /spʌn/)

アメリカ英語で発音が異なる場合。

aard-vark /ɑːdvɑːk; NAmE ˈɑːdvɑːrk/
noun an animal from southern Africa that has a long nose and tongue and that eats insects

アクセント符号は複合語のアクセント位置を表します。

ˈbaby grand
noun a small GRAND PIANO

動詞の不規則変化と発音。名詞の場合には不規則複数形も表記します。

cling /klɪŋ/
verb (**cling, clung** /klɒŋ/) [V]
1 **~ (on) to sb/sth | ~ on/together** to hold on tightly to sb/sth
◦ survivors **clinging** to a raft
◦ She **clung on** to her baby.
◦ **Cling on tight!**
◦ They **clung together**, shivering with cold.
→ note at HOLD
2 **~ (to sth)** to stick to sth
◦ a dress that **clings** (= fits closely and shows the shape of your body)
◦ The wet shirt **clung** to his chest.
◦ The smell of smoke still **clung** to her clothes.
3 **~ (to sb)** (usually disapproving) to stay close to sb, especially because you need them emotionally
◦ After her mother's death, Sara **clung** to her aunt more than ever.
PHI-V

この単語と共に使える前置詞、副詞と構文。

例文を◇印で表記します。

使用例を表すラベル (スタイルラベル)

形容詞の比較級と最上級

hearty /ˈhɑːti; NAmE ˈhɑːrti/
adj., noun
■ adj. (**heart-ier, hearti-est**)
1 [usually before noun] showing friendly feelings for sb
◦ a **hearty** welcome
2 (sometimes disapproving) loud, cheerful and full of energy
◦ a **hearty** and boisterous fellow
◦ a **hearty** voice
3 [only before noun] (of a meal or sb's APPETITE) large; making you feel full
◦ a **hearty** breakfast

形容詞の使用例

名詞の固定形

名詞の種類別解説

例文中の一般的な言い回しを強調文字で表記します。

名詞の種類別解説

Oxford 3000 に収録されていない定義で 사용되는単語。

動詞のパターンコード

dock /dɒk; NAmE dɑːk/
noun, verb
■ noun
1 [C] a part of a port where ships are repaired, or where goods are put onto or taken off them
◦ dock workers
◦ The ship was **in dock**.
—see also DRY DOCK
2 **docks** [pl.] a group of docks in a port and the buildings around them that are used for repairing ships, storing goods, etc.
3 [C] (NAmE) = JETTY
4 [C] (NAmE) a raised platform for loading vehicles or trains
5 [C] the part of a court where the person who has been accused of a crime stands or sits during a trial
◦ He's been **in the dock** (= on trial for a crime) several times already.
6 [U] a wild plant of northern Europe with large thick leaves that can be rubbed on skin that has been stung by NETTLES to make it less painful
◦ dock leaves
■ verb
1 if a ship **docks** or you **dock** a ship, it sails into a HARBOUR and stays there
◦ [V] The ferry is expected to **dock** at 6.
[also VN]
2 if two SPACECRAFT **dock**, or **are docked**, they are joined together in space
◦ [VN] Next year, a technology module will be **docked** on the space station.
[also V]
3 [VN] **~ sth (from/off sth)** to take away part of sb's wages, etc.

語彙を構築する

本辞典には、語彙の構築や、創造的な言葉の使用に役立つ情報が収録されています。

同義語と反意語を、記号を付けて表記します。

stable **əw** /steɪbl/

adj., noun, verb

■ adj.

1 firmly fixed: not likely to move, change or fail **SYN** STEADY

◊ stable prices

◊ a stable relationship

◊ This ladder doesn't seem very stable.

◊ The patient's condition is stable (= it is not getting worse).

2 (of a person) calm and reasonable: not easily upset **SYN** BALANCED

◊ Mentally, she is not very stable.

3 (technical) (of a substance) staying in the same chemical or ATOMIC state

◊ chemically stable

OPP UNSTABLE

▶ **stability** /steɪbəl/ adv.

■ noun

verb [tr.] (to) keep sth or keep sb in a stable state

◊ Where do you stable your pony?

(WORD FAMILY)

• stable adj. (≠ unstable)

• stability n. (≠ instability)

• stabilize v.

WORD FAMILY は見出し語に関連した単語の集まりです。

NOTE には正しい単語の選択方法や難解な文法の説明が記載されています。

単語は使用頻度の高い順に配列しています。

IDM

in the pay of sb/sth

(usually disapproving) working for sb or for an organization, often secretly

NOTE

SYNONYMS

[pay]

foot the bill • pick up the bill/tab

These words all mean to give sb money for work they have done or goods they have supplied.

pay to give sb money for work, goods, services, etc. ◊ I'll pay for the tickets. ◊ Her parents paid for her to go to Canada. ◊ She pays £200 a week for this apartment. ◊ I'm paid \$100 a day.

foot the bill (rather informal) to pay the cost of sth ◊ Once again it will be the taxpayer who has to foot the bill.

pick up the bill/tab (rather informal) to pay the cost of sth ◊ The

相互参照により、本辞典内の別の箇所にある記載へと導きます。

see also は類似もしくは関連した意味を持つ単語へ導きます。

compare は対照的な意味を持つ単語へ導きます。

bear **əw** /beɪ(r); NAmE ber/

verb, noun

■ verb (**bore** /bɔ:(r)/ **borne** /bɔ:n; NAmE boɪn/)

[ACCENTUATED WITH STRESS]

■ noun

1 a heavy wild animal with thick fur and sharp CLAWS (= pointed parts on the ends of its feet). There are many types of bear

◊ a black bear

—see also GRIZZLY BEAR, POLAR BEAR, TEDDY BEAR

2 (finance) a person who sells shares in a company, etc., hoping to buy them back later at a lower price—compare BULL—see also BEARISH

IDM

like a bear with a sore head

(informal) bad-tempered or in a bad-tempered way

略語・記号の説明

1. 省略形

abbr.	: 省略形、短縮形	AustralE	: オーストラリア英語
adj.	: 形容詞	BrE	: イギリス英語
adv.	: 副詞	CanE	: カナダ英語
C	: 可算名詞	E AfrE	: 東アフリカ英語
conj.	: 接続詞	IndE	: インド英語
det.	: 限定詞	IrishE	: アイルランド英語
n.	: 名詞	NAmE	: 北アメリカ英語
pl.	: 複数形	NEngE	: イングランド北部英語
pp	: 過去分詞形	NZE	: ニュージーランド英語
prep.	: 前置詞	SAfrE	: 南アフリカ英語
pron.	: 代名詞	ScotE	: スコットランド英語
pt	: 過去形	SEAsianE	: 東南アジア英語
sb	: だれか (somebody)	US	: アメリカ英語
sing.	: 単数形	WAfrE	: 西アフリカ英語
sth	: 何か (something)	WelshE	: ウェールズ英語
symb	: シンボル		
U	: 不可算名詞		
v.	: 動詞		

● 記号

～	: 見出し語の出だしの言葉に置き換えるもの
■	: 見出し語で新しい語法の部分を示す
▶	: 見出し語で派生語の部分
·	: 見出し語で、音節の区切りを表す
◇	: 例文
×	: 文法的に誤った英語、語法上不適切な表現
IDM	: 見出し語で慣用句の部分
PHR V	: 見出し語で句動詞の部分
SYN	: 同意語・類義語
OPP	: 反意語
☞	: Oxford 3000 に収録された単語を表す

2. スタイルラベル

本辞典では、特定の態度や場で使われる語には、ラベルをつけています。以下にそれぞれの意味を表示していますので、適切な語の使用に役立ててください。

approving	同意や賞賛の感情を示すときに用いる表現。
disapproving	不賛成や軽蔑の感情を示すときに用いる表現。
figurative	文字どおりではなく、暗喩的な意味を示す表現。

formal	厳粛な場や公式な場でのみ用いられる表現。日常会話での使用は不適切。
humorous	ユーモラスな表現。
informal	友人同士、あるいはくつろいだ場や非公式の場で用いられる表現。形式ばった場での使用は不適切。
ironic	本来の意味と反対または、まったく違った意味で使う。
literary	文学やフィクションで主に用いられる言語。
offensive	非常に侮辱的な表現。とくに人種や宗教、性別、身体障害に関して用いる。通常使うべきでない表現。
rare	一般的には使われない言語。たいてい別の語で言い換えられる。
slang	非常にくだけた表現。主に口語で用いられ、同年代や同業者など限定された集団の中で、通常使われる。
taboo	タブー語 多くの人が不愉快、衝撃的と感じるであろう単語。これらの単語の使用は避けるべき。 例：bloody, shitなど。
technical	特定の分野の専門家によって使われる言語。
AmE	アメリカ英語の表現。
BrE	イギリス英語の表現。
dialect	ブリテン諸島の地方特有の表現。ここではアイルランドやスコットランドは含まない。
old-fashioned	現代では使用されなくなりつつある表現。
old use	現代では使用されなくなった表現。
saying	ことわざなど良く知られた決まり文句や伝統的な表現。

3. verb patterns

本辞典では、動詞を用法別に22の型に分類し、ラベルで表示しています。各記号の意味は以下のとおりです。

▼ 自動詞

[V]	動詞のみ
[V+adv. / prep.]	動詞+副詞または前置詞句

▼ 他動詞

[VN]	動詞+名詞句(補語)
[VN+adv. / prep.]	動詞+名詞句+副詞または前置詞句

▼ 他動詞+2つの目的語

[VNN]	動詞+名詞句+名詞句
-------	------------

▼ 連結動詞

[V-ADJ]	動詞+形容詞
[V-N]	動詞+名詞句
[VN-ADJ]	動詞+名詞句+形容詞
[VN-N]	動詞+名詞句+名詞句(目的補語)

▼ 節や句とともに使われる動詞

[V that] [V (that)]	動詞+that節
[VN that] [VN (that)]	動詞+名詞句+ that 節
[V wh-]	動詞+ wh- 節
[VN wh-]	動詞+名詞句+ wh- 節
[V to]	動詞+ to 不定詞
[VN to]	動詞+名詞句+ to 不定詞
[VN inf]	動詞+名詞句+原形不定詞
[V -ing]	動詞+現在分詞
[VN -ing]	動詞+名詞句+現在分詞

▼ 動詞+直接話法

[V speech]	動詞+直接話法
[VN speech]	動詞+名詞句+直接話法

新物理小事典

I 見出し語と配列

- 見出し語は「かな見出し」と「漢字見出し」を併用し、「かな見出し」は現代かなづかいを用いた。
例：はどうりきがく【波動力学】
- 見出し語が外国語の場合は「かな見出し」をカタカナとした。
- 日本語との複合語である外国語は———によって省略した。
例：アボガドロのほうそく【———の法則】
- 人名項目については見出し語のあとに生没年を併記し、外国人名については欧字綴りを付記した。
例：ファラデー【Faraday, Michael】(1791 ~ 1867)
- ほかに説明のついた同義語または関連語がある場合は、同義語は ⇒，関連語は → をもって説明のある本項目へ導いた。
例：オーエス【OS】⇒オペレーティングシステム
例：だいにうちゅうそくど【第2宇宙速度】→宇宙速度
- 見出し語の配列は現代かなづかいによる五十音順とした。また長音「ー」は無視して配列した。
- 拗音および促音は配列のうえでは一つの直音と同じ扱いとした。
- 必要によっては小見出し項目を設け、小見出し項目では「かな見出し」は省略した。小見出し項目の配列はかならずしも五十音順ではない。

II 本文

- 本文は常用漢字・現代かなづかいを用いることを原則とし、誤読・難読のおそれのあるものはふりがなを本文中初出の漢字についてだけ付した。

2. 本文に出てきた語のうち、ほかに参照すべき見出し語のあるものは、☞ を付した。
例：☞ ローレンツ変換
3. 見出し語に関連した項目があって、その項目を参照することにより理解を助けるような場合は、文中または文末に →☞ を付し関連項目へ導いた。
4. 本文中に出てくる外国人名・外国地名は原則としてカタカナで表し、術語・外来語の表記については原則として「学術用語集」、および「外来語の表記」に準拠したが、慣用にも配慮した。
5. 本文中に出てくる外国人名で、ほかに見出し語がある場合は人名に ☞ を、ない場合には欧字綴りを併記した。
6. 本文中に出てくるアルファベットは、原則として、物理量(速度 v など)はイタリック体で、記号・符号はローマン体とした。必要によってはベクトル量もイタリック体(たとえば力 \mathbf{F} など)を用いた。
7. 本文中の単位については、基本的に国際単位系(SI)を採用するようにした。

Ⅲ 略号、記号

cm:センチメートル, m:メートル, km:キロメートル, μm :マイクロメートル, nm:ナノメートル, \AA :オングストローム, g:グラム, mg:ミリグラム, kg:キログラム, s:秒, A:アンペア, V:ボルト, W:ワット, Ω :オーム, N:ニュートン, $^{\circ}\text{C}$:セルシウス温度, K:絶対温度, eV:電子ボルト, cal:カロリー, K:度(温度差), Pa:パスカル, mmHg:水銀柱ミリメートル, mol:モル, Hz:ヘルツ, erg:エルグ, J:ジュール, g :重力加速度, t :時間, T :周期, 温度, $f \cdot \nu$:振動数, ω :角速度, v :速度, $a \cdot a$:加速度, $m \cdot M$:質量, $P \cdot p$:運動量, 誘電分極, I :慣性モーメント, $F \cdot f$:力, E :エネルギー, 電場, U :エネルギー, Q :熱量, 電気量, W :仕事, Φ :磁束, R :電気抵抗, リュードベリ定数, C :電気容量, X :リアクタンス, L :インダクタンス, Z :インピーダンス, 原子番号, A :質量数, c :光速, $p \cdot P$:圧力, $v \cdot V$:体積, λ :波長, h :プランク定数, N_A :アボガドロ定数, θ :温度, 角度, emu:電磁単位, esu:静電単位, p :陽子, n :中性子, e :電子, ν :ニュートリノ, n :屈折率, f :焦点距離, $i \cdot j$:虚数単位, e :電気素量・自然対数の底.

I 見出語

- 見出語は「かな見出し」と「漢字見出し」を併用し、「かな見出し」は現代かなづかいを用いた。
例：ぶんべつじょうりゅう【分別蒸留】
- 見出語が外国語の場合は「かな見出し」をカタカナとした。
- 日本語との複合語である外国語は———によって省略した。
例：さんかアルミニウム【酸化———】
- 人名項目については見出語のあとに生没年を併記し、外国人名については欧字綴りを付記した。
例：ファラデー【Faraday, Michael】(1791 ~ 1867)
- 他に説明のついた同義語または関連語がある場合は、同義語は = ➡、関連語は → ➡ をもって説明のある本項目へ導いた。
例：同義語は たんさんガス【炭酸———】 = ➡ 二酸化炭素
関連語は シスがた【———形】 → ➡ シス・トランス異性

見出語の配列

- 配列は現代かなづかいによる五十音順とした。
- 長音「ー」は無視して配列した。
- 拗音および促音は配列のうえでは直音と同じ扱いとした。

II 本文

- 本文は常用漢字・現代かなづかいを用いることを原則とし、誤読・難読のおそれのあるものは振りがなを本文中初出の漢字についてだけ付した。
- 本文に出てきた語のうち、他に参照すべき見出語のあるものは、➡を付した。
例：➡イオン結合
- 見出語に関連した項目があって、その項目を参照することにより理解を助けるような場合は、文中または文末に → ➡ を付し関連項目へ導いた。
- 同一見出語に二つ以上の意味があるときは、本文中に①, ②, ……を用いて区別した。
- 文末に示した融点、沸点、密度(比重)、溶解度、比旋光度などは、かつこ内にとくに条件を示さない限り、常温・常圧における数値を示した。また、とくに断らない限り、そこに示した化学式をもつ物質の数値とした。
- 本文中に出てくる生物名・外国語・外国人名・外国地名は原則としてカタカナで表し、術語・外来語の表記については原則として「学術用語集」、および「外来語の表記」に準拠したが、慣用をも重視した。

Ⅲ 略号

A : 原子量, M : 分子量, Z : 原子番号, F : ファラデー定数, N_A : アボガドロ定数, R : リュドベリ定数; 気体定数, g : 重力加速度, h : プランク定数, n : 物質質量, d : 密度(比重), η : 粘度, E : エネルギー; 起電力, λ : 波長; 壊変定数, ν : 振動数, v : 速度, n : 屈折率, $[\alpha]_D$: 比旋光度(ナトリウムD線に対する比旋光度), T : 温度, t : 時間, o : オルト, m : メタ, p : パラ, p : 陽子, n : 中性子, e : 電子, l : 左旋性, d : 右旋性, dl : ラセミ体, D ・ L : 糖類とアミノ酸の立体配置

Ⅳ 記号

μm : マイクロメートル, nm : ナノメートル, L : リットル, kg : キログラム, g : グラム, mg : ミリグラム, \AA : オングストローム, mol : モル, pH : 水素イオン指数, A : アンペア, V : ボルト, J : ジュール, W : ワット, Ω : オーム, N : ニュートン, $^{\circ}\text{C}$: セルシウス温度, K : 絶対温度, eV : 電子ボルト, keV : キロ電子ボルト, MeV : メガ(百万)電子ボルト, Bq : ベクレル, Gy : グレイ, Sv : シーベルト, s : 秒, $\%$: パーセント, cal : カロリー, Pa : パスカル, mmHg : 水銀柱ミリメートル, ppm : 百万分率, LD_{50} : 半数致死量

生物事典 四訂版

1. 構成と解説のしかた

構成

- (1) 全項目を五十音順に配列してある。
- (2) 項目は頻出度・重要度を考慮して次のように区別してある。すなわち, \blacklozenge は高校での生物学習に絶対必要な重要項目, \blacklozenge はぜひ知っておくべき項目, その他は無印の三段階に分けてある。日常学習に, また大学入試対策に一応のめやすにしたい。

解説

- (1) まず, 定義的な説明を簡単に述べた。
- (2) 次に本文を掘りさげて徹底的に解説を加えた。文中にはできるだけ具体的な例をあげて, 理解の便をはかった。
- (3) 発展的な解説ないし資料などは, 必要に応じて〔参考〕を設けて補足してある。

2. 配列

- (1) 原則として五十音順によった。ただし, 見出し語が同じで欧文があとにつく場合は, アルファベット順に配列してある。






〔例〕「ビタミンA」「ビタミンB」「ビタミンC」…… のように配列してある。

- (2) 同音のものはカタカナ・漢字の順に、また、清音・濁音・半濁音の順に配列してある。
〔例〕「チョウ」、「腸」; 「カ」(蚊), 「ガ」(蛾) のように配列してある。

3. 表記

- (1) 生物名・外国名・外国人名・外国地名は原則として「カタカナ」で示した。なお、見出しの生物名を除く外国語・外国人名・化石・幼生には欧文つづりを示してある。また、カタカナ表記が一般的に使われている語についても「カタカナ」で示してある。
〔例〕 アイ サクラ サル タンパク質
グルコース glucose
オーリクラリア auricularia
ダーウィン Darwin, Charles Robert
- (2) 本文中は常用漢字・現代かなづかいによった。ただし、常用漢字以外でも意味のとりにくいものは漢字を使用し、適宜、読みをかつこ内に付記した。
〔例〕 穎(えい) 猛禽(きん) 孵(ふ)化
- (3) 見出しの人名には生没年を付記した。ただし、4けたの数字の年代で、生没年が同一世紀の場合は初めの2けたを省略した。
〔例〕 アイマー Eimer, Theodor 1843～98
- (4) 用語で、2人以上の人名を冠したものは人名の区切りを・印で示した。同一人物のネームの区切りは＝で示した。
〔例〕 ワトソン・クリックの模型
レオナルド＝ダ＝ビンチ
- (5) 用語は主として文部省の『学術用語集』に準拠したが、一般の慣用語も重視してある。

4. 記号・符号

- (1)  同内容のものであるが表記が異なるもの、または内容としてはそこに含まれるが、他の項目のところに説明されているもの。
〔例〕 アイソトープ  同位体
アオヒモムシ  紐形動物
または、他所に見出し項目として出ている項目。原則として、項目理解に必要と思われるものについてつけた。「タンパク質」「細胞」などや分類名など、はっきりしているものにはつけていない。また、特に参照する必要のないものは除いてある。
- (2)   参照することによって見出し項目の内容がよりいっそう理解できるような関連項目を文末に示した。
- (3) 生物学習上の最重要項目には◆◆、重要項目には◆で示してある。
- (4) 『』は書名を示す。
- (5) ①②…同一項目で、内容的に類似ではあるが二つ以上の意味をもつ場合に用いてある。

I 見出し語とその配列・解説について

1. 項目の見出しは原則として「かな見出し」と「本見出し」の2本立てとした。
2. 項目の配列は五十音順とした。
3. 促音(っ), 拗音(ゃ, ゅ, ょ), ならびに外来語の表記に用いる小字(ア, イ, ウ, エ, オ)は, それぞれ音順に含めて配列した。
4. 濁音・半濁音は, 清音の次に, そして濁音→半濁音の順とした。また, 同音の場合は「カタカナ」→「ひらがな」の順に配列した。
5. 長音符号「ー」, ハイフン(ー), 二重ハイフン(=), 中グロ(・)は, 配列のうえでは無視した。
6. 同音・同字の項目で, まとめて解説したほうが理解しやすいものは, ①, ②, ③, ……の数字を付し, 同じ項目にまとめて解説した。
7. 項目の解説は, 定義部分と詳細解説部分との2段階構成としている。

II 年代の表記について

1. 数字は原則として算用数字を使用した。しかし, 日本語として定着している語句や歴史用語として慣用化しているものには, 漢数字を用いた。
〔例〕二・二六事件, 五・四運動
2. 年代は原則として西暦で示し, 特に日本年号が必要と認められるものについては()で示した。
〔例〕……645(大化元)年……
3. 人名の生没年は, 原則として本見出しの次に示した。
4. 本文中4けたの数字の年代で, 同一世紀の年代が続いて出てくる場合, 2番目以降は初めの2けたの数字を省略号「」で示した。
〔例〕……1841年……, ……'49年……
5. 人名で生没年のうちどちらかが不明のとき, あるいはいちおうの年代がわかるが認識できない場合は, 次のように示した。
〔例〕876～? ?～1192 1201ごろ～60

III 人名項目について

1. 人名には人名漢字を用い, 原則として姓名で示した。
2. 人名の読み方で, 平安末期までは, 姓と名の間に「の」を入れて読んだ。
〔例〕そがのいるか 蘇我入鹿
ふじわらのみちなが 藤原道長
3. 外国人名は原則としてファミリーネームで収録し, カタカナ表記とし, それに対応する原語綴りを示した。

〔例〕 アダムズ William Adams
ただし、中国・朝鮮・台湾の人名は慣用の日本語読みに従い、ひらがなをかかない出しとした。

〔例〕 もうたくとう 毛沢東

IV 記号・符号について

1. ➡ 二つの項目間において、まったく同義であるが、使用頻度が低いと思われる項目や、他の事項とまとめて解説したほうがわかりやすいような場合や、読みのまちがえやすい項目には読みちがいの項目にこのマークを用いて参照させた。
2. ➡ 大きな事項の一部分を意味したり、項目間の関連が容易に思い浮かばないような項目の場合には、便宜をはかるため、このマークを用いて参照させた。

V 国名の略称について

国名は可能なかぎり通称で示したが、慣用度が高い場合や日本語としての前後関係などから、次のような略称を用いている場合もある。

〔例〕 アメリカ→米	イギリス→英	イタリア→伊
フランス→仏	中国→中	インド→印
ドイツ→独	ロシア→露	ソビエト連邦→ソ

執筆者一覧（50音順）

金澤利明 竹内秀一 藤野雅己 牧内利之 真中幹夫

I 見出し語とその配列・解説について

1. 項目の見出しは原則として「かな見出し」と「本見出し」の2本立てとした。
2. 項目の配列は五十音順とした。
3. 促音(っ)、拗音(ゃ、ゅ、ょ)、ならびに外来語の表記に用いる小字(ア、イ、ウ、エ、オ)は、それぞれ音順に含めて配列した。
4. 濁音・半濁音は、清音の次に、そして濁音→半濁音の順とした。また、同音の場合は「カタカナ」→「ひらがな」の順に配列した。
5. 長音符号「ー」、ハイフン(ー)、二重ハイフン(=)、中グロ(・)は、配列のうえでは無視した。
6. 同音・同字の項目で、まとめて解説したほうが理解しやすいものは、①、②、③、……の数字を付し、同じ項目にまとめて解説した。また、同項目内の解説で、便宜上内容を(1)、(2)、(3)、……の数字を付し、まとめて解説したものもある。さらに内容によっては、【○○○】の小見出しを付して解説した。
7. 項目の解説は、定義部分と詳細解説部分との2段階構成としている。
8. 解説文中において、書名はすべて『 』（二重カギ）で示し、雑誌名や芸術・音楽などの作品名は「 」で示した。また、名言などの引用文や比喩的な表現は「 」・“ ”で示した。

II 年代の表記について

1. 数字は原則として算用数字を使用した。しかし、日本語として定着している語句や歴史用語として慣用化しているものには、漢数字を用いた。
〔例〕 三・一事件、七月王政
2. 年代は原則として西暦で示した。
3. 人名の生没年と王朝(国名)の存続期間は、原則として本見出しの次に示した。
4. 本文中4けたの数字の年代で、文中に同一世紀の年代が続いて出てくる場合、2番目以降は初めの2けたの数字を省略した。
5. 紀元前のすべての年代と3桁の年代は、省略しないで示した。
6. 人名で生没年のうちどちらかが不明のとき、あるいはいちおうの年代がわかるが認識できない場合は、次のように示した。
〔例〕 876～? ?～1192 483/484～550ごろ
1201ごろ～60(61)

III 人名項目について

1. 西洋人名は原則としてファミリーネームで収録した。ただし、パーソナルネームとファミリーネームとが一緒に呼ばれるような慣用がある場合には、アダム＝スミスのように、ダブルハイフンでつなげて項目見出しとした。

2. 東洋史(主として中国・朝鮮)関係の人名は、本見出しの姓と名前との字間を半角分あけてわかりやすくした。

IV 外国語の表記と転写について

1. 西洋史関係の外国語の表記は、できるだけ原音に近いカタカナ表記を採用したが、慣用度の高い表記はそれを採用した。
2. 旧版で使用していたバ・ビ・ブ・ベ・ボの表記は、原則としてヴァ・ヴィ・ヴ・ヴェ・ヴォに改めた。ただし、現在の慣用例にならい、それに従ったものもある。またドイツ語のWとロシア語のVで構成されているものも原則としてヴで表記した。
3. 東洋史(主として中国・朝鮮)関係の地名・人名・事項は、原則として漢字の日本語読みによった。ただし、1910年以降の朝鮮関係の人名については原則として原地音の読みで表記した。また、1912年以後の中国人名および原地名には、本見出しの次に拼音式の原綴りを併記した。
4. 外国文字はすべてローマ字に転写した。
5. 項目には、発生地主義により、できるかぎり原綴りを併記した。内容が数か国にわたるような場合には、原則として英語を記し、英語以外の国語を併記した場合には、ドイツ、フランスなどとその国名をルビで示した。

V 記号・符号について

1. ➡ 二つの項目間において、まったく同義であるが、使用頻度が低いと思われる項目や、他の事項とまとめて解説したほうがわかりやすいような場合や、読みのまちがえやすい項目には読みちがいの項目にこのマークを用いて参照させた。
2. ➡ 大きな事項の一部分を意味したり、項目間の関連が容易に思い浮かばないような項目の場合には、便宜をはかるため、このマークを用いて参照させた。

IV 国名の略称について

国名は可能なかぎり通称で示したが、慣用度が高い場合や日本語としての前後関係などから、次のような略称を用いている場合もある。

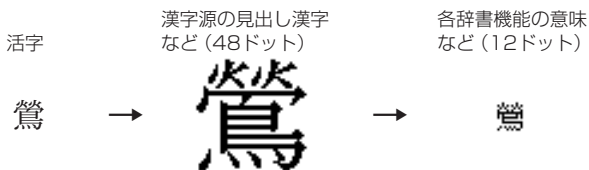
〔例〕	アメリカ→米	イギリス→英	イタリア→伊
	インド→印	オーストリア→奥	オランダ→蘭
	スペイン→西	ソヴィエト連邦→ソ	中国→中
	ドイツ→独	トルコ→土	日本→日
	フランス→仏	プロイセン→普	メキシコ→墨
	ロシア→露		

参 考

字形について

- この製品に使われている日本語の漢字の字形はJIS X 0213-2004に準拠していますので、一般の辞典などで採用されている文字と字形が異なるものがあります。
- ただし、補助漢字やJISの漢字表以外の漢字も一部含まれています。
- また、限られたドット数で文字を構成しているため、一部の漢字は略字を用いています。

【例】



コンテンツ（辞書など）の表現の違いについて

- この製品は、基本的に各コンテンツ（辞書など）の内容を変更することなく収録しています。このため、同じ語を別々の辞書などで引いた場合、表現などに違いがあることがあります。

コンテンツの内容について

- この製品に収録されている各コンテンツで書籍が刊行されているものの内容は、基本的に書籍版の内容を変更することなく収録しておりますが、画面表示の都合、その他の事情により、各出版社の監修に基づいて一部内容を変更していることがあります。

困ったときは

よくあるご質問.....	161
故障かな?と思ったら.....	164
異常が発生したときの処理.....	165

よくあるご質問

次のご質問以外にも、よくあるご質問の情報はパソコンの下記サポートページで調べることができます。

<http://www.sharp.co.jp/support/>

ご質問内容	対応方法(回答)
表示が濃い・薄い	各種設定のメニュー画面で、「表示濃度の調整」を選び調整します(☎64ページ)。
キータッチ音は消せますか	キータッチ音の「鳴る(入)／鳴らない(切)」を切り替えるときは、各種設定のメニュー画面で「キータッチ音」を選び設定します(☎63ページ)。
調べたい語が出てこない	次のことを確認してみてください。 <ul style="list-style-type: none"> ●読みかたは正しいですか。別の読みかたではありませんか。 ●「つ」と「っ」など、大きい文字と小さい文字がまちがって入力されていませんか。 ●「ば」と「ぱ」など、濁音や半濁音がまちがって入力されていませんか。 ●「づ」と「ず」、「ぢ」と「じ」などの使いかたが違っていませんか。
調べたい単語が出てこない	単語は変化形ではありませんか。変化形の場合は原形でも調べてみてください。
読みのわからない漢字の調べかたは...	部品の読み、部首画数、総画数で調べることができます(☎74ページ)。
“?”や“~”が使える機能は?	ワイルドカード“?”、ブランクワード“~”は、広辞苑、英和・和英辞典、英英辞典などで使えます(☎40ページ)。広辞苑の逆引きなどでは使えません。
ローマ字で思うように入力できない	169～171ページをご参照いただいで入力してください。広辞苑の読み入力などで A や S を押しても何も入らないときは、「50音かな入力」になっていると思われます。各種設定のメニュー画面で「かな入力方法」を選び、かな入力方法を切り替えてみてください(☎63ページ)。
「50音かな入力」ができない キーを押すと「っっっ…」 と小さい「っ」が入る	かなの入力方式が「ローマ字かな入力」になっていると思われます。各種設定のメニュー画面で「かな入力方法」を選び、かな入力方法を切り替えてみてください(☎63ページ)。

ご質問内容	対応方法(回答)
日本語の読み検索を行う場合に英字始まりの見出し語が入力できない	日本語の読みで検索する場合、「ISO」など英字で始まる見出し語は「あいえすおー」のように読みをひらがなで入れます。数字から始まる見出し語も、読みをひらがなで入れてください。 見出し語にカッコ(「」)や中点(・)などの記号がある場合は省略して入れてください。
英和辞典などで数字を含む見出し語を引く方法は？	見出し語の読みどおりにアルファベットで入力して検索します。 例 2→two 3→three 20→twenty
消費税の税率が変わってしまったら... レートが変わったら...	消費税の税率や、通貨の換算レートは変更することができます。56、58ページをご覧ください、設定を変更してご使用ください。
国名などが変わっている古いデータになっている	この製品は、書籍版のコンテンツ(辞書など)のデータを収録しておりますので、その辞書などの記述に合わせております。
検索したリストに同じ見出し語が複数個表示されることがあるのはなぜ...	1つの見出し語に複数の語が収録されている場合、個々の語に対して検索を行うので、同じ見出し語が複数個表示されることがあります。
ジャンプ機能で、ほかの辞書などにもあるはずの語へジャンプできない	辞書などにより見出し語などに使われる文字の種類や表記のしかたが違うことがあり、このような場合は違う言葉と判断されるためジャンプできません。 例 表記の違い：敢え無い(広辞苑) 敢えない(和英)
音声の再生ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●音量が小さくなっていませんか。調整してみてください(☞65ページ)。 ●電池が消耗している可能性があります。電池を交換してみてください(☞168ページ)。 ●本体のイヤホン端子にイヤホンのプラグが接続されていませんか。接続されているとスピーカーから音が出ません。
電源を入れたとき、「データに異常があったため製品を初期の状態にしました」と表示された	強度の外来ノイズや強いショックを受けたりしたときに、単語帳やしおりなどの登録データに異常が発生する場合があります。この場合は、電源を入れたときに製品を初期状態に戻します(☞165ページ)。

ご質問内容	対応方法 (回答)
オプションで辞書などのデータをパソコンに取り込んだり、印刷する機器はありませんか	辞書などの内容は各出版社等の著作物であり、著作権保護のうえから、そのようなオプション機器は用意しておりません。
充電電池は使えますか？	充電電池は、三洋電機株式会社製の単4形eneloop [®] (エネルーブ) とパナソニック株式会社の単4形 充電式EVOLTA (エボルタ) をお使いになれます。その他の充電電池はお使いいただけません。

故障かな？と思ったら

こんなとき	ここをお確かめください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電池が消耗していませんか(☎168ページ)。 ●指定の電池以外の電池を使用していませんか(☎167ページ)。 ●電池が正しい向きで取り付けられていますか(☎168ページ)。 ●表示濃度の調整が淡くなりすぎていませんか(☎64ページ)。 上記のどれでもないときは本体裏側のリセットスイッチを押してください(☎165ページ「異常が発生したときの処理」)。
表示が淡い(濃い)	表示濃度が見やすい濃さに調整されていますか(☎64ページ)。
すべてのキーが働かない	本体裏側のリセットスイッチを押してください(☎165ページ)。
キー入力で文字が入らない 正しく入らない	かな入力方法が切り替わっていませんか。かな入力方法を切り替えてみてください(☎63ページ)。
キーを押したとき“ピッ”と鳴らない	キータッチ音が「切」になっていませんか(☎63ページ)。
自動的に電源が切れる	この製品には、しばらく使わないと自動的に電源が切れるオートパワーオフ機能がついています。電源が切れるまでの時間は変更することができます(☎64ページ)。
電源を入れると「四字熟語」や「登録名」が表示される	オープニング設定画面で「表示なし」に設定してください。(☎62ページ)。
充電電池での使用時間が「参考」として記載されている使用時間に比べて短い	使用電池の設定が「アルカリ乾電池」になっていませんか。「充電電池」に設定してください(☎65ページ)。

- これらをお確かめても症状が発生する。また、これら以外の症状が発生した場合は故障が考えられます。
179ページをご覧ください、「修理品引き取りサービス」をお申し付けください。

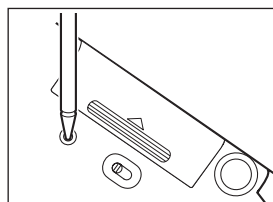
異常が発生したときの処理

ご使用中に強度の外来ノイズや強いショックを受けた場合など、ごくまれに**クリア**も含めたすべてのキーが動かなくなるなどの異常が発生することがあります。このときは、以下のリセット操作をしてください。

リセット操作

1 本体裏側のリセットスイッチをボールペンなどで押します。

初期化の確認画面が表示されます。



注意 • リセットスイッチの操作に、先の折れやすいものや先のとがったものは使用しないでください。

2 本体を開き、右のように表示されていることを確認して**[N]**キーを押します。

表示濃度の調整画面が表示されます。

初期化すると、単語帳/しおり/各種設定の内容が消えて、初期状態になります
(あらかじめ内蔵されたコンテンツのデータは消えません)
(名前・暗証番号が登録されている場合、その名前・暗証番号も消えません)

初期化しますか？
[Y]はい [N]いいえ

3 画面に従って、表示濃度の調整などを行ってください(5ページの手順7以降を参照)。

異常を知らせるメッセージが表示されたときは

電源を入れたときなどに、右のような表示がされたときは、**検索/決定**を押してください。

データに異常があったため製品を初期の状態にしました

その後、必要に応じて、各種の設定をしてください。

なお、電池が消耗していて、異常を検出したときに製品を初期の状態に戻せないときは、「電池が消耗しているので初期の状態に戻せない」旨のメッセージが表示されますので、電池を交換してから、電源を入れ、初期の状態にした旨のメッセージを確認してください。

注意 • この操作・処理により、単語帳の登録データ、しおりの内容、電卓のメモリー、通貨換算の設定内容が消去され、「各種設定」の設定内容(名前・暗証番号を除く)、消費税電卓の税率(初期状態：5%)などが初期の状態に戻ります。

付録

電池について	167
ローマ字→かな変換表	169
機能別利用可／不可コンテンツ	172
仕 様	173
アフターサービスについて	178
「修理品引き取りサービス」のご案内	179
お客様ご相談窓口のご案内	180
索引	181

電池について

この製品を長くご愛用いただくための注意点など、参考にしていただきたいことをまとめています。よく読んで正しく使ってください。

電池が消耗すると、電源が切れて入らない、音が鳴らないなどの状態がおこります。必ず以降の内容をよくお読みのうえ、電池交換は十分注意して行ってください。

使用できる電池

乾電池：アルカリ乾電池 単4形 LR03 2本

充電電池：三洋電機株式会社製 単4形 eneloop® (エネループ) 2本

パナソニック株式会社製 単4形 充電式EVOLTA (エボルタ) 2本
(2009年12月現在)

※ 指定している電池以外は使用しないでください。電池容量、電圧が異なるため、誤動作や故障の原因となります。なお、充電電池をご使用いただくことも可能ですが、その場合は3ページの「市販の充電電池の取り扱いについて」の内容をお守りください。

注意 冒頭の「安全にお使いいただくために」もよく読んでお取り扱いください。

- 製品を長時間使わないときは電池を取り外しておいてください。
- 消耗した電池をそのままにしておきますと、液もれにより製品を傷めることがあります。
- 付属の電池は工場出荷時に入れていますので、所定の連続使用時間に満たないうちに寿命が切れることがあります。

充電電池について

ご参考：充電電池をご使用の場合の使用時間（参考値）

新しい電池を満充電でご使用いただく場合


eneloop®：約80時間（常温25℃で連続表示のときの参考値）

充電式EVOLTA：約80時間（常温25℃で連続表示のときの参考値）

※使用温度、使用状態によっては使用時間が短くなります。

『充電電池を使用する場合は電池設定を「充電電池」に設定してください（☎65ページ）。』

電池の交換時期

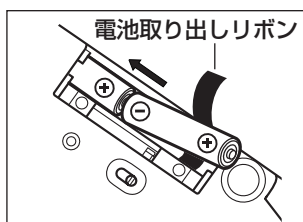
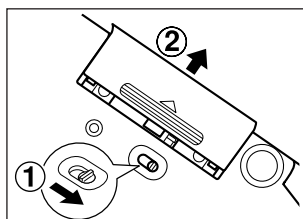
画面右上に「」が表示されたとき、または電源を入れたときに「電池を交換してください」とのメッセージが表示された場合は電池が消耗しています。速やかに電池を交換してください。

参考 • アルカリ乾電池について

電池の使用時間は約120時間です。(常温25℃で連続表示のとき。)
※電池の種類(メーカー)、使用温度、使用状態によっては電池の寿命が短くなります。

電池の交換手順

- 1 **入/切** を押して電源を切ります。
- 2 本体裏面の電池ふたスイッチを“解除”側にし、電池ふたを外します。
- 3 消耗した電池を取り出します。
電池取り出しリボンの先端を引き、2本とも取り出してください。
- 4 新しい電池を入れます。
2本とも新しい電池に交換してください。
また、向きをまちがえないように入れてください。



- 注意** • リボンの上から電池を入れます。
リボンの先端が電池の下に隠れないようにしてください。

- 5 電池ふたを取り付け、電池ふたスイッチを“ロック”側にします。
- 6 本体を開き、**入/切** を押して電源が入ることを確認してください。
電源が入らないときは2～6の手順をもう一度行い、電池を入れ直してください。それでも電源が入らないときは165ページのリセット操作を行ってください。
- 7 画面に従って、表示濃度の調整、キータッチ音の設定、かな入力方法の設定、電池の設定などを行ってください(5ページの手順7以降を参照)。

ローマ字→かな変換表

あ	い	う	え	お
A	I	U	E	O
か	き	く	け	こ
KA	KI	KU	KE	KO
CA		CU		CO
		QU		
さ	し	す	せ	そ
SA	SI	SU	SE	SO
	SHI			
た	ち	つ	て	と
TA	TI	TU	TE	TO
	CHI	TSU		
な	に	ぬ	ね	の
NA	NI	NU	NE	NO
は	ひ	ふ	へ	ほ
HA	HI	HU	HE	HO
		FU		
ま	み	む	め	も
MA	MI	MU	ME	MO
や		ゆ		よ
YA		YU		YO
ら	り	る	れ	ろ
RA	RI	RU	RE	RO
LA	LI	LU	LE	LO
わ	ゐ		ゑ	を
WA	WYI		WYE	WO
ん				
N				
NN				
NX				

う		づ		
		VU		
が	ぎ	ぐ	げ	ご
GA	GI	GU	GE	GO
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
ZA	ZI	ZU	ZE	ZO
	Ji			
だ	ぢ	づ	で	ど
DA	DI	DU	DE	DO
ば	び	ぶ	べ	ぼ
BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
PA	PI	PU	PE	PO

あ	い	う	え	お
XA	XI	XU	XE	XO
		つ		
		XTU		
や		ゆ		よ
XYA		XYU		XYO
わ				
XWA				

参考 • 表中の行名は、つづりを探し易くするために便宜上つけた名称です。

いえ				いえ	
				YE	
うあ	うあ	うい		うえ	うお
	WHA	WI		WE	WHO
		WHI		WHE	
きゃ	きゃ	きい	きゅ	きえ	きよ
	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
くあ	くあ	くい	くう	くえ	くお
	QA	QI		QE	QO
	KWA	KWI		KWE	KWO
		QWI	QWU	QWE	QWO
しゃ	しゃ	しい	しゅ	しえ	しよ
	SHA		SHU	SHE	SHO
	SYA	SYI	SYU	SYE	SYO
ちゃ	ちゃ	ちい	ちゅ	ちえ	ちよ
	CHA		CHU	CHE	CHO
	CYA	CYI	CYU	CYE	CYO
	TYA	TYI	TYU	TYE	TYO
つあ	つあ	つい		つえ	つお
	TSA	TSI		TSE	TSO
てや	てや	てい	てゅ	てえ	てよ
	THA	THI	THU	THE	THO
とう			とう		
			TWU		
にや	にや	にい	にゅ	にえ	によ
	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひや	ひや	ひい	ひゅ	ひえ	ひよ
	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
ふあ	ふあ	ふい		ふえ	ふお
	FA	FI		FE	FO
	HWA	HWI		HWE	HWO
		FYI		FYE	
ふや	ふや		ふゅ		ふよ
	FYA		FYU		FYO
みや	みや	みい	みゅ	みえ	みよ
	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りや	りや	りい	りゅ	りえ	りよ
	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
	LYA	LYI	LYU	LYE	LYO

うあ	うあ	うい		うえ	うお
	VA	VI		VE	VO
うゅ			うゅ		
			VYU		
ぎゃ	ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎよ
	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
ぐあ	ぐあ	ぐい	ぐう	ぐえ	ぐお
	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
じゃ	じゃ	じい	じゅ	じえ	じよ
	JA		JU	JE	JO
	JYA	JYI	JYU	JYE	JYO
	ZYA	ZYI	ZYU	ZYE	ZYO
ぢゃ	ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢよ
	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
でや	でや	でい	でゅ	でえ	でよ
	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
どう			どう		
			DWU		
びゃ	びゃ	びい	びゅ	びえ	びよ
	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴゃ	ぴい	ぴゅ	ぴえ	ぴよ
	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

撥音 (はつおん) の入力

“ん”の次に母音または“Y”がくるときや、“ん”で終わるときは“NN”と入力する。または“N”の後ろに“X”をつける。

ほんやく → HONNYAKU (HONXYAKU)

はんい → HANNI (HANXI)

ほん → HONN (HONX)

上記以外するとき

ほんき → HONKI

促音 (そくおん) の入力

“N”以外の子音を重ねる。または“XTU”と入力する。

けっか → KEKKA (KEXTUKA)

とっきゅう → TOKKYUU (TOXTUKYUU)

参考 • 変換できないローマ字のつづりを入れたときは

この製品は、ローマ字のつづりを入力する場合、1字入力するごとに、かなに変換できる候補の有無を確認し、一致すればかなに変換します。もし、候補がないときは、先頭の文字を削除して候補の有無を確認します。それでも候補がない場合は、もう1字削除して確認します。

	入力操作	表示
例1	Q W →	qw
	A →	わ (qが削除されw aを変換)
例2	K Y →	ky
	W →	w (k yが削除されwが残る)
	O →	を (w oを変換)

機能別利用可／不可コンテンツ

早見機能が使えないコンテンツ

早見機能は、下記のコンテンツでは使えません。

広辞苑分野別の慣用句	(電卓/便利計算)
パーソナルカタカナ語辞典	(例文検索)
英和成句、英英成句	

“?”、“～” が見えるコンテンツ

“?”、“～” は、次のコンテンツで見えます。

広辞苑(逆引き、分野別除く)	OXFORD現代英英辞典
明鏡国語辞典	ブリタニカ国際大百科事典
全訳古語辞典	物理小事典
パーソナルカタカナ語辞典	化学小事典
故事ことわざ&四字熟語辞典	生物事典
ジーニアス英和辞典	日本史事典
ジーニアス和英辞典	世界史事典
ベーシックジーニアス英和辞典	

一括検索できるコンテンツ

● “読み” 入力時の検索対象コンテンツ

広辞苑	世界史事典
明鏡国語辞典	現代社会テーマ集・日本国憲法
全訳古語辞典	都道府県小事典
漢字源 ^{*1}	百人一首
パーソナルカタカナ語辞典	物理公式集
故事ことわざ&四字熟語辞典	辞書式配列化学反応式
古語林 古典文学/名歌名句事典	数学公式集
天声人語	旅行会話 英語
ジーニアス和英辞典	旅行会話 イタリア語
ブリタニカ国際大百科事典	旅行会話 フランス語
物理小事典	旅行会話 スペイン語
化学小事典	旅行会話 ドイツ語
生物事典	旅行会話 韓国語
日本史事典	旅行会話 中国語

※1 漢字源は、読みを入れた場合は完全一致検索のときにのみ検索対象になります。
絞り込み検索では検索されません。

● “スペル” 入力時の検索対象コンテンツ

パーソナルカタカナ語辞典(略語)	ベーシックジーニアス英和辞典
ジーニアス英和辞典	OXFORD現代英英辞典

仕 様

形 名 PW-GM510

品 名 電子辞書

表 示 480×240ドット液晶表示

電卓機能 計算桁数 12桁 消費税電卓(税込/税抜計算、加減乗除、メモリー、パーセント計算など)
通貨換算、単位換算、年号計算、年齢計算

電 源 3V --- (DC) : アルカリ乾電池(LR03)/Ni-MH* 単4形 2本
* Ni-MH充電機を使用される場合は3、65、167ページを確認してください。

消費電力 0.75W

使用時間 約120時間 (使用温度25℃で連続表示の場合)

(LR03使用時) 約 90時間 (使用温度25℃で1時間あたり表示状態を55分、
検索*1を5分間行った場合)

約 65時間 (使用温度25℃で1時間あたり表示状態を55分、
検索*1を4分間、“dictionary”の音声再生を中間
音量で1分間行った場合)

※1 検索 : 英和辞典で、1秒1キー操作で“dictionary”と入力し **検索/決定** を押す操作の繰り返し。

注: 使用環境や使用方法により、使用時間が短くなることがあります。

出力端子 イヤホン端子(3.5Φ)

使用温度 0℃~40℃

外形寸法 突起部含む : 幅128.0×奥行83.5×厚さ17.8mm










突起部含まず : 幅128.0×奥行83.5×厚さ15.6mm

(最薄部厚さ15.1mm)

質 量 約172g(乾電池を含む)

収録コンテンツ・機能

- 『広辞苑 第六版』*1 (🔊) 岩波書店 (2008年1月 発行)
(Copyright © Iwanami Shoten, Publishers, 2008, 2009) 収録項目: 約240,000項目
- 『明鏡国語辞典』大修館書店 (2009年4月 発行)
(© Kitahara Yasuo & Taishukan, 2002-2009) 収録項目: 約70,000項目
- 『全訳古語辞典 第三版』*2 (🔊) 旺文社 (2009年10月 発行)
(Copyright © Miyakoshi · Sakurai · Ishii · Oda 2003) 収録語数: 約22,500語
- 『漢字源 (JIS第1～第4水準版)』*3 学研 (2006年4月 発行)
(Copyright © Gakken, 2009) 収録漢字: 13,255字
収録熟語: 約48,000語
- 『パーソナルカタカナ語辞典』学研 (1999年10月 発行)
(Copyright © Gakken, 1999) 収録語数: 約28,000語
- 『故事ことわざ辞典』学研 (1988年4月 発行)
(Copyright © Gakken, 1998) 収録項目: 約4,500項目
- 『四字熟語辞典』学研 (1994年12月 発行)
(Copyright © Gakken, 1994) 収録項目: 約1,450項目
- 『古語林 古典文学事典』*4 大修館書店
(© Hayashi Ooki, Andou Chizuko & Taishukan, 2008) 収録数: 3,651項目
- 『古語林 名歌名句事典』*4 大修館書店
(© Hayashi Ooki, Andou Chizuko & Taishukan, 2008) 収録数: 1,060項目
- 『天声人語 2007年1月—6月』朝日新聞社 (2007年9月 発行)
(C) 朝日新聞社, 2007) 収録項目: 176項目
- 『天声人語 2007年7月—12月』朝日新聞社 (2008年3月 発行)
(C) 朝日新聞社, 2007) 収録項目: 179項目
- 『ジーニアス英和辞典 第4版』*5 (🔊) 大修館書店 (2007年4月 発行)
(© KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2006-2009)
収録語数: 約96,000語
- 『ジーニアス和英辞典 第2版』大修館書店 (2003年12月 発行)
(Copyright © KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2003)
収録語数: 約82,000語
- 『ベーシックジーニアス英和辞典』(🔊) 大修館書店 (2002年11月 発行)
(Copyright © Konishi Tomoshichi, Harakawa Hiroyoshi and Taishukan 2002-2004)
収録語数: 約40,000語
- 『OXFORD現代英英辞典 第7版』Oxford University Press (2005年2月 発行)
(Oxford Advanced Learner's Dictionary seventh edition
© Oxford University Press 2005) 収録項目: 約183,500語
収録例文: 約85,000例
- 『音声付き英語発音解説』* (🔊) 三省堂
(Copyright © Sanseido Co., Ltd. 2005) 収録項目数 発音記号: 約50項目
- 『ブリタニカ国際大百科事典 Quick Search Version』*6 ブリタニカ・ジャパン
(© 2009 Britannica Japan Co., Ltd./Encyclopædia Britannica, Inc.)
収録項目: 約154,000項目
収録イラスト・図版など: 約1,000点

『三省堂 新物理小事典(初版)』三省堂(2009年6月発行) (Copyright © Sanseido Co., Ltd. 2009)	収録項目: 約4,500項目
『三省堂 新化学小事典(初版)』三省堂(2009年1月発行) (Copyright © Sanseido Co., Ltd. 2009)	収録項目: 約5,600項目
『生物事典 四訂版』旺文社(2003年1月発行) (Copyright © Obunsha. Co., Ltd. 2003)	収録項目数: 約7,300項目
『日本史事典 三訂版』旺文社(2000年10月発行) (Copyright © Obunsha 2000)	収録項目数: 約6,600項目
『世界史事典 三訂版』旺文社(2000年10月発行) (Copyright © Obunsha 2000)	収録項目数: 約7,200項目
『旺文社監修 センター試験 現代社会テーマ集』* ⁷ 旺文社 (Copyright © Yuichiro Koizumi 1999)	収録テーマ: 64テーマ
『都道府県小辞典』朝日新聞社(2007年9月発行) (C)朝日新聞社, 2007)	収録項目: 47都道府県
『百人一首』*() 旺文社 (Copyright © Obunsha 2005)	収録和歌数: 100首
『現代文名作選 羅生門』*() 大修館書店〔作者 芥川龍之介 朗読者 八木光生〕 (© Taishukan, 2008)	
『現代文名作選 山月記』*() 大修館書店〔作者 中島敦 朗読者 川久保潔〕 (© Taishukan, 2008)	
『現代文名作選 舞姫』*() 大修館書店〔作者 森鷗外 朗読者 松山政路〕 (© Taishukan, 2008)	
『現代文名作選 檸檬』*() 大修館書店〔作者 梶井基次郎 朗読者 壤晴彦〕 (© Taishukan, 2008)	
『現代文名作選 なめとこ山の熊』*() 大修館書店〔作者 宮沢賢治 朗読者 伊藤惣一〕 (© Taishukan, 2008)	
『現代文名作選 高瀬舟』*() 大修館書店〔作者 森鷗外 朗読者 伊藤惣一〕 (© Taishukan, 2008)	
『古典名作冒頭選』* ⁸ () 大修館書店 (© Taishukan, 2008-2009)	収録数: 11作品冒頭部分
『物理公式集』* 旺文社 (©Kisuke Inoue 1996)	収録公式数: 72公式
『辞書式配列化学反応式 改訂版』* 旺文社 (©Shouichi Kimura 1994)	見出し語: 約350項目
『旺文社監修 数学公式集』* ⁹ 旺文社 (Copyright © Ryouhei Tsuji 2002)	収録公式数: 180公式
『わがまま歩き旅行会話 英語』() 実業之日本社(2007年10月発行) (Copyright © JITSUGYO NO NIHON SHA,LTD.1999)	収録例文: 約2,300例 収録単語: 約4,500語
『わがまま歩き旅行会話 イタリア語+英語』() 実業之日本社(2007年9月発行) (Copyright © JITSUGYO NO NIHON SHA,LTD.1999)	収録例文: 約2,500例 収録単語: 約8,500語

- 『わがまま歩き旅行会話 フランス語+英語』(㊦) 実業之日本社 (2008年7月 発行)
(Copyright © JITSUGYO NO NIHON SHA,LTD.1999) 収録例文: 約2,500例
収録単語: 約8,000語
- 『わがまま歩き旅行会話 スペイン語+英語』(㊦) 実業之日本社 (2007年9月 発行)
(Copyright © JITSUGYO NO NIHON SHA,LTD.2000) 収録例文: 約2,500例
収録単語: 約7,500語
- 『わがまま歩き旅行会話 ドイツ語+英語』(㊦) 実業之日本社 (2007年9月 発行)
(Copyright © JITSUGYO NO NIHON SHA,LTD.2000) 収録例文: 約2,500例
収録単語: 約8,000語
- 『わがまま歩き旅行会話 韓国語+英語』(㊦) 実業之日本社 (2007年9月 発行)
(Copyright © JITSUGYO NO NIHON SHA,LTD.2000) 収録例文: 約2,500例
収録単語: 約8,500語
- 『わがまま歩き旅行会話 中国語+英語』*10 (㊦) 実業之日本社 (2008年3月 発行)
(Copyright © JITSUGYO NO NIHON SHA,LTD.1999) 収録例文: 約2,200例
収録単語: 約5,200語
- 『トラベル英会話』* 学研
(Copyright (C) Gakken, 1993) 収録例文: 約1,460例

- * 書籍版は刊行されておりません。
- ※ 1 5種類(人名、地名、作品名、季語、慣用句)の「分野別小辞典」は、(広辞苑のデータを元に編集された)電子版の辞書機能であり、書籍版は刊行されておりません。
- ※ 2 書籍の万葉番号は「新編国歌大観」番号を示していますが、電子辞書用に、新編国歌大観の番号の後に()で旧番号を追加しています。
- ※ 3 書籍版「改訂新版 漢字源」にもとづいて「漢字源 JIS 第1～第4水準版」として編集したものです。
- ※ 4 本コンテンツは『古語林』(林巨樹・安藤千鶴子 編 大修館書店 刊)より電子辞書用に編集したもので、書籍版は刊行されておりません。
- ※ 5 本機に収録した音声データは『ジーニアス英和辞典第4版』の発音表記に準拠し、大修館書店が作成した、米国人ネイティブスピーカーによる発音データです(約100,000語)。ジーニアス・サウンズ V4の音声データを拡張し、全派生語・複合語に対応すると共に、見出し語に無い変化形についても、音声を追加しました。(©Taishukan, 2008)
- ※ 6 2009年1月度版を収録しています。
「ブリタニカ国際大百科事典 Quick Search Version」はブリタニカ国際大百科事典の「小項目事典」6巻と「現代用語事典」1巻を再編集した電子版のコンテンツで、「世界の国」「日本の都道府県」「世界遺産」「世界の人名」「世界の動物」「その他」の6つのトピックスを含んでいます。書籍版は現在刊行されておりません。
- ※ 7 「旺文社監修 センター試験 現代社会テーマ集」は、旺文社刊 小泉祐一郎著「センター試験 現代社会でるテーマ64 要点整理」を元にした電子版のコンテンツであり、書籍版は刊行されておりません。
- ※ 8 『竹取物語』『伊勢物語』(作者未詳)『古今和歌集仮名序』『土佐日記』(紀貫之)『枕草子』(清少納言)『源氏物語』(紫式部)『更級日記』(菅原孝標の女)『方丈記』(鴨長明)『平家物語』(作者未詳)『徒然草』(吉田兼好)『奥の細道』(松尾芭蕉)朗読：伊藤惣一・藤村紀子・白坂道子・山下智子・川久保潔
- ※ 9 「旺文社監修 数学公式集」は、旺文社刊 辻良平著「大学JUKEN 新書 センター試験必出 数学公式180」を元にした電子版のコンテンツであり、書籍版は刊行されておりません。
- ※ 10 広東語会話は収録していません。

信頼のネイティブ発音



アフターサービスについて

保証について

- 1.この製品には取扱説明書の巻末に保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
- 2.保証期間は、お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 3.保証期間後の修理は…
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は電子辞書の補修用性能部品を製品の製造打切後7年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

- 1.異常があるときは使用をやめて、お買いあげの販売店にこの製品を**お持込み**のうえ、修理をお申し付けいただくか、「お客様ご相談窓口のご案内」(P180ページ)に記載の窓口にお問い合わせください。**ご自分での修理はしないでください。**
- 2.アフターサービスについてわからないことは…
お買いあげの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お問い合わせは

この製品についてのご意見、ご質問は、お客様ご相談窓口へお申しつけください。

「修理品引き取りサービス」のご案内



「修理品引き取りサービス」のご案内

「修理品引き取りサービス」とは、電話で修理依頼いただきますと、当社指定の運送業者がおお客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

ご利用料金

※サービスエリア：日本国内地域。ただし沖縄県全域（離島を含む）および鹿児島県奄美市・大島郡を除く。

■運送費

保証期間内	無 料
保証期間外	1,000円+梱包資材費 +代引き手数料

※ 梱包料を含む往復料金（税別）

■修理料金

保証期間内	無料（保証書記載の「保証規定」に準じます）
保証期間外	有料（修理内容により異なります）

※保証期間内でも有料になる場合があります。
詳しくは保証書をご確認ください。

お申し込み

【お客様相談センター】（0120-303-909）にお電話でお申し込みください。

受付時間

- 月曜～土曜：9:00～18:00（年末年始を除く）
- 日曜・祝日：9:00～17:00

お引き取り

当社指定の運送業者がお引き取りに伺います。

■お引き取りの時間は下記時間帯よりお選びいただくことができます。

午前中	12:00～14:00	14:00～16:00	16:00～18:00	18:00～21:00
-----	-------------	-------------	-------------	-------------

■お引き取り日はご依頼日の翌日以降となります。

■18:00～21:00の時間帯は土、日、祝日を除きます。

■交通事情などの理由によりご指定の時間にお伺いできない場合がございます。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。

※修理品は当社指定の運送業者が梱包箱を持参してお伺いし、梱包させていただきます。

(前ページより)

②

修理・お届け

修理完了後、シャープエンジニアリング(株)よりご連絡いたします。

- ご連絡時にサービス料金(修理料金+利用料)と発送日をご連絡いたします。
- 当社指定の運送業者が修理完了品をお届けに伺います。
- サービス料金(修理料金+利用料)を指定運送業者に、現金でお支払いください。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。

お客様ご相談窓口のご案内

お問い合わせの前に 161 ~ 165 ページをもう一度確認してください。



使いかたや修理のご相談

【お客様相談センター】



0120-303-909

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

	電 話	ファックス
東日本相談室	043-351-1822	043-299-8280
西日本相談室	06-6792-1583	06-6792-5993

受付時間

- 月曜～土曜：9:00～18:00 (年末年始)
- 日曜・祝日：9:00～17:00 (を除く)

索引

記号

- ? 40
- ~ 40
- ✍マーク 52
- カーソル 45
- ➡マーク 46
- ◁型マーク 35
- ◁☞マーク(音声マーク) 37

数字

- 1 件表示画面 30
- 50 音かな入力 23, 63

アルファベット

- enloop 3, 65
 - 使用時間(参考値) 167
- EVOLTA 3, 65
 - 使用時間(参考値) 167
- Sジャンプ 45
 - 範囲指定 45, 47
- W 検索 43

あ

- 頭出し検索 28
- アフターサービス 178
- アルファベット略語 75
- 暗証番号 66

い

- 異常が発生したとき 165
- 一括検索 42
- イヤホン 3, 39

え

- エネルギー 3, 65
- エポルタ 3, 65

お

- オートパワーオフ 18
 - 時間設定 64
- オープニング画面 62
- お問い合わせ 178
- 音訓読み 74
- 音声再生 37
- 音声データ 37
- 音声マーク 37
- 音量調整 37, 65

か

- カーソル 21, 25, 29
- 各種設定リスト 62
- かな入力方法 63
- 韓国語 88
- 完全一致検索 28, 42
- 慣用句 71

き

- キータッチ音 63
- キーワード検索 28, 71, 76, 81, 85, 86, 87, 88
- 機能キー 10, 17
- きまり字 82
- 切り替え 34
- 逆引き 71

く

- クリア 17

け

- 検索の種類 28

こ

交換手順	168
故事ことわざ	75
個別メニュー	20
コラム(NOTE)	35
コンテンツ	6, 20
コンテンツ選択キー	17, 21
コンテンツ等選択画面	20
コンテンツリスト	21

し

しおり	47
削除	47
辞書の引きかた	26
絞り込み検索	28, 42
ジャンプ	45
ジャンプマーク	45, 46
充電電池	3, 65, 167
エネルギー	167
電池設定	65
仕様	173
詳細画面	30
使用できる電池	167
消費税電卓	55
消費税率	56
初期化	165
シンボル	19

す

ズームウィンドウ	33
ズーム機能	33
スペース	23, 24
スペルチェック	41
スペル入力	24

せ

成句	77, 78
設定	62

そ

総画面数	74, 75
操作ガイド	20

た

ダイレクトオン機能	18
他辞書検索	44
タブ	34
単位換算	59
単語帳	49
コンテンツ一覧	50
削除	52
登録	49

ち

著作権	9
-----	---

つ

通貨換算	58
通貨レート	58

て

電源が切れる時間	64
電卓	55
電池	167
交換時期	168
交換手順	168
消耗	6, 19, 168
設定	65

な

名前を登録	66
-------	----

に

入力方法	22
英語	24
日本語	22

ね

- ネイティブの発音……………38
- 年号計算……………60
- 年齢計算……………61

は

- パスワード……………66
- 早見機能……………31

ひ

- 筆順……………74,115
- 表示濃度調整……………64
- ヒント……………20

ふ

- 部首画数……………74
- 付属品……………4
- 部品読み……………74
- ブランクワード……………40
- プレビュー表示……………32, 64
- 設定……………64
- 分野別小辞典……………71
- 分類メニュー……………20

へ

- 便利計算機能……………55

ほ

- 他の辞書で調べる……………44
- 補修用性能部品……………178

ま

- マーカー……………50
- 消す……………51
- 消去(削除)……………53
- テストをする……………51
- マーク……………19

み

- ミニ知識……………85, 86, 87, 88

め

- メインメニュー……………20

も

- 文字サイズ……………31
- 文字入力……………22
- 文字の修正……………25
- 戻る……………17

よ

- 四字熟語……………75

り

- リスト……………28, 29
- リセットスイッチ……………165
- リセット操作……………165

る

- 類語……………73

れ

- 例/解説ウィンドウ……………35
- 例文検索……………54
- レジューム機能……………18

ろ

- ローマ字→かな変換表……………169
- ローマ字かな入力……………22, 63

わ

- ワイルドカード……………40

- 取扱説明書のデータ（PDF）は、シャープのホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.sharp.co.jp/support/index.html>

（2009年12月現在）

■よくある質問などはパソコンから検索できます。



<http://www.sharp.co.jp/support/>

シャープ お問い合わせ

検索



こんなときは、取扱説明書で再度ご確認ください。

1. お買いあげ後、初めての設定の操作 …… 5 ページ
2. かなを入力したい …… 22 ページ
3. 50音かな入力とローマ字かな入力を切り替えたい …… 63 ページ
4. 小さい文字（拗音、促音）の入力方法 …… 23、169 ページ

取扱説明書をご確認いただいて解決しないときは、180ページをご覧ください。お客様相談センターへご連絡ください。

シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
パーソナルソリューション事業推進本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492

PRINTED IN CHINA
09MSP(TINSJ1551EHZZ)
OGS9216410////